

# 久喜市の環境に関する 意識調査報告書

令和4年3月  
久喜市環境経済部環境課

# 目 次

1 調査の概要 .....	1
1-1 目的 .....	1
1-2 調査対象・調査方法 .....	1
1-3 調査項目.....	2
2 市民アンケート調査の結果 .....	3
2-1 回答者の属性について.....	3
(1) 年齢.....	3
(2) 居住年数.....	3
(3) 居住地区.....	3
(4) 住居の形態.....	4
(5) 世帯構成.....	4
(6) 自動車所有台数.....	4
2-2 久喜市の環境について.....	5
(1) 久喜市の環境に関する満足度.....	5
(2) 久喜市の環境に関する重要度.....	18
(3) 久喜市の環境に関する重要度と満足度の関係.....	30
(4) 将来に向けて残したい身近な自然や環境.....	31
2-3 気候変動問題について.....	33
(1) 気候変動の影響の認知度.....	33
(2) 地球温暖化対策設備機器の導入状況.....	34
(3) 地球温暖化対策設備機器を導入しない理由.....	35
2-4 環境に関する取組について.....	36
(1) 普段取り組んでいる環境活動.....	36
(2) 環境活動に取り組まない理由.....	37
2-5 市の環境施策について.....	38
(1) 市が重点的に取り組むべき環境施策.....	38
(2) 市が積極的に進めるべき地球温暖化対策.....	39
(3) 市の環境情報の入手方法.....	40
2-6 自由意見.....	42

3 事業者アンケート調査の結果 .....	45
3-1 事業所の属性について.....	45
(1) 業種.....	45
(2) 従業員規模 .....	45
(3) 所在地.....	45
(4) 建物の形態 .....	46
(5) 久喜市での事業年数.....	46
3-2 事業所の環境活動について .....	47
(1) 事業所で取り組んでいる環境活動.....	47
(2) 地球温暖化対策設備機器の導入状況 .....	49
3-3 環境活動における効果と課題について .....	50
(1) 環境活動で得られた効果 .....	50
(2) 環境活動を進めるにあたっての課題 .....	51
3-4 望ましい支援について.....	52
(1) 市が実施すると望ましいサポート.....	52
(2) 市の環境情報の入手方法 .....	53
3-5 地域の環境活動について.....	54
(1) 取り組んでいる地域環境活動 .....	54
(2) 協力、支援できる活動分野 .....	55
(3) 協力、支援できる取組.....	56
3-6 気候変動対策について.....	57
(1) 脱炭素経営の取組状況.....	57
(2) 市が重点的に進めるべき地球温暖化対策 .....	58
3-7 自由意見.....	59
4 調査結果のまとめ.....	60
4-1 市民意識調査結果 .....	60
4-2 事業者意識調査結果 .....	61
巻末資料 .....	資-1
1. アンケート調査票.....	資-2
① 市民アンケート調査票 .....	資-2
② 事業者アンケート調査票 .....	資-10

# 1 調査の概要

## 1-1 目的

久喜市では、平成 25 年 3 月に「久喜市環境基本計画（地球温暖化対策実行計画（区域施策編）含む）」を策定し、環境の保全及び創造と地球温暖化対策に関する施策を総合的かつ計画的に推進してきました。

現計画の期間が満了を迎えることと、気候変動対策など昨今の国内外の動向の変化を受け、令和 5 年度を初年度とする「第 2 次久喜市環境基本計画」を策定することとなりました。

新たな計画を策定するにあたり、市民・事業者の環境活動への取組状況や地球温暖化対策関連設備の導入状況、今後の取組の可能性等を把握し、計画へ反映させるために、アンケート調査を実施しました。

## 1-2 調査対象・調査方法

	市民	事業者
調査対象	久喜市に住む満 18 歳以上の 1,500 人	久喜市内の事業所 400 か所
抽出法	「住民基本台帳」からの無作為抽出	「商工会議所名簿」からの無作為抽出
調査方法	配付方法：調査票の郵送 回収方法：返信用封筒による郵送及び WEB 回答	
調査期間	令和 4 年 1 月 14 日 ～2 月 4 日	令和 4 年 1 月 14 日 ～2 月 11 日
配布数	1,500	400
回収数 (うち WEB 回答数)	570 (84)	168 (19)
回収率	38.0%	42.0%

### 1-3 調査項目

市民	事業者
①久喜市の環境の重要度と満足度	①事業所の環境活動と今後の予定
②将来に向けて残したい身近な自然や環境	②地球温暖化対策設備導入状況及び今後の意向
③気候変動の影響の認知状況	③環境活動における効果と課題
④地球温暖化対策設備導入状況及び今後の意向	④市が実施すると望ましいサポート
⑤普段取り組んでいる環境に関する取組、今後の予定	⑤環境情報の入手方法
⑥市が重点的に取り組むべき環境施策	⑥地域での環境活動、協力・支援できる分野、取組
⑦市が積極的に進めるべき地球温暖化対策	⑦脱炭素経営の取組状況及び今後の意向
⑧環境情報の入手方法	⑧市が重点的に進めるべき地球温暖化対策

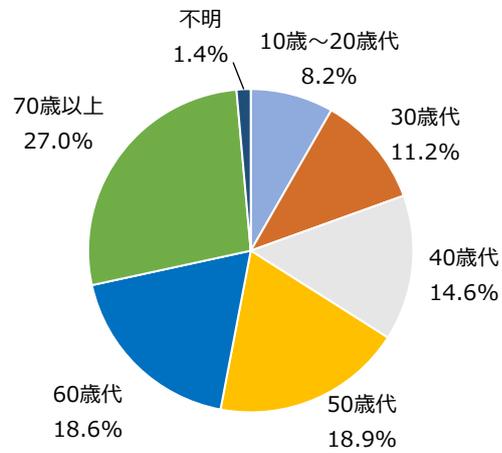
#### ※集計にあたっての留意点

- ・回答結果は、小数点第2位を四捨五入のうえ割合を示しているため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、全体の回答数に対する割合を示しているため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ・数表等に記載された「n」は、回答割合算出上の基数（有効回答数）を示しています。

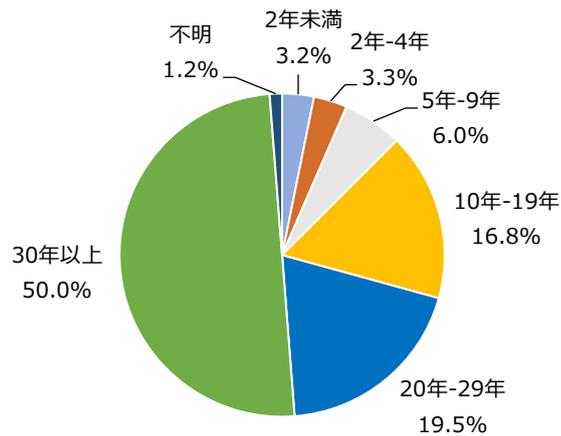
## 2 市民アンケート調査の結果

### 2-1 回答者の属性について

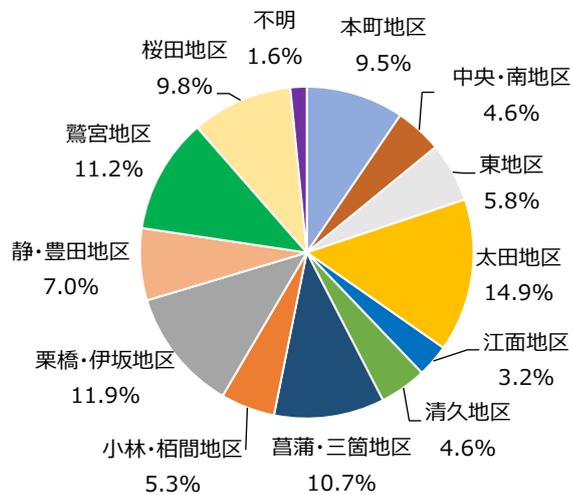
#### (1) 年齢



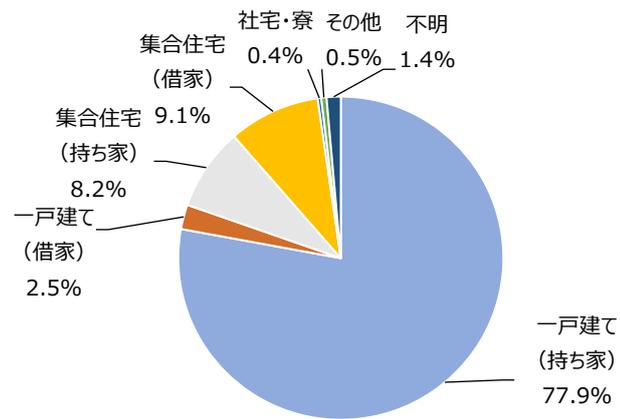
#### (2) 居住年数



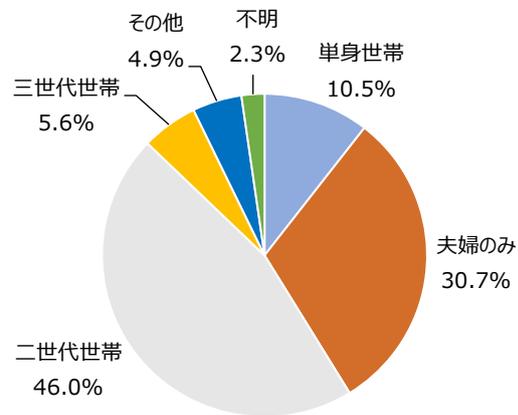
#### (3) 居住地区



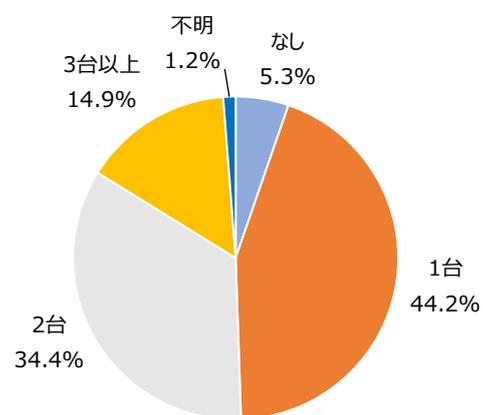
#### (4) 住居の形態



#### (5) 世帯構成



#### (6) 自動車所有台数



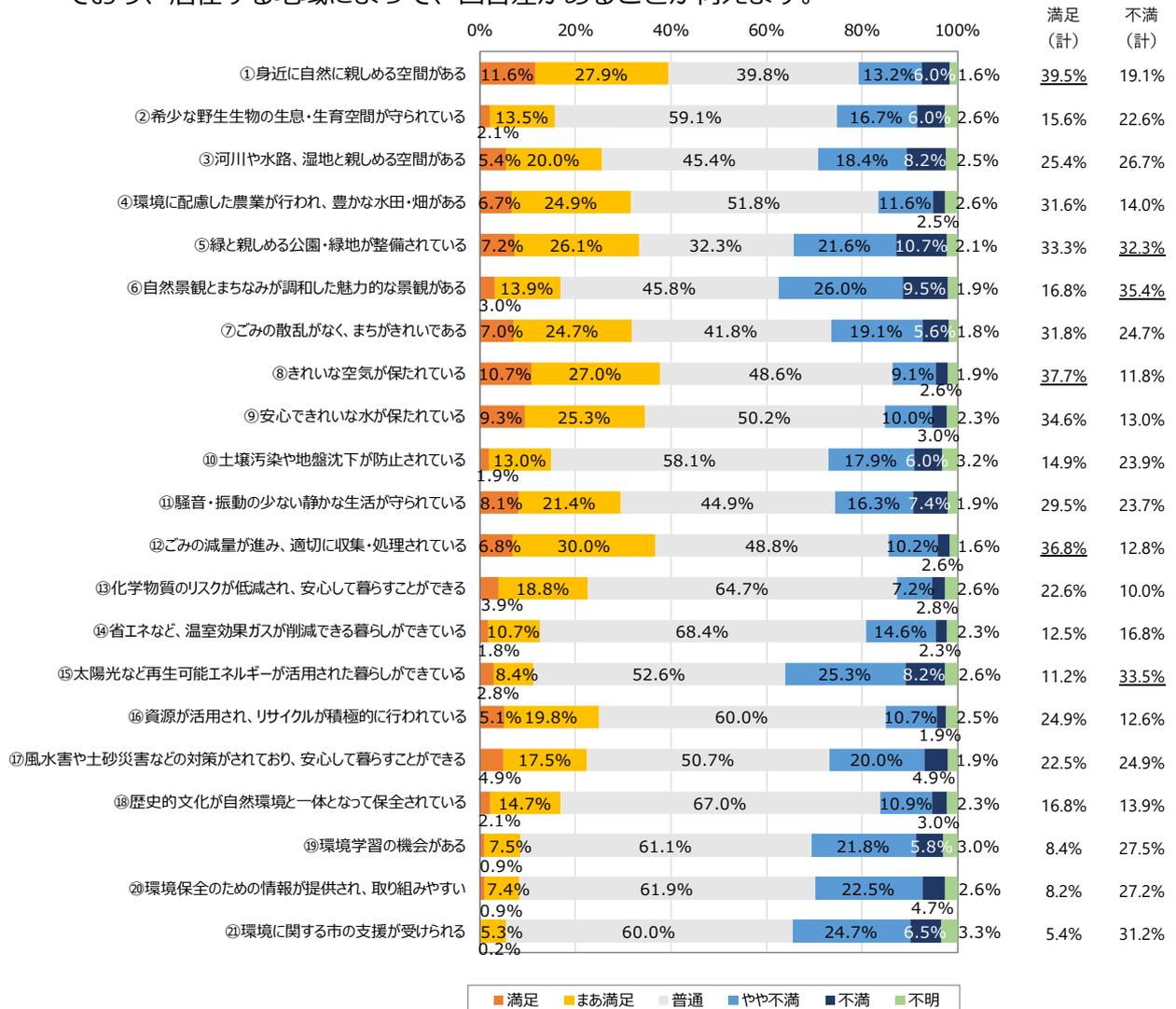
## 2-2 久喜市の環境について

### (1) 久喜市の環境に関する満足度

問7A 久喜市の環境について、日ごろどのように感じていますか。各項目の満足度について、あてはまる番号 1～5 の中から 1 つだけ○で囲んでください。

久喜市の環境について日ごろ感じていることを聞いたところ、『満足(計)』(「満足」「まあ満足」の合計)の回答が多かったのは、「①身近に自然に親しめる空間がある(39.5%)」でした。次いで、「⑧きれいな空気が保たれている(37.7%)」、「⑫ごみの減量が進み、適切に収集・処理されている(36.8%)」で35%以上の方が満足と感じています。一方、『不満(計)』(「やや不満」「不満」の合計)については、「⑥自然景観とまちなみが調和した魅力的な景観がある(35.4%)」が最も多く、次いで「⑮太陽光など再生可能エネルギーが活用された暮らしができている(33.5%)」、「⑤緑と親しめる公園・緑地が整備されている(32.3%)」で回答が多くなっています。

「⑤緑と親しめる公園・緑地が整備されている」については、満足度も比較的高くっており、居住する地域によって、回答差があることが伺えます。



『満足(計)』：「満足」「まあ満足」の合計  
『不満(計)』：「やや不満」「不満」の合計

### 居住地区別集計結果についての留意点

久喜市の環境に関する満足度、重要度については、居住地区別のクロス集計を行っています。

回答数は概ね居住地区の人口構成比に沿ったものとなっていますが、回答数が30件以下の居住地区が見られ、統計学上の信頼性が低くなっています。

本調査報告書では、居住地区の傾向を把握する目的で客観的な集計・記述を行いました。回答数が少なかった居住地区については、回答結果が地区の実情と合致していない可能性があることに留意する必要があります。

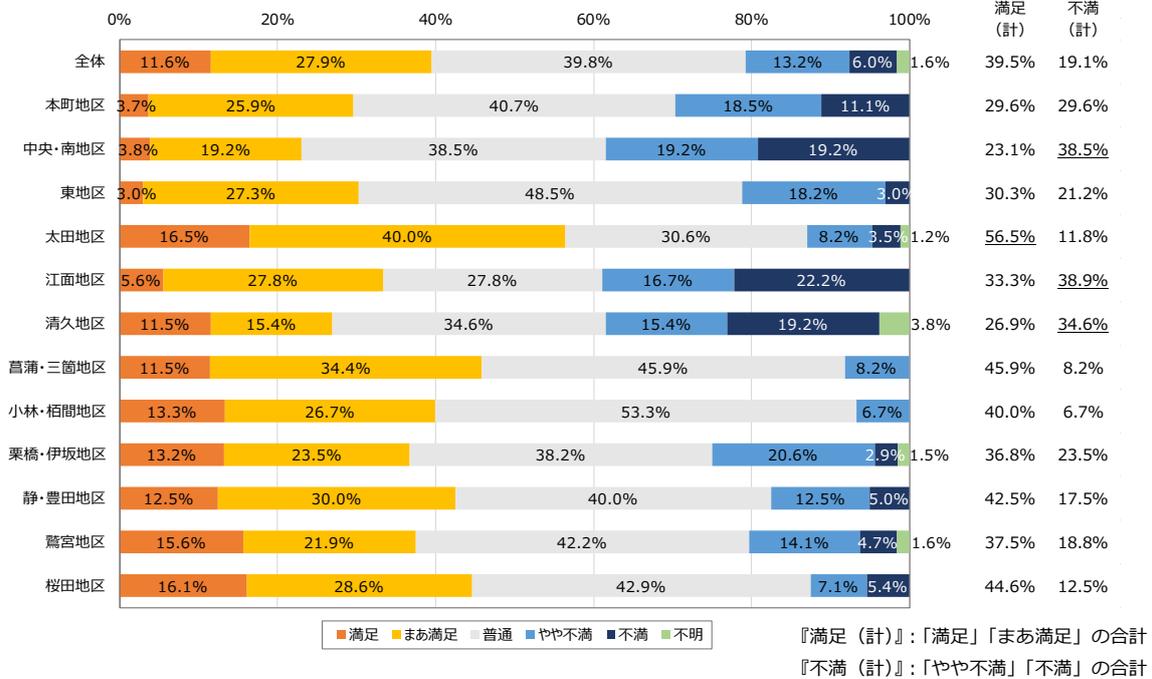
居住地区の回答状況

No.	居住地区	回答数	全体 %
1	本町地区	54	9.5
2	中央・南地区	26	4.6
3	東地区	33	5.8
4	太田地区	85	14.9
5	江面地区	18	3.2
6	清久地区	26	4.6
7	菖蒲・三箇地区	61	10.7
8	小林・栢間地区	30	5.3
9	栗橋・伊坂地区	68	11.9
10	静・豊田地区	40	7.0
11	鷲宮地区	64	11.2
12	桜田地区	56	9.8
	不明	9	1.6
	全体	570	100.0

(1) - 1 久喜市の環境に関する満足度（居住地区別）

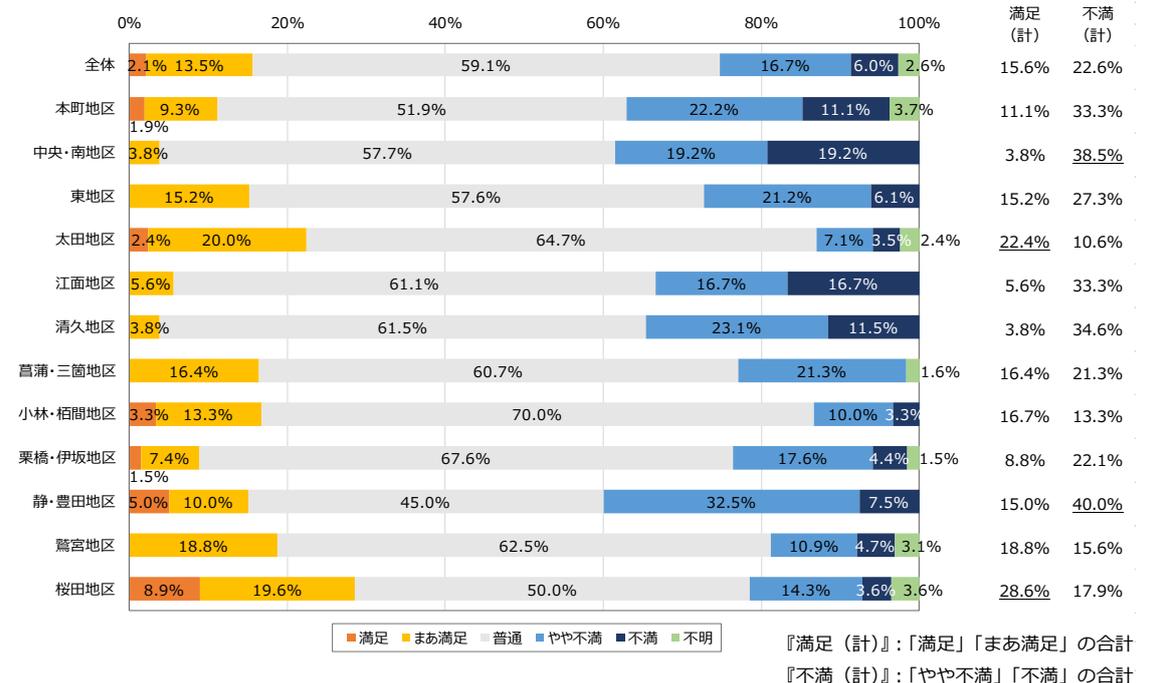
①身近に自然に親しめる空間がある（満足度・居住地区別）

『満足（計）』と回答した割合は、**太田地区、菫蒲・三箇地区、桜田地区、静・豊田地区**が全体に対して高い傾向が見られます。一方、『不満（計）』と回答した割合は、**中央・南地区、江面地区、清久地区**が他と比較して高い傾向が見られます。



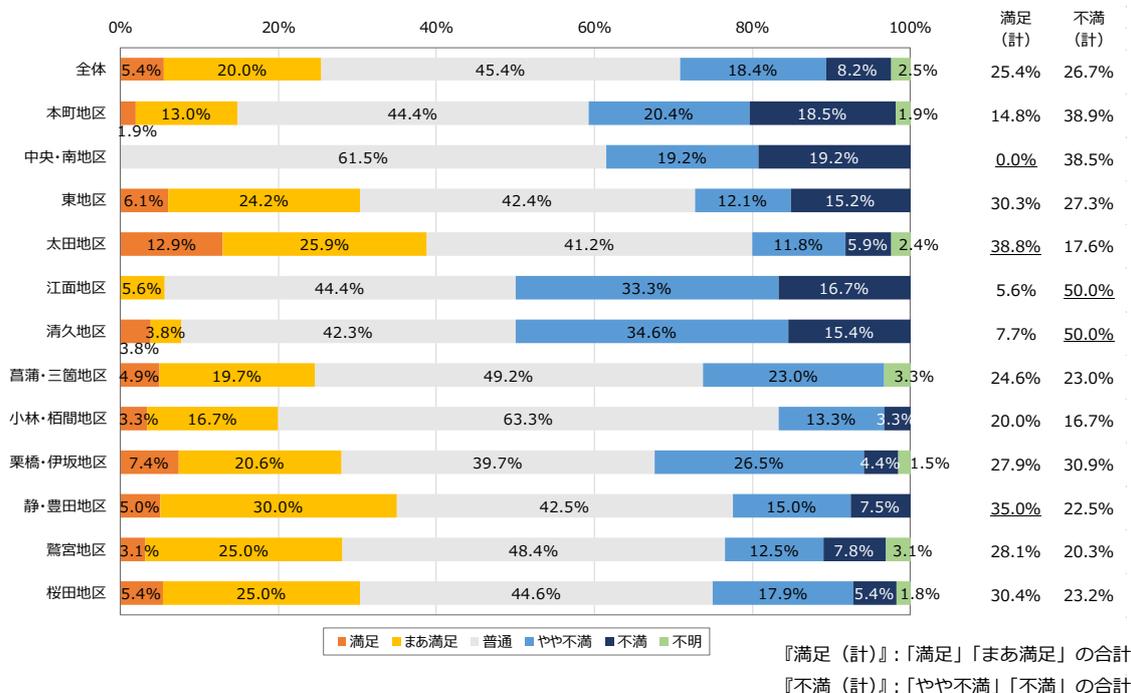
②希少な野生生物の生息・生育空間が守られている（満足度・居住地区別）

『満足（計）』と回答した割合は、**桜田地区と太田地区**が他と比較して高い傾向が見られます。一方、『不満（計）』と回答した割合は、**静・豊田地区と中央・南地区**が他と比較して高い傾向が見られます。



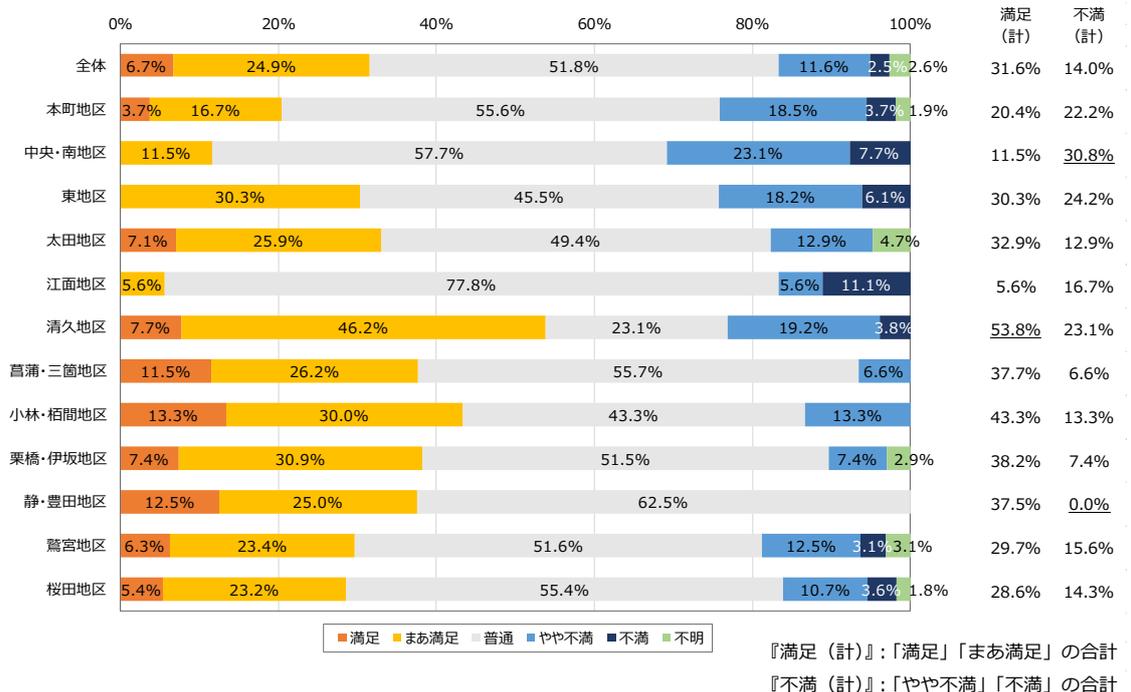
### ③河川や水路、湿地と親しめる空間がある（満足度・居住地区別）

『満足（計）』と回答した割合は、**太田地区と静・豊田地区**が他と比較して高い傾向が見られます。一方、『不満（計）』と回答した割合は、**江面地区、清久地区**が他と比較して高い傾向が見られます。**中央・南地区**については、『満足（計）』が0%であり、『不満（計）』も比較的高い傾向が見られます。



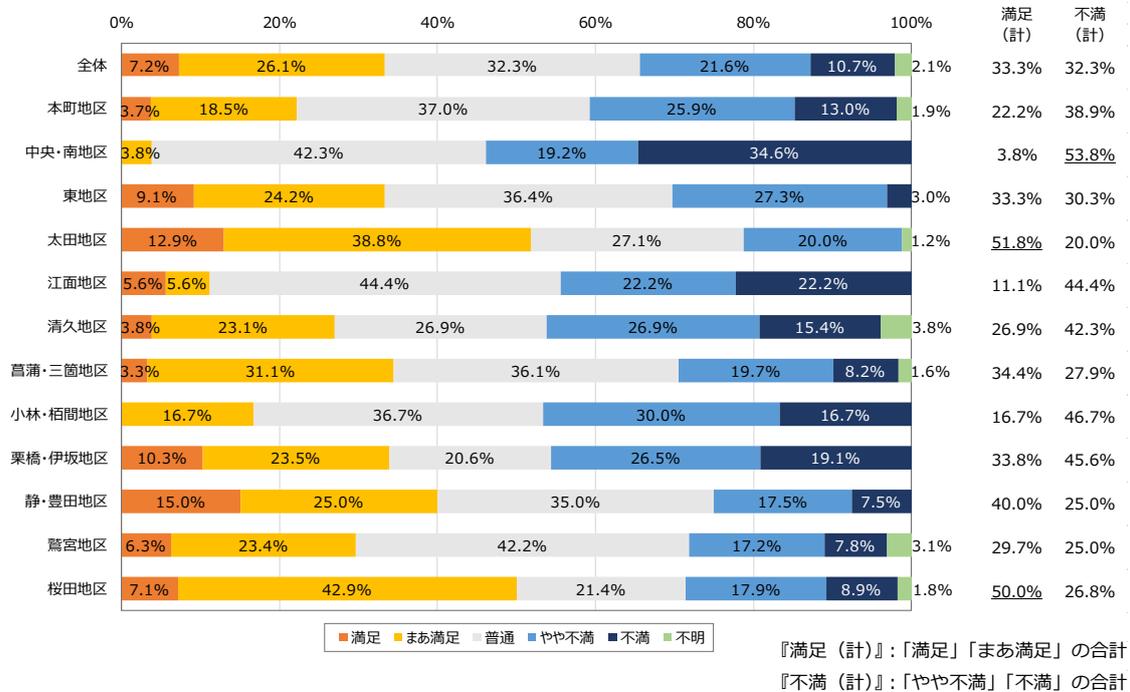
### ④環境に配慮した農業が行われ、豊かな水田・畑がある（満足度・居住地区別）

『満足（計）』と回答した割合は、**清久地区**が他と比較して特に高い傾向が見られます。一方、『不満（計）』と回答した割合は、**中央・南地区**が他と比較して特に高い傾向が見られます。**静・豊田地区**については、『不満（計）』が0%でした。



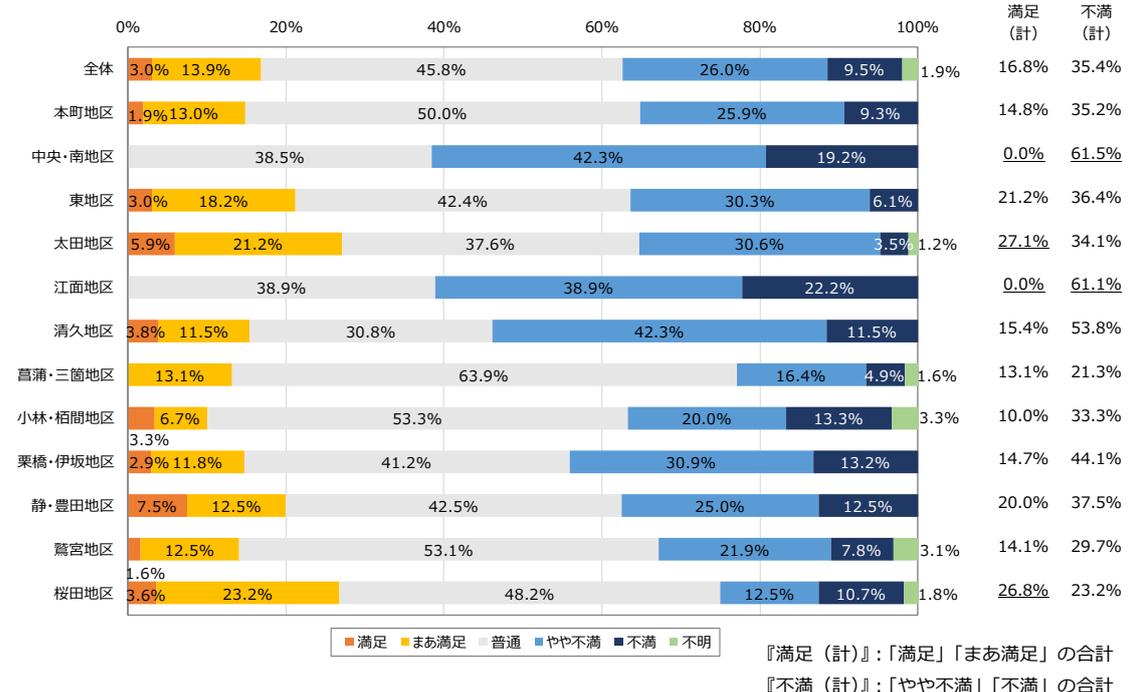
⑤緑と親しめる公園・緑地が整備されている（満足度・居住地区別）

『満足（計）』と回答した割合は、**太田地区と桜田地区**が他と比較して高い傾向が見られます。一方、『不満（計）』と回答した割合は、**中央・南地区**が他と比較して高い傾向にあり、『満足（計）』も最も低くなっています。



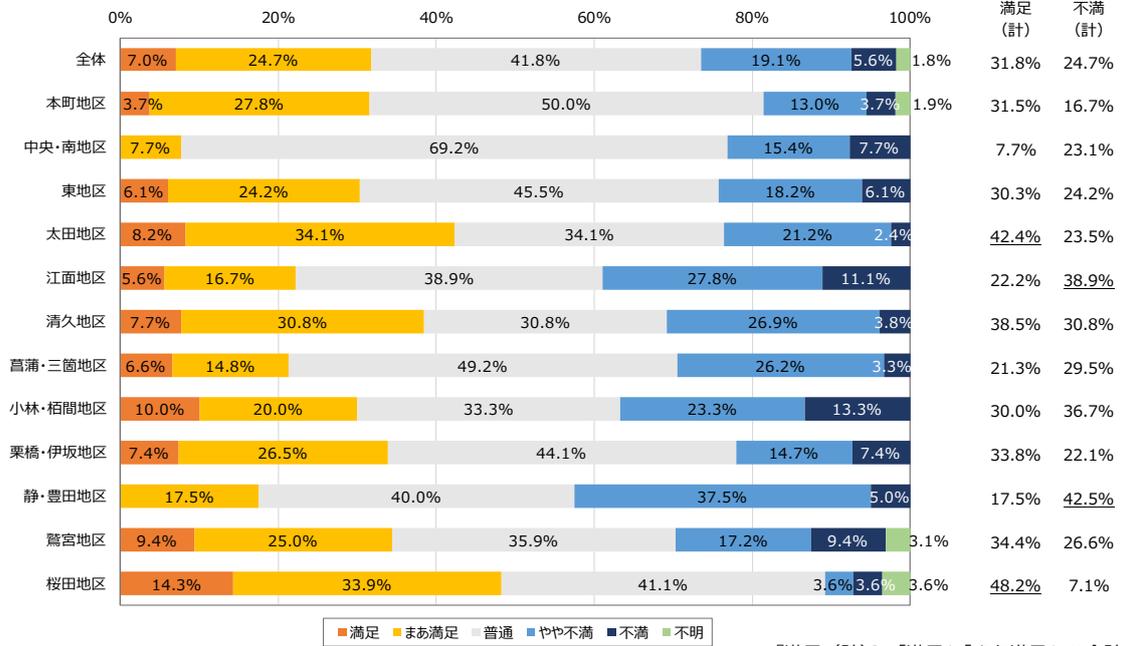
⑥自然景観とまちなみが調和した魅力的な景観がある（満足度・居住地区別）

『満足（計）』と回答した割合は、**大田地区と桜田地区**が他と比較して高い傾向が見られます。一方、『不満（計）』と回答した割合は、**中央・南地区と江面地区**が他と比較して高い傾向にあり、『満足（計）』が0%となっています。



⑦ごみの散乱がなく、まちがきれいである（満足度・居住地区別）

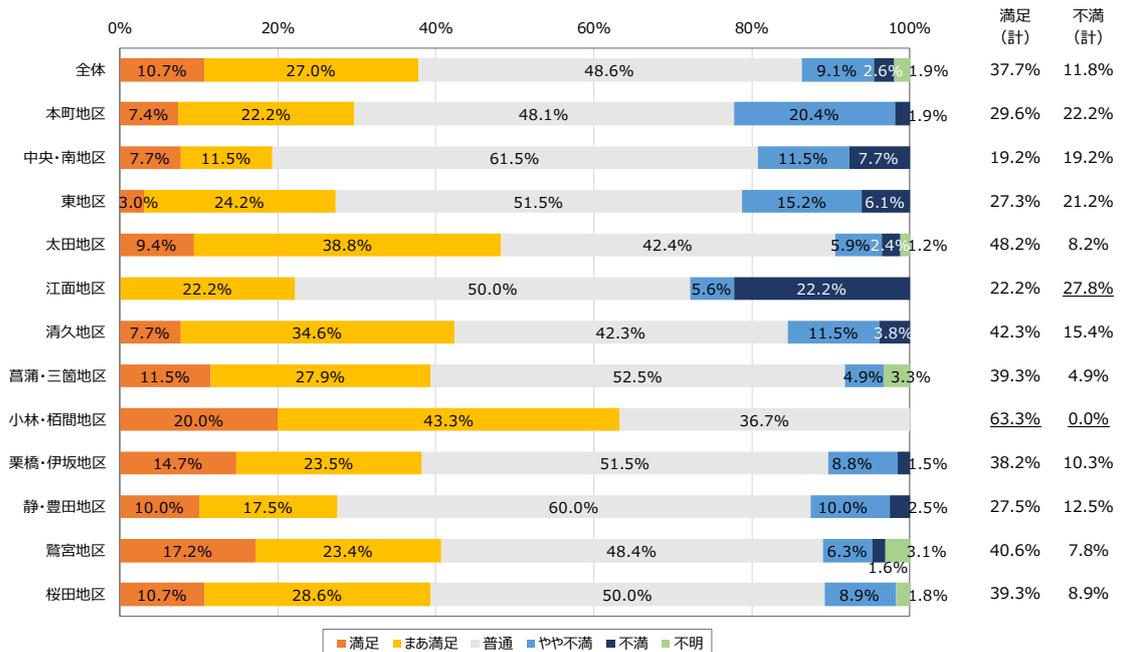
『満足（計）』と回答した割合は、**桜田地区と太田地区**が他と比較して高い傾向が見られます。一方、『不満（計）』と回答した割合は、**静・豊田地区と江面地区**が他と比較して高い傾向が見られます。



『満足（計）』：「満足」「まあ満足」の合計  
 『不満（計）』：「やや不満」「不満」の合計

⑧きれいな空気が保たれている（満足度・居住地区別）

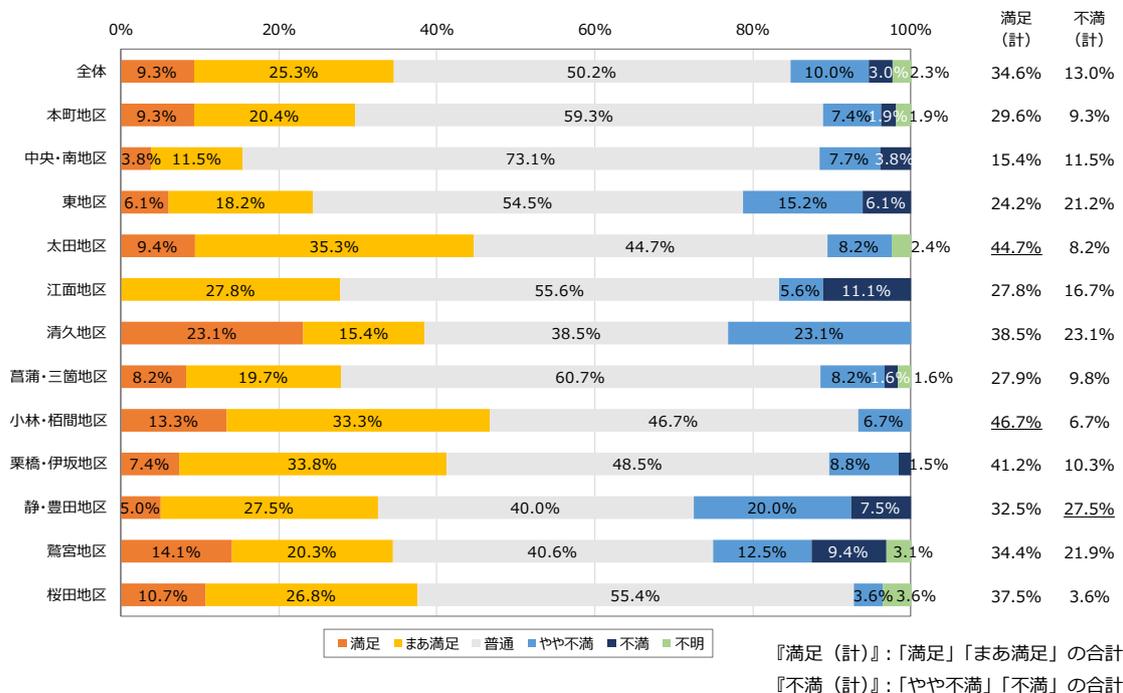
『満足（計）』と回答した割合は、**小林・栢間地区**が他と比較して高い傾向にあり、『不満（計）』は0%でした。一方、『不満（計）』と回答した割合は、**江面地区**が他と比較して高い傾向が見られます。



『満足（計）』：「満足」「まあ満足」の合計  
 『不満（計）』：「やや不満」「不満」の合計

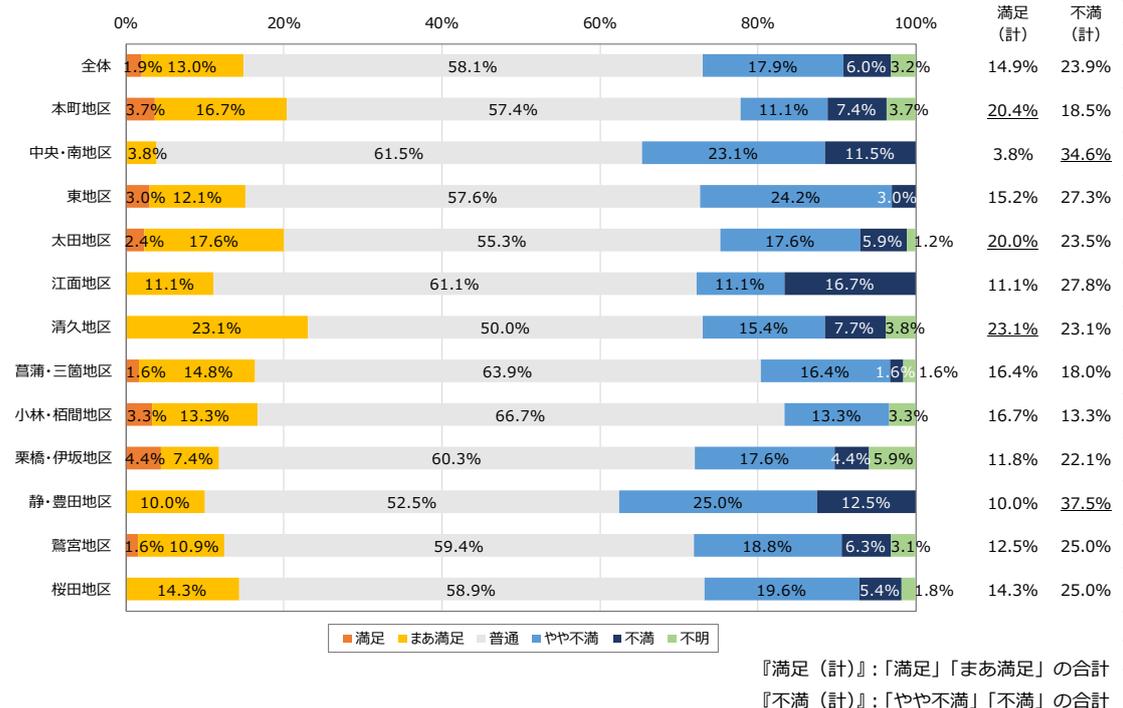
⑨安心できれいな水が保たれている（満足度・居住地区別）

『満足（計）』と回答した割合は、**小林・栢間地区と太田地区**が他と比較して高い傾向が見られます。一方、『不満（計）』と回答した割合は、**静・豊田地区**が他と比較して特に高い傾向が見られます。



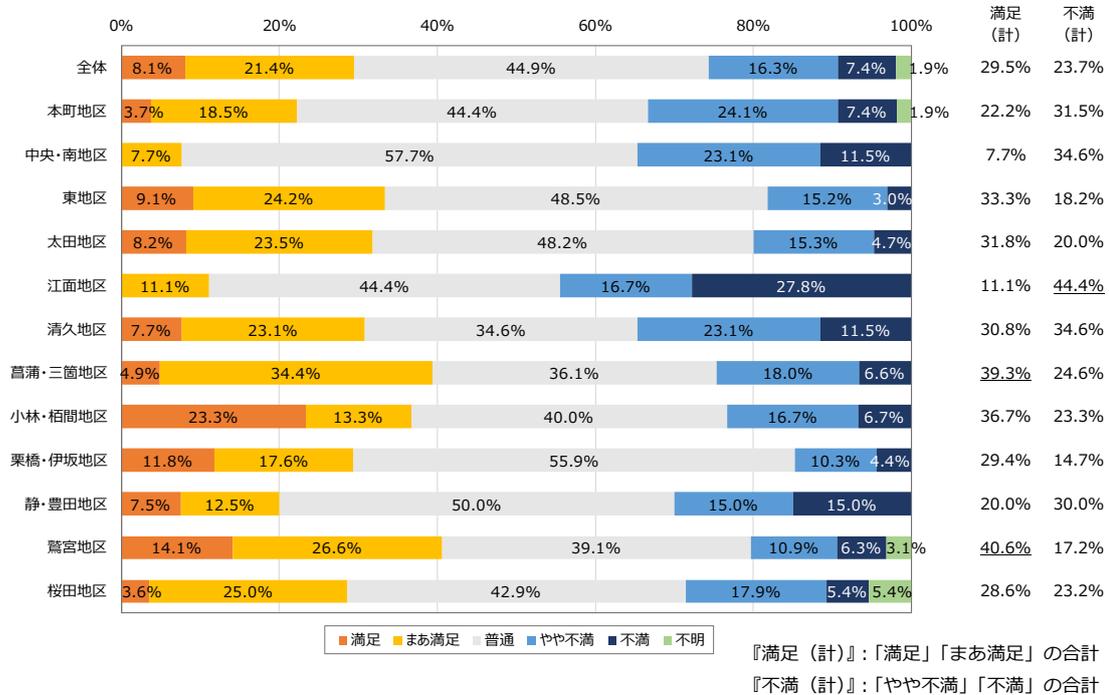
⑩土壌汚染や地盤沈下が防止されている（満足度・居住地区別）

『満足（計）』と回答した割合は、**清久地区、本町地区、太田地区**が他と比較して高い傾向が見られます。一方、『不満（計）』と回答した割合は、**静・豊田地区と中央・南地区**が他と比較して高い傾向が見られます。



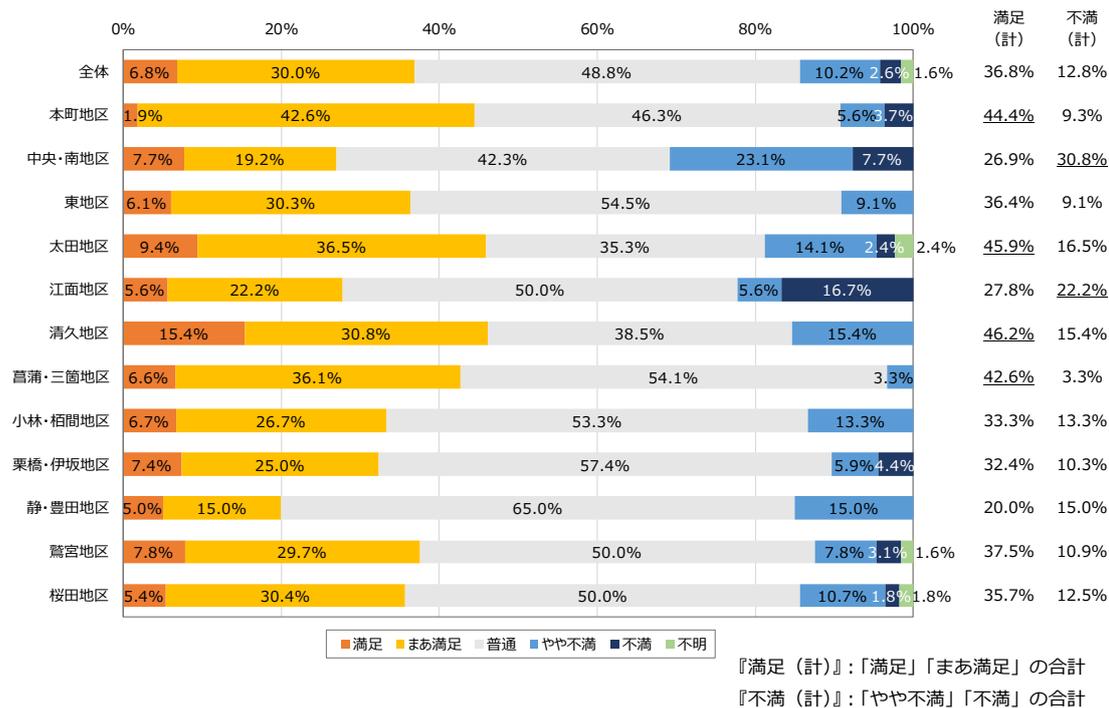
⑪騒音・振動の少ない静かな生活が守られている（満足度・居住地区別）

『満足（計）』と回答した割合は、**鷺宮地区と菖蒲・三箇地区**が他と比較して高い傾向が見られます。一方、『不満（計）』と回答した割合は、**江面地区**が他と比較して高い傾向が見られます。



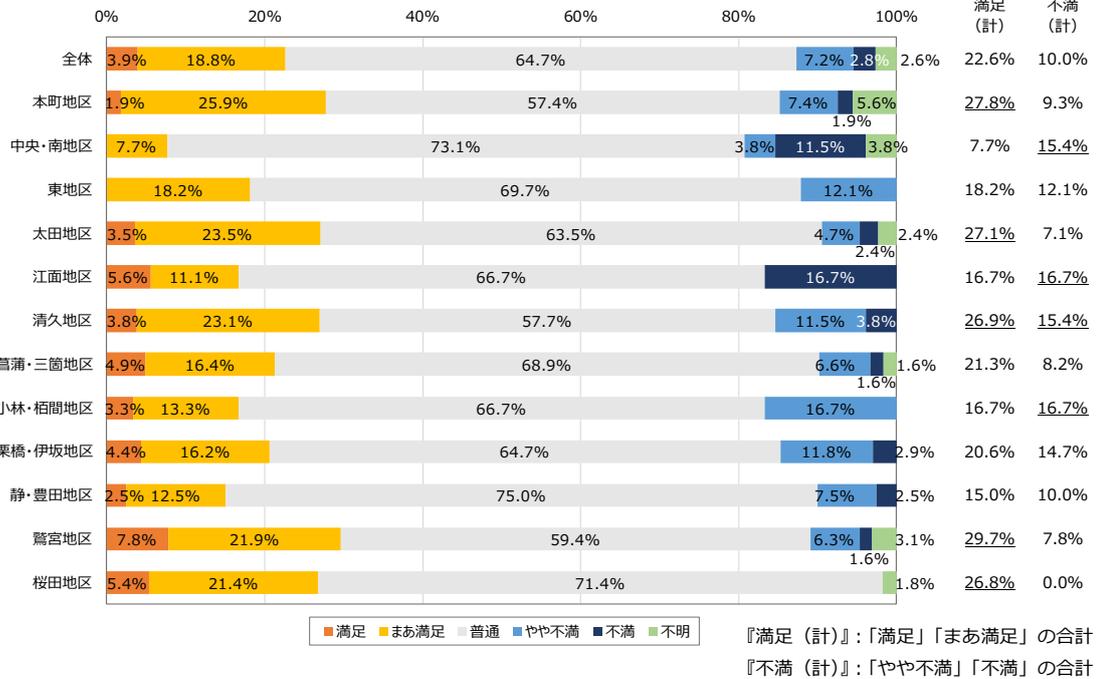
⑫ごみの減量が進み、適切に収集・処理されている（満足度・居住地区別）

『満足（計）』と回答した割合は、**清久地区、太田地区、本町地区、菖蒲・三箇地区**が他と比較して高い傾向が見られます。一方、『不満（計）』と回答した割合は、**中央・南地区と江面地区**が他と比較して高い傾向が見られます。



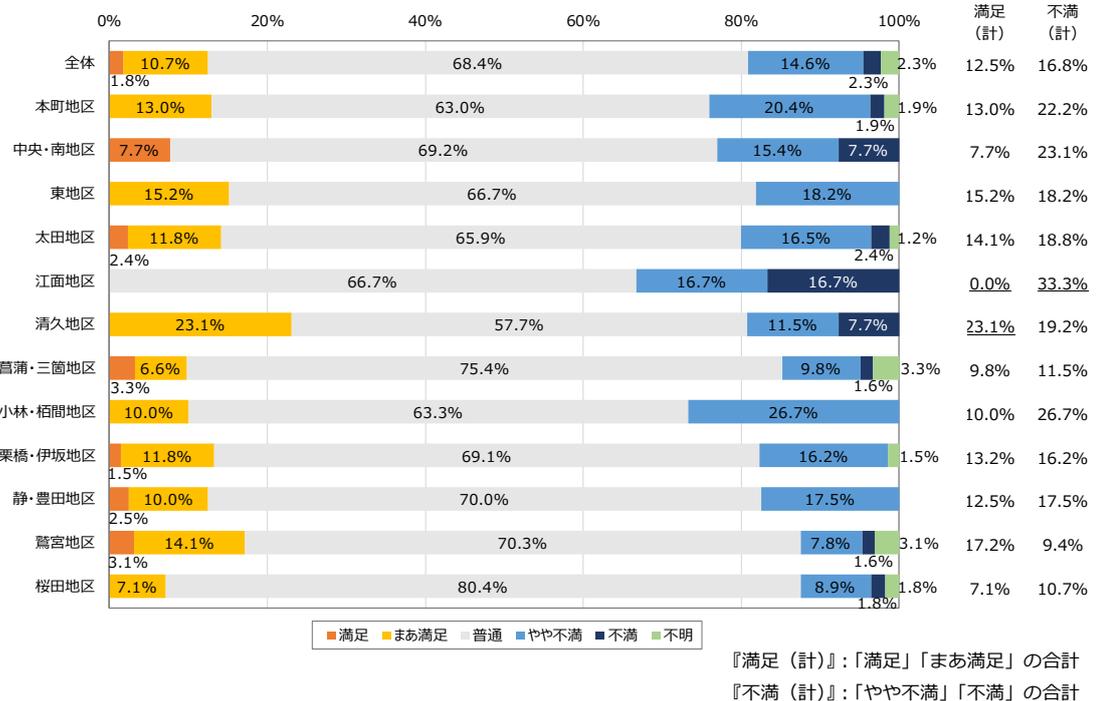
⑬化学物質のリスクが低減され、安心して暮らすことができる（満足度・居住地区別）

『満足（計）』と回答した割合は、**鷲宮地区、本町地区、太田地区、清久地区、桜田地区**が全体と比較して高い傾向が見られます。一方、『不満（計）』と回答した割合は、**江面地区、小林・栢間地区、中央・南地区、清久地区**が他と比較して高い傾向が見られます。



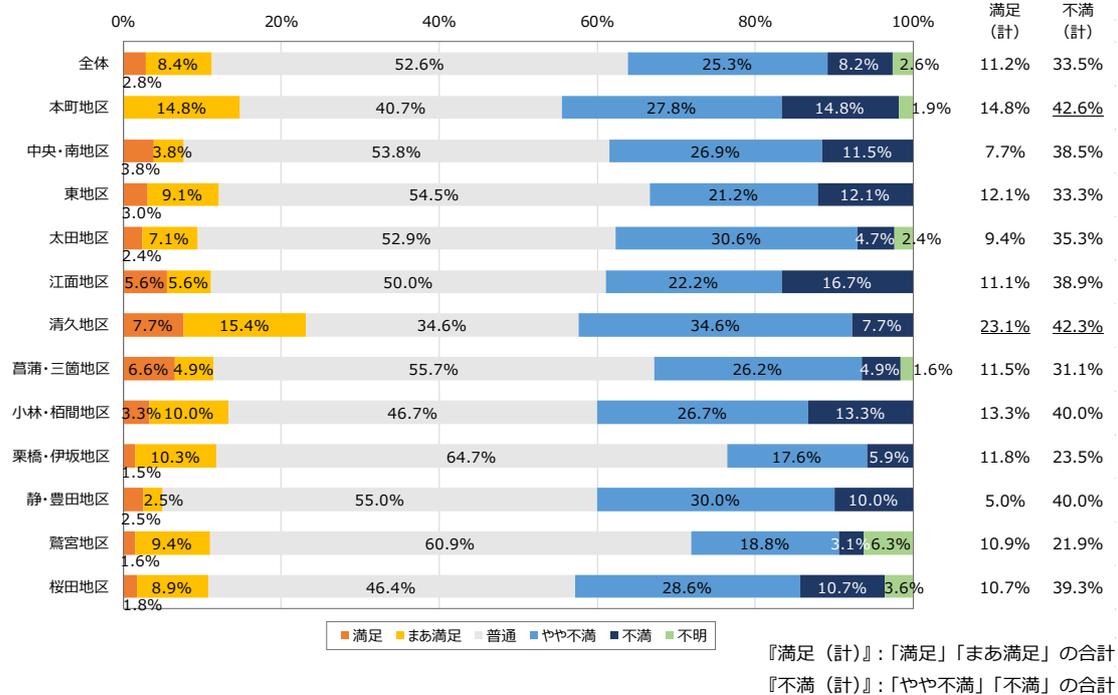
⑭省エネなど、温室効果ガスが削減できる暮らしができています（満足度・居住地区別）

『満足（計）』と回答した割合は、**清久地区**が他と比較して特に高い傾向が見られます。一方、『不満（計）』と回答した割合は、**江面地区**が他と比較して高い傾向が見られ、『満足（計）』が0%となっています。



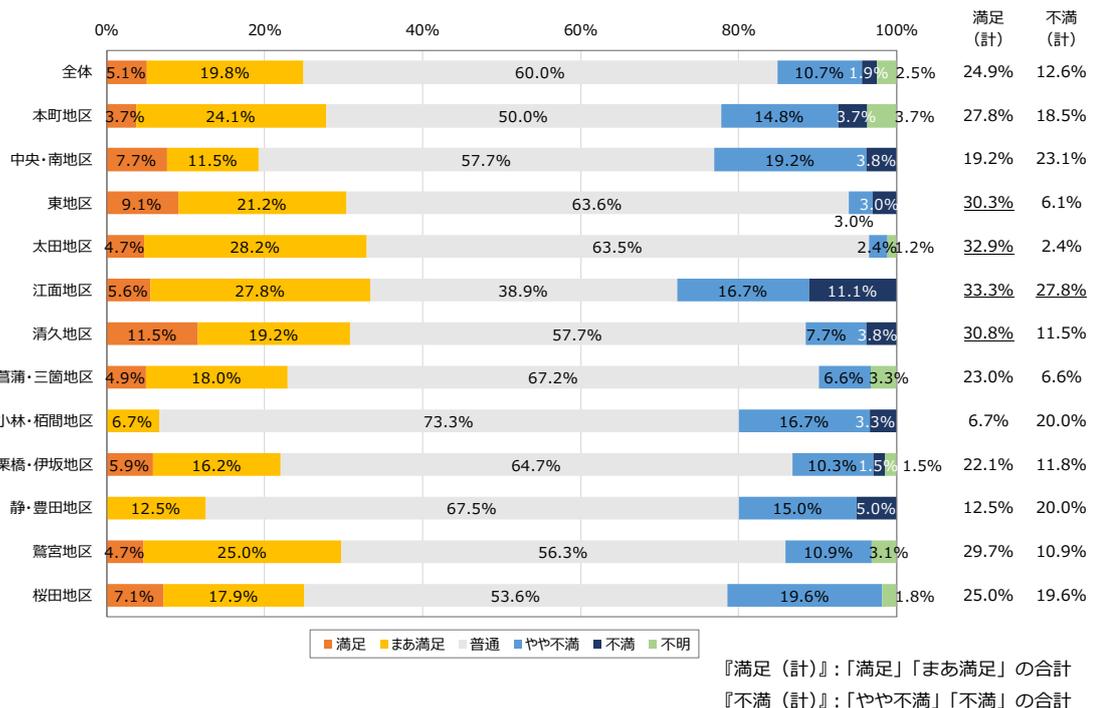
⑮太陽光など再生可能エネルギーが活用された暮らしができています（満足度・居住地区別）

『満足（計）』と回答した割合は、**清久地区**が全体と比較して特に高い傾向が見られます。一方、『不満（計）』と回答した割合は、**本町地区と清久地区**が他と比較して高い傾向が見られます。



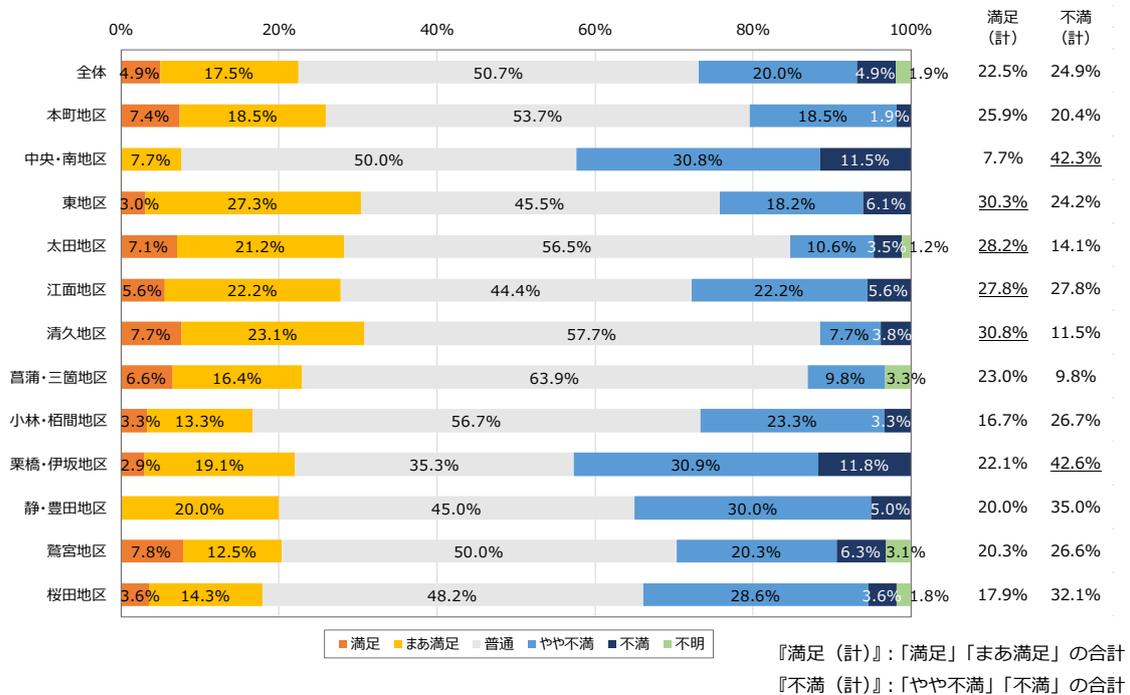
⑯資源が活用され、リサイクルが積極的に行われている（満足度・居住地区別）

『満足（計）』と回答した割合は、**江面地区、太田地区、清久地区、東地区**が他と比較して特に高い傾向が見られます。一方、『不満（計）』と回答した割合は、**江面地区**が他と比較して高い傾向が見られます。



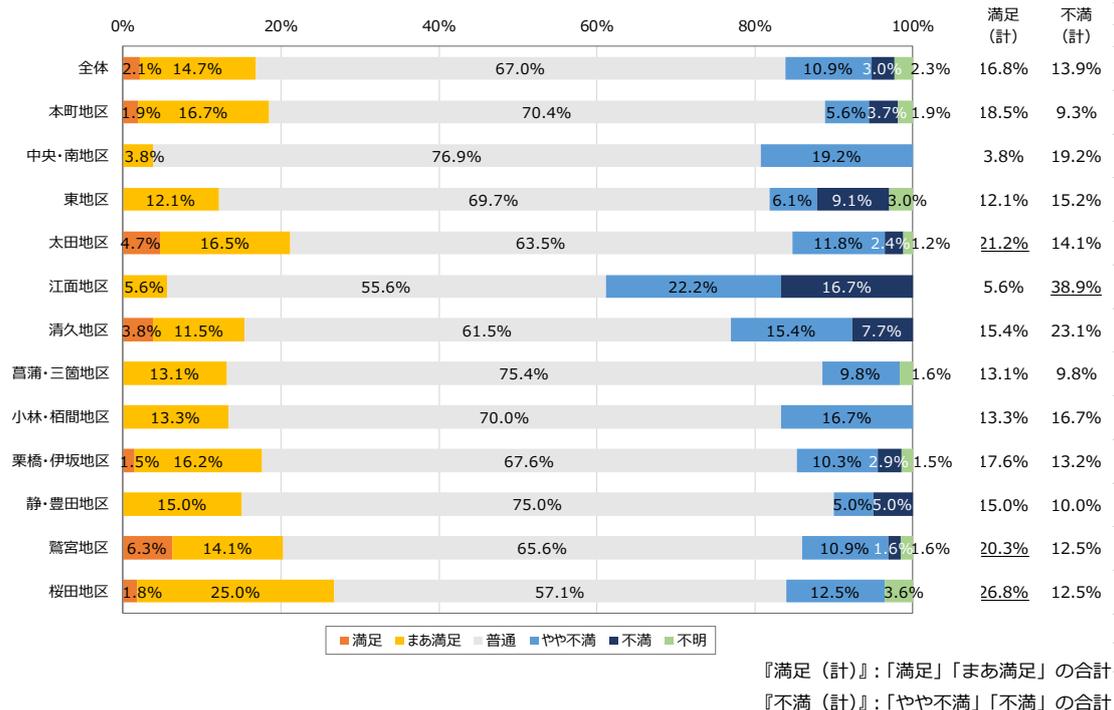
⑰風水害や土砂災害などの対策がされており、安心して暮らすことができる（満足度・居住地区別）

『満足（計）』と回答した割合は、**清久地区、東地区、太田地区、江面地区**が全体と比較して高い傾向が見られます。。一方、『不満（計）』と回答した割合は、**栗橋・伊坂地区と中央・南地区**が他と比較して高い傾向が見られます。。



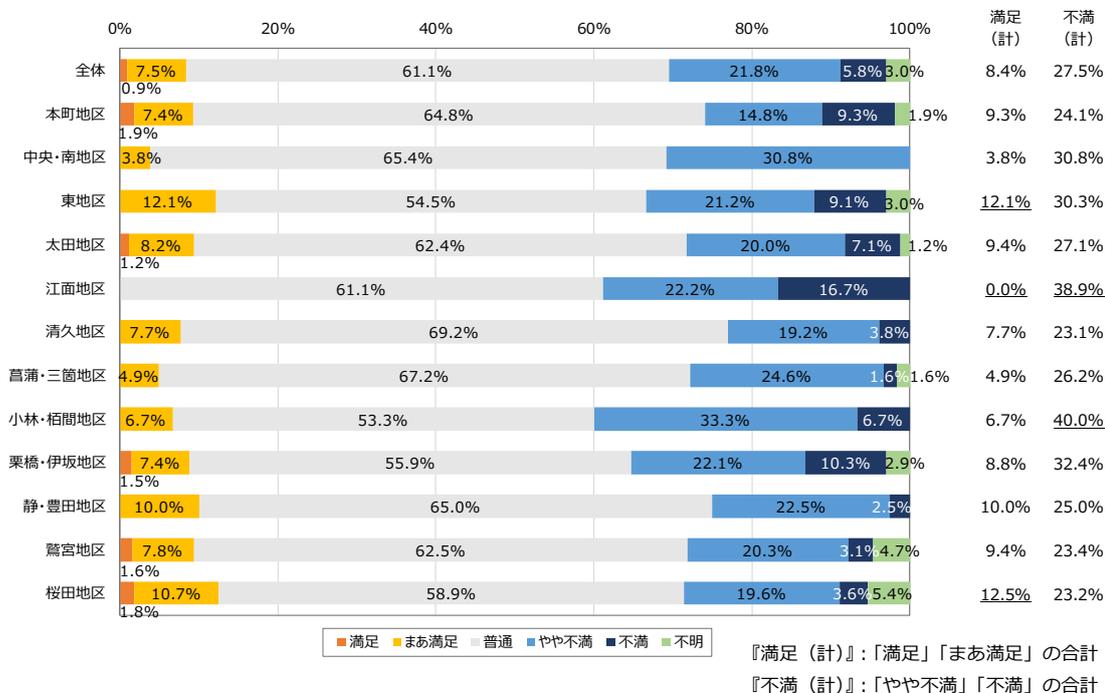
⑱歴史的文化が自然環境と一体となって保全されている（満足度・居住地区別）

『満足（計）』と回答した割合は、**桜田地区、太田地区、鷺宮地区**が他と比較して高い傾向が見られます。一方、『不満（計）』と回答した割合は、**江面地区**が他と比較して高い傾向が見られます。。



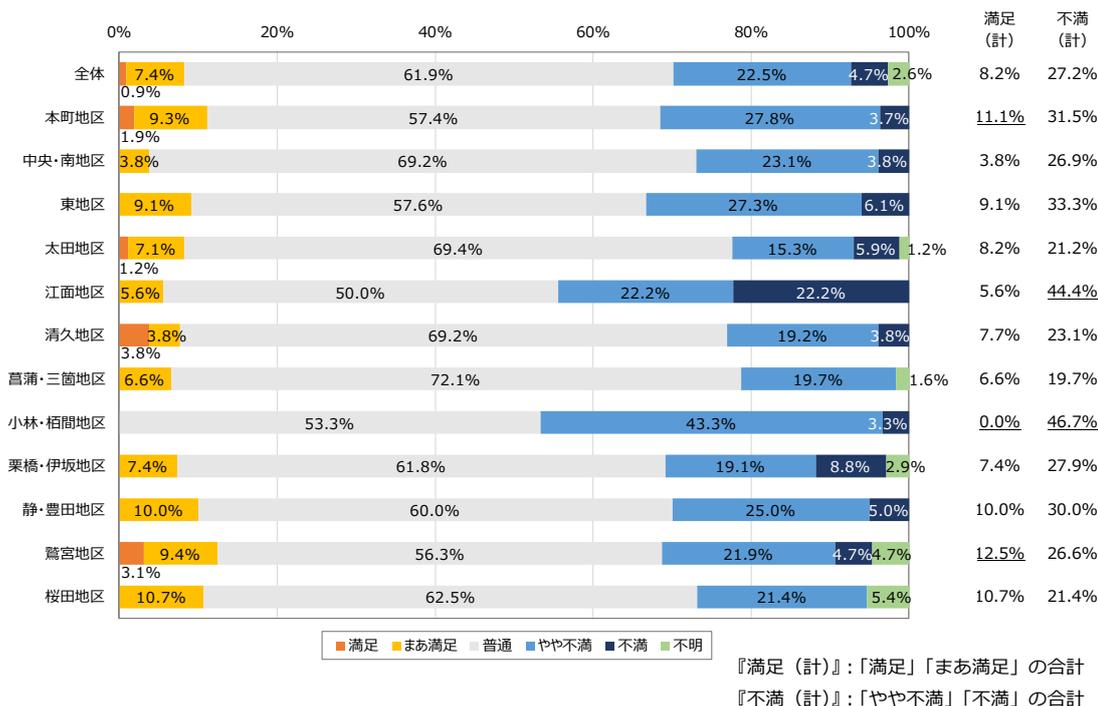
⑱環境学習の機会がある（満足度・居住地区別）

『満足（計）』と回答した割合は、**桜田地区と東地区**が全体と比較して高い傾向が見られます。一方、『不満（計）』と回答した割合は、**小林・栢間地区と江面地区**が他と比較して高い傾向が見られ、**江面地区**は『満足（計）』が0%となっています。



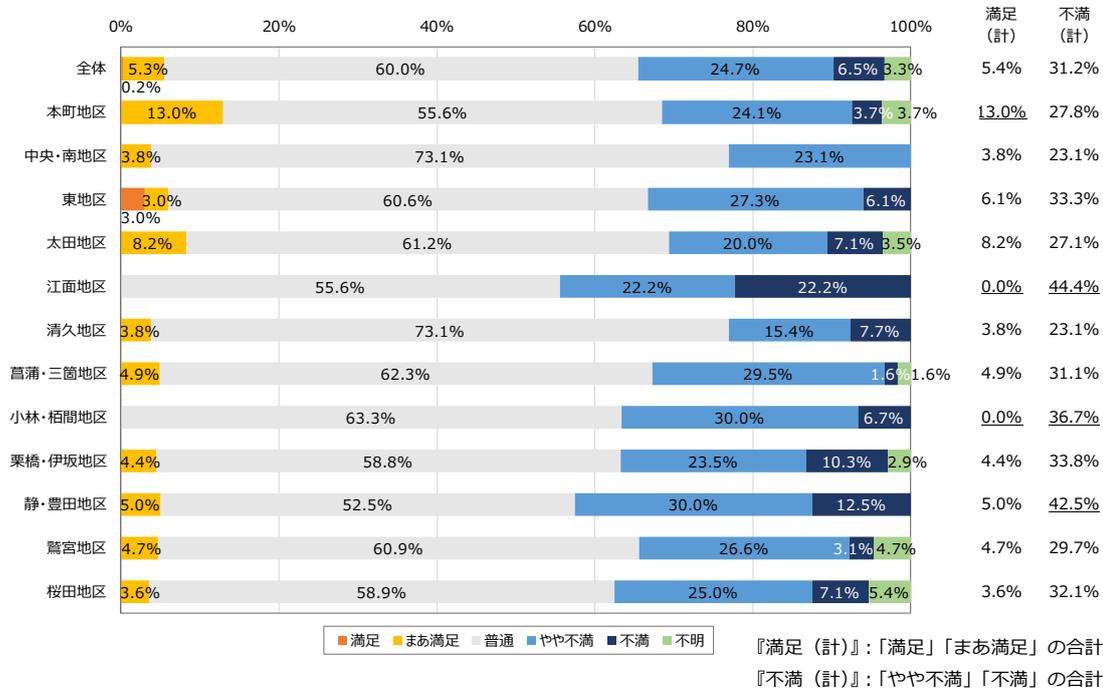
⑳環境保全のための情報が提供され、取り組みやすい（満足度・居住地区別）

『満足（計）』と回答した割合は、**鷺宮地区と本町地区**が他と比較して高い傾向が見られます。一方、『不満（計）』と回答した割合は、**小林・栢間地区と江面地区**が他と比較して高い傾向が見られ、**小林・栢間地区**は『満足（計）』が0%となっています。



④環境に関する市の支援が受けられる（満足度・居住地区別）

『満足（計）』と回答した割合は、**本町地区**が全体と比較して高い傾向が見られます。一方、『不満（計）』と回答した割合は、**江面地区、静・豊田地区、小林・栢間地区**が他と比較して高い傾向が見られ、**江面地区と小林・栢間地区**は『満足（計）』が0%となっています。

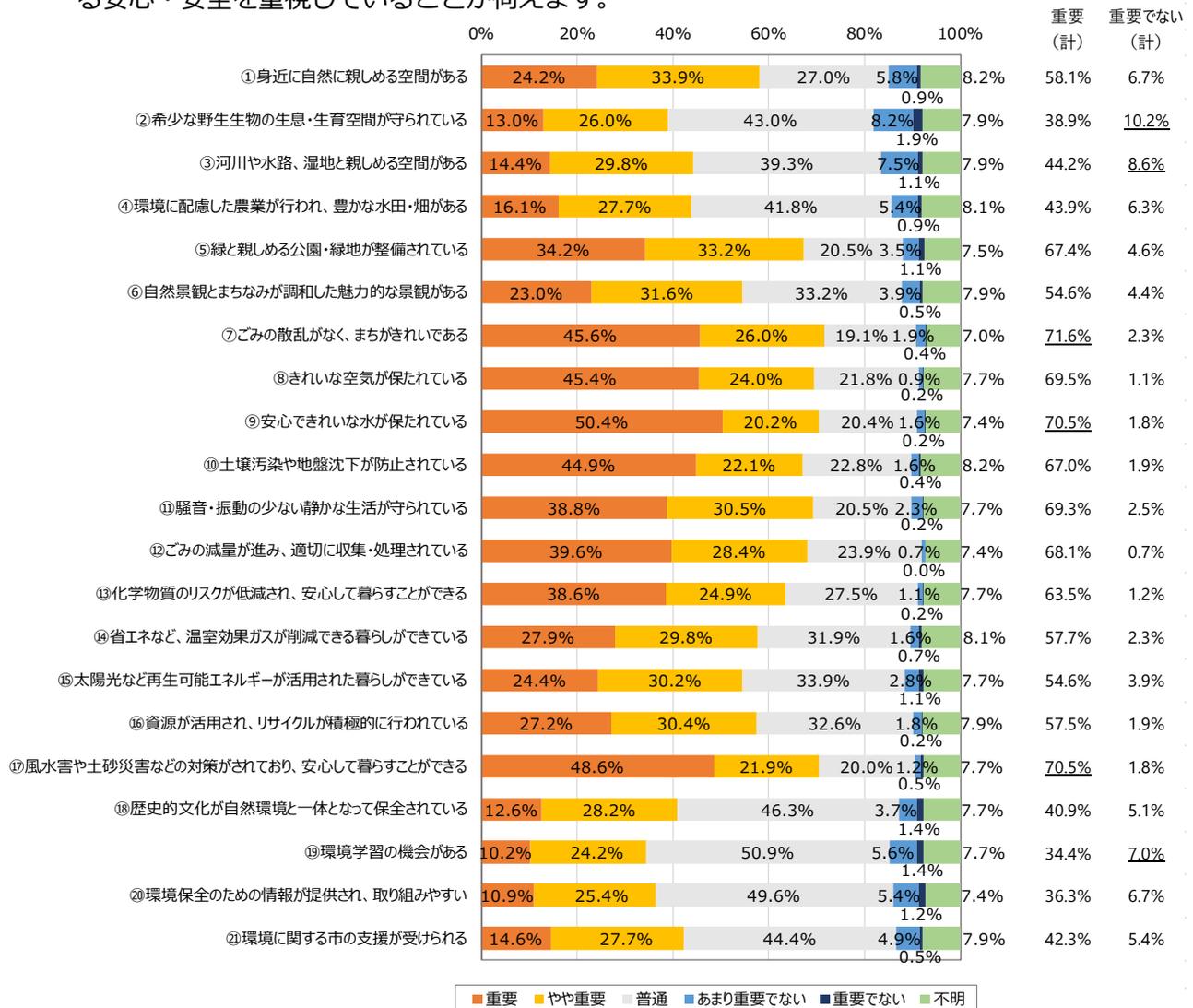


## (2) 久喜市の環境に関する重要度

問7B 久喜市の環境について、日ごろどのように感じていますか。各項目の重要度について、あてはまる番号1~5の中から1つだけ○で囲んでください。

久喜市の環境について重要と感じていることを聞いたところ、『重要(計)』(「重要」「やや重要」の合計)の回答が多かったのは、「⑦ごみの散乱がなく、まちがきれいである(71.6%)」、「⑨安心できれいな水が保たれている(70.5%)」、「⑰風水害や土砂災害などの対策がされており、安心して暮らすことができる(70.5%)」であり、7割以上の方が重要と感じています。一方、『重要でない(計)』(「あまり重要でない」「重要でない」の合計)については、「②希少な野生生物の生息・生育空間が守られている(10.2%)」が最も多く、次いで「③河川や水路、湿地と親しめる空間がある(8.6%)」、「⑲環境学習の機会がある(7.0%)」でした。

希少な野生生物については、市内には久喜市指定希少野生生物種や希少な植物群落など保護すべき種が数多くみられますが、身近に感じる機会が少なく、重要でないの回答が多くなったことが伺えます。全体的に美化や公害、風水害等対策など身近な生活環境における安心・安全を重視していることが伺えます。



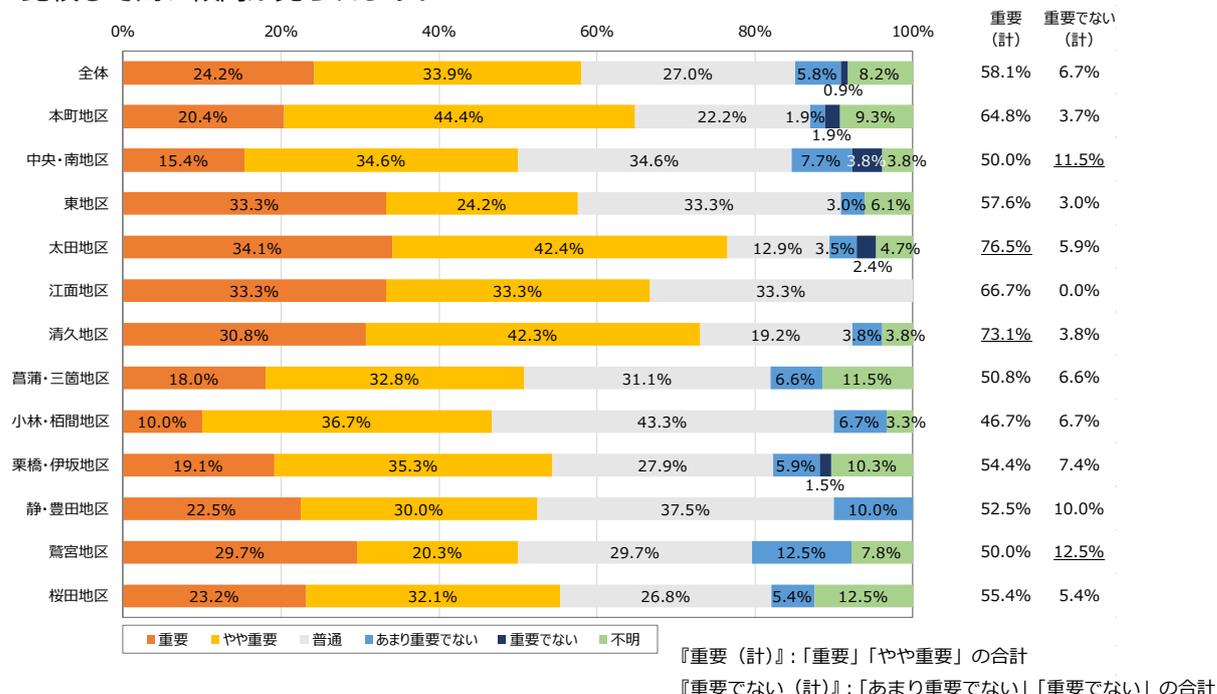
『重要(計)』: 「重要」「やや重要」の合計

『重要でない(計)』: 「あまり重要でない」「重要でない」の合計

## (2) - 1 久喜市の環境に関する重要度（居住地区別）

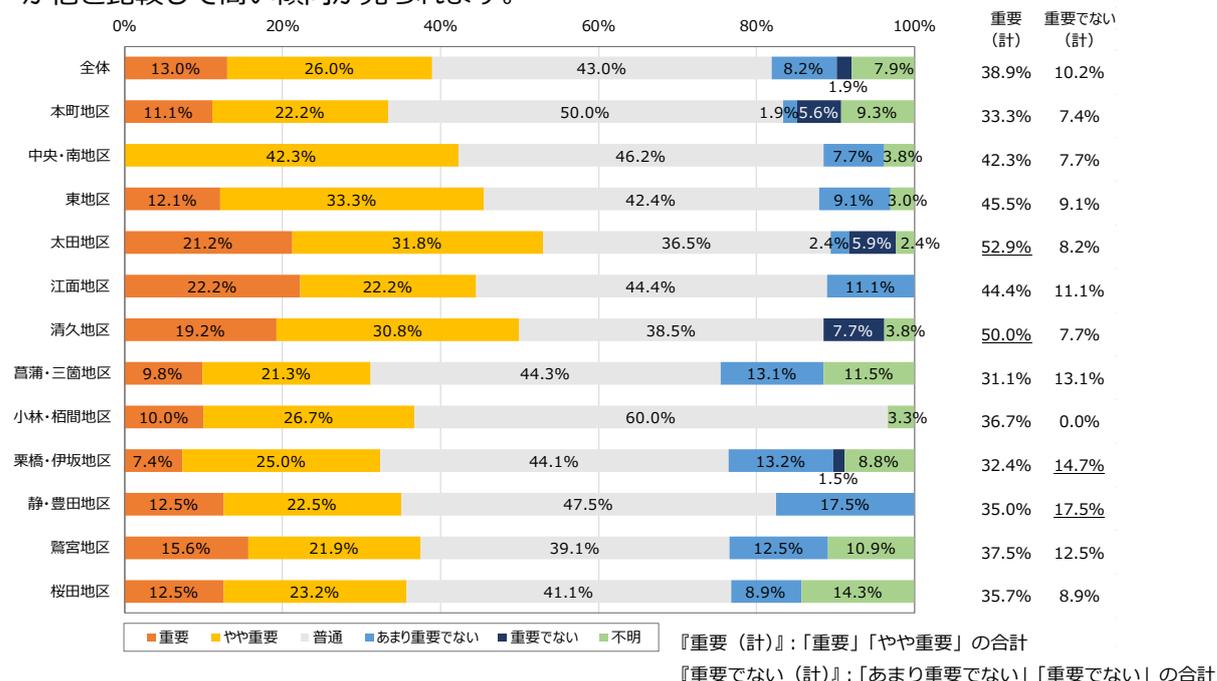
### ①身近に自然に親しめる空間がある（重要度・居住地区別）

『重要（計）』と回答した割合は、**太田地区と清久地区**が他と比較して高い傾向が見られます。一方、『重要でない（計）』と回答した割合は、**鷲宮地区と中央・南地区**が他と比較して高い傾向が見られます。



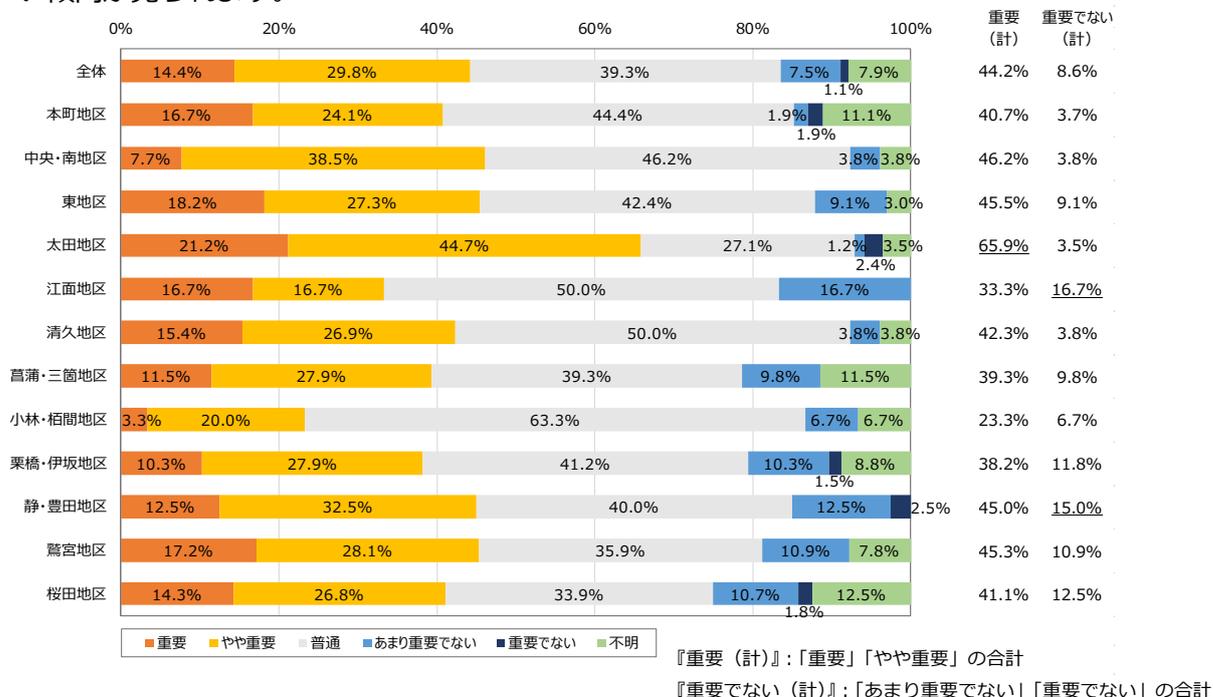
### ②希少な野生生物の生息・生育空間が守られている（重要度・居住地区別）

『重要（計）』と回答した割合は、**太田地区と清久地区**が他と比較して高い傾向が見られます。一方、『重要でない（計）』と回答した割合は、**静・豊田地区と栗橋・伊坂地区**が他と比較して高い傾向が見られます。



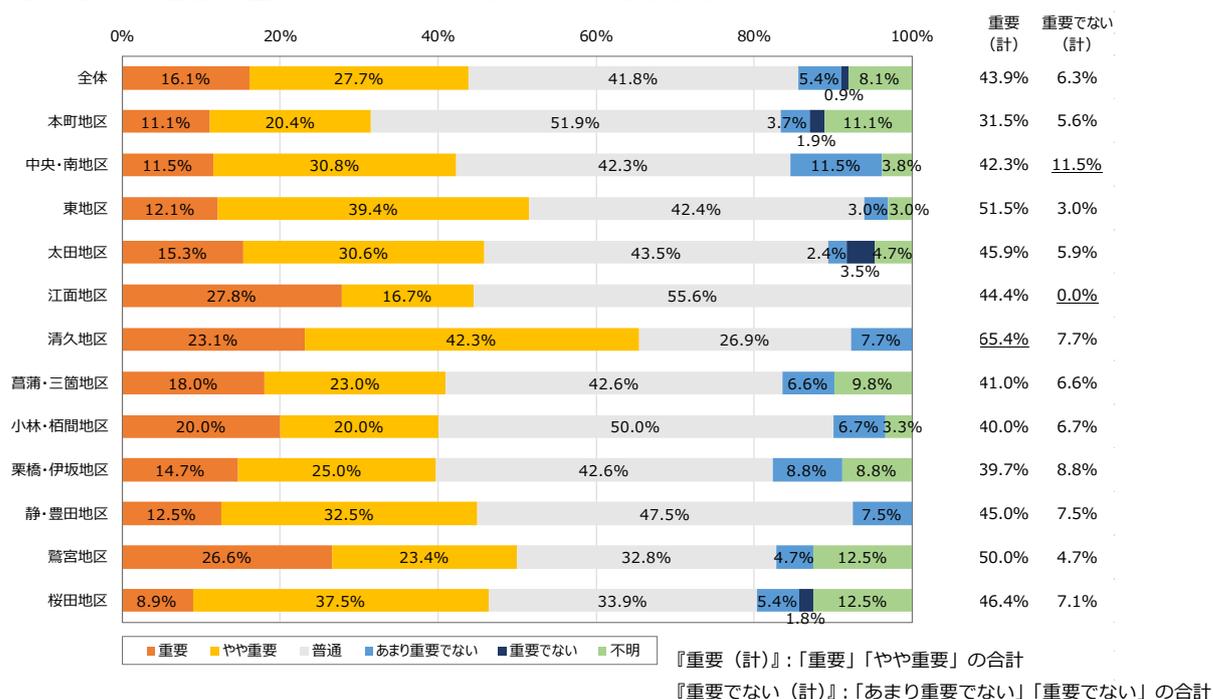
③河川や水路、湿地と親しめる空間がある（重要度・居住地区別）

『重要（計）』と回答した割合は、**太田地区**が他と比較して高い傾向が見られます。一方、『重要でない（計）』と回答した割合は、**江面地区と静・豊田地区**が他と比較して高い傾向が見られます。



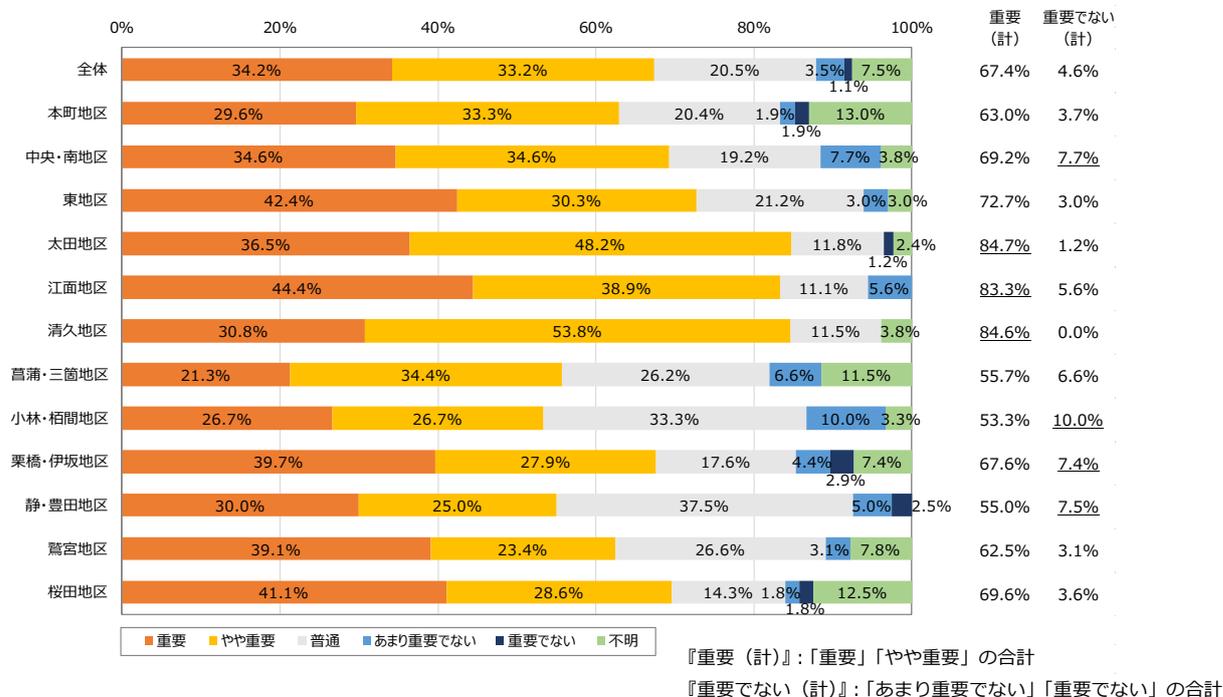
④環境に配慮した農業が行われ、豊かな水田・畑がある（重要度・居住地区別）

『重要（計）』と回答した割合は、**清久地区**が他と比較して高い傾向が見られます。一方、『重要でない（計）』と回答した割合は、**中央・南地区**が他と比較して高い傾向が見られます。**江面地区**については、『重要でない（計）』が0%でした。



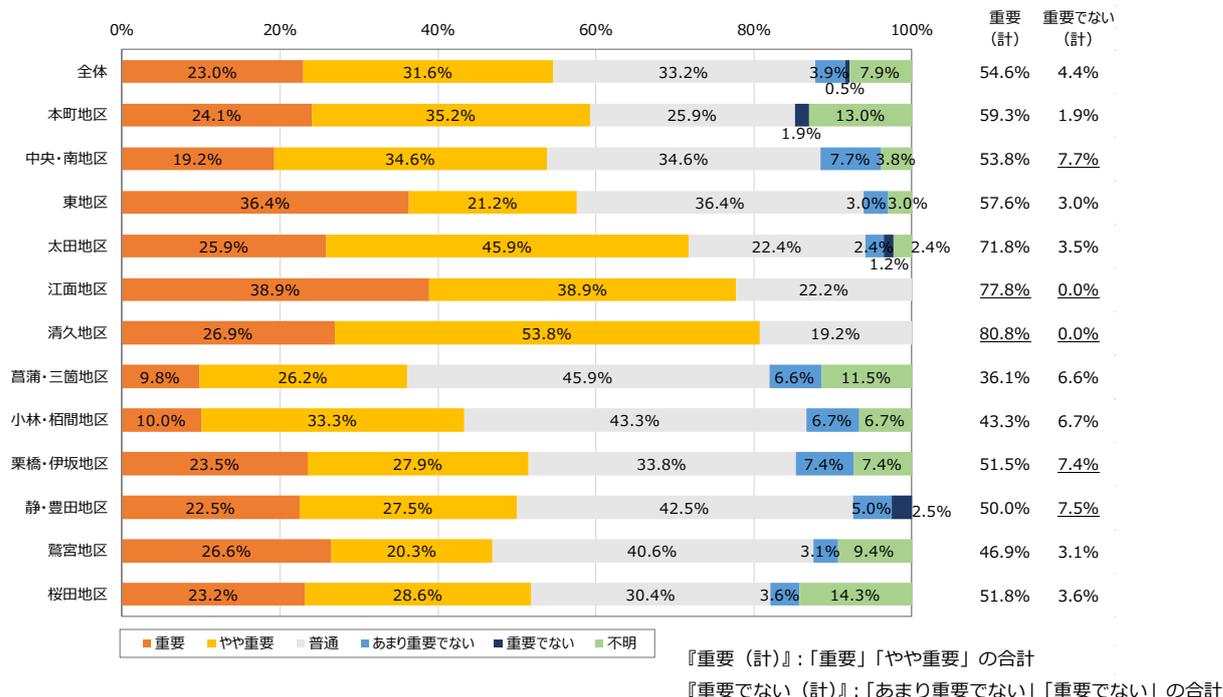
⑤緑と親しめる公園・緑地が整備されている（重要度・居住地区別）

『重要（計）』と回答した割合は、**太田地区、清久地区、江面地区**が他と比較して高い傾向が見られます。一方、『重要でない（計）』と回答した割合は、**小林・栢間地区、中央・南地区、静・豊田地区、栗橋・伊坂地区**が他と比較して高い傾向が見られます。



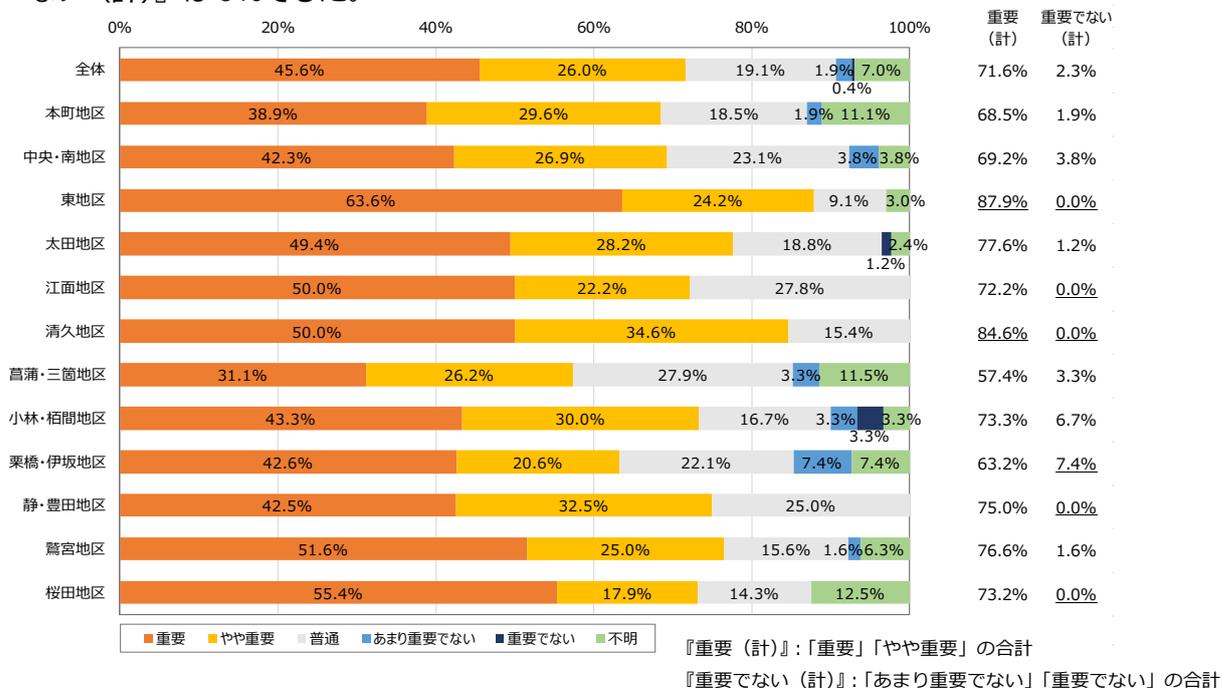
⑥自然景観とまちなみが調和した魅力的な景観がある（重要度・居住地区別）

『重要（計）』と回答した割合は、**清久地区と江面地区**が他と比較して高い傾向が見られ、『重要でない（計）』は0%となっています。一方、『重要でない（計）』と回答した割合は、**中央・南地区、静・豊田地区、栗橋・伊坂地区**が他と比較して高い傾向が見られます。



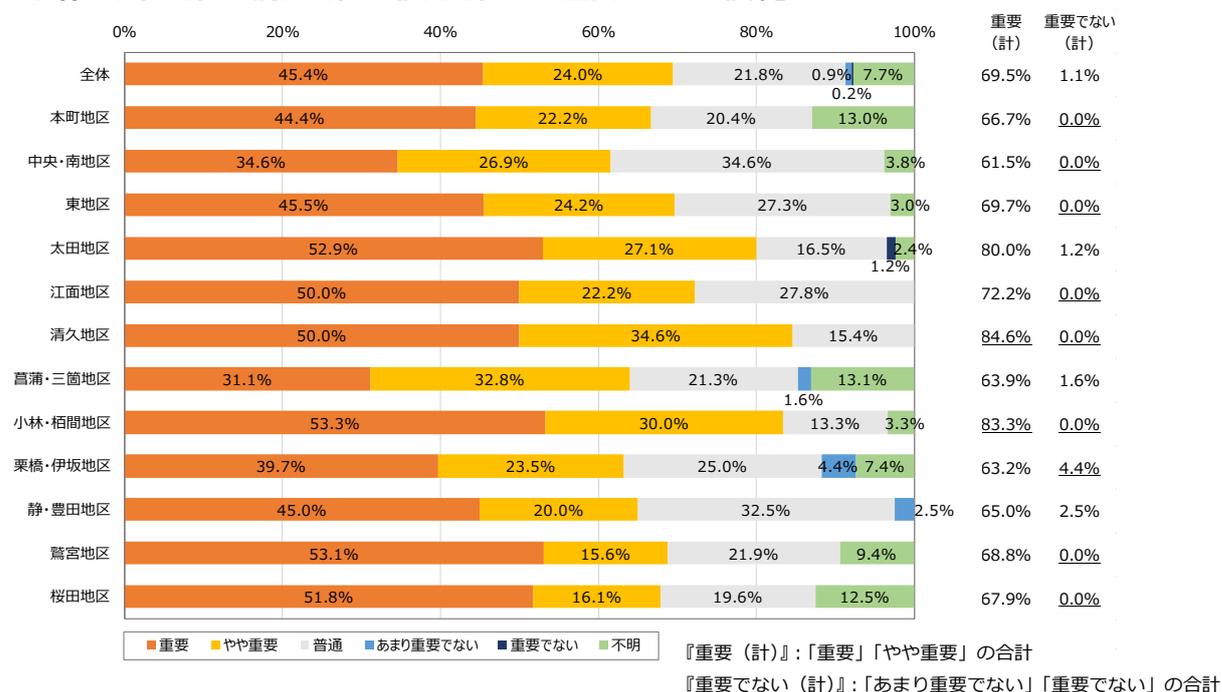
⑦ごみの散乱がなく、まちがきれいである（重要度・居住地区別）

『重要（計）』と回答した割合は、**東地区と清久地区**が他と比較して高い傾向が見られます。一方、『重要でない（計）』と回答した割合は、**栗橋・伊坂地区**が他と比較して高い傾向が見られます。**東地区、江面地区、清久地区、静・豊田地区、桜田地区**は『重要でない（計）』は0%でした。



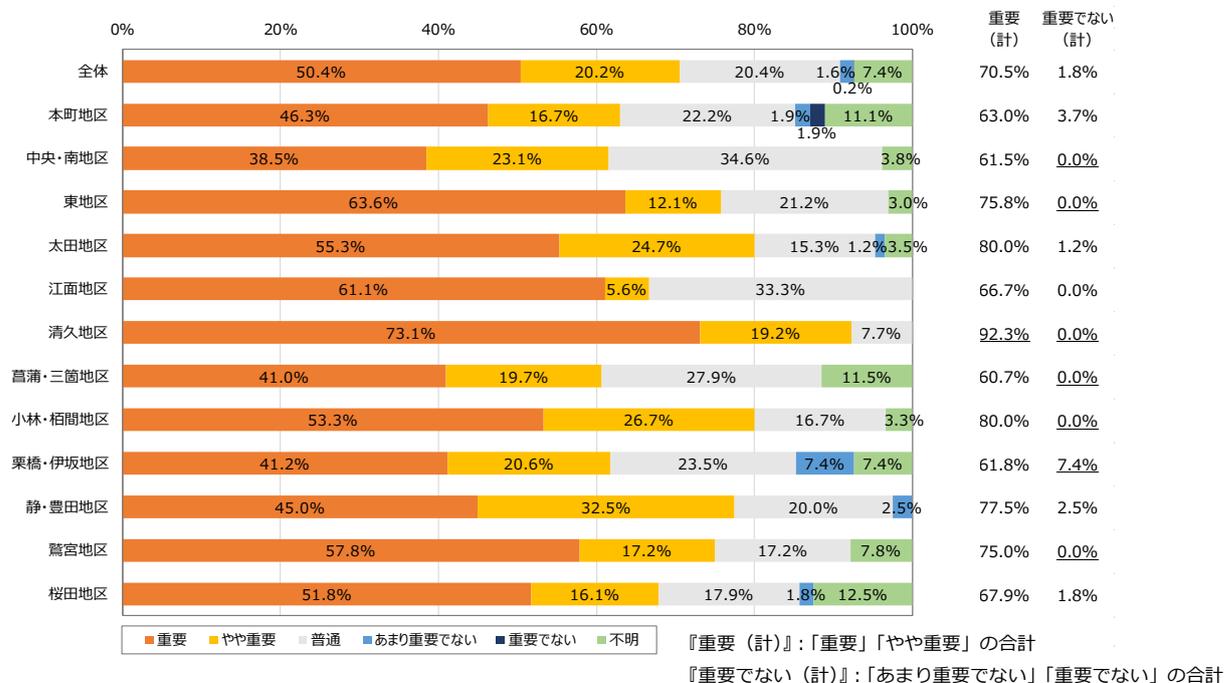
⑧きれいな空気が保たれている（重要度・居住地区別）

『重要（計）』と回答した割合は、**清久地区と小林・栢間地区**が他と比較して高い傾向が見られます。一方、『重要でない（計）』と回答した割合は、**栗橋・伊坂地区**が他と比較して高い傾向が見られます。**本町地区、中央・南地区、東地区、江面地区、清久地区、小林・栢間地区、鷲宮地区、桜田地区**は『重要でない（計）』は0%でした。



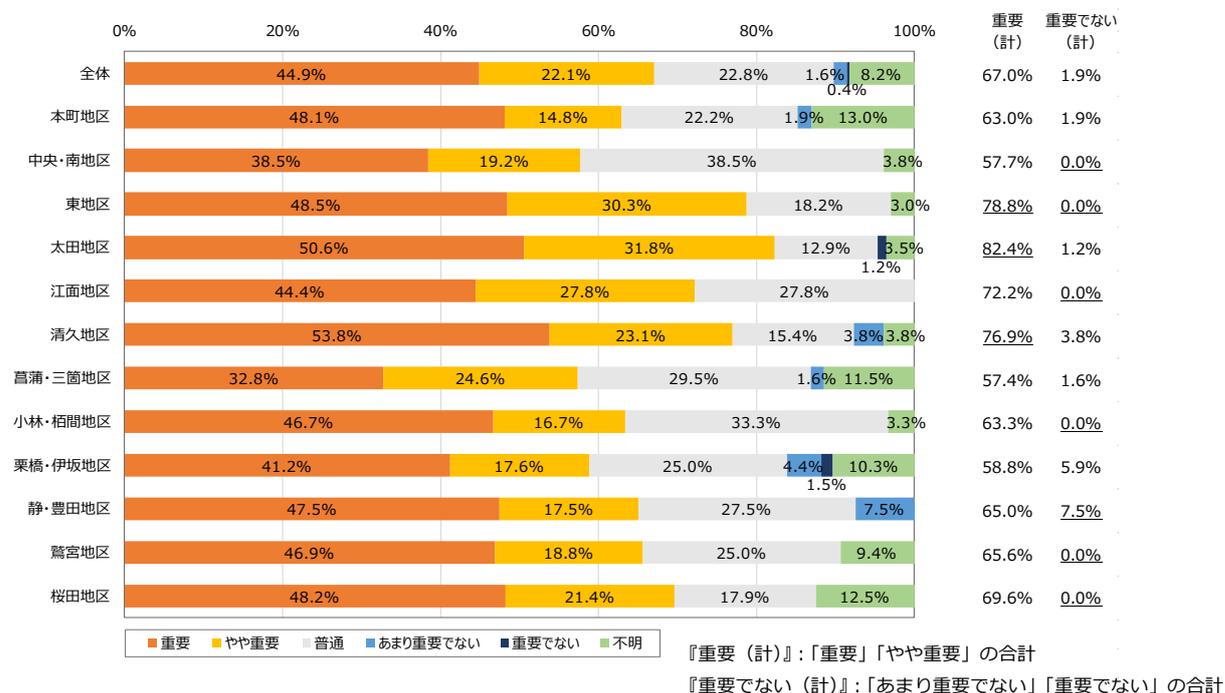
⑨安心できれいな水が保たれている（重要度・居住地区別）

『重要（計）』と回答した割合は、**清久地区**が他と比較して高い傾向が見られます。一方、『重要でない（計）』と回答した割合は、**栗橋・伊坂地区**が他と比較して高い傾向が見られます。**中央・南地区、東地区、江面地区、清久地区、菖蒲・三箇地区、小林・栢間地区、鷺宮地区**は『重要でない（計）』は0%でした。



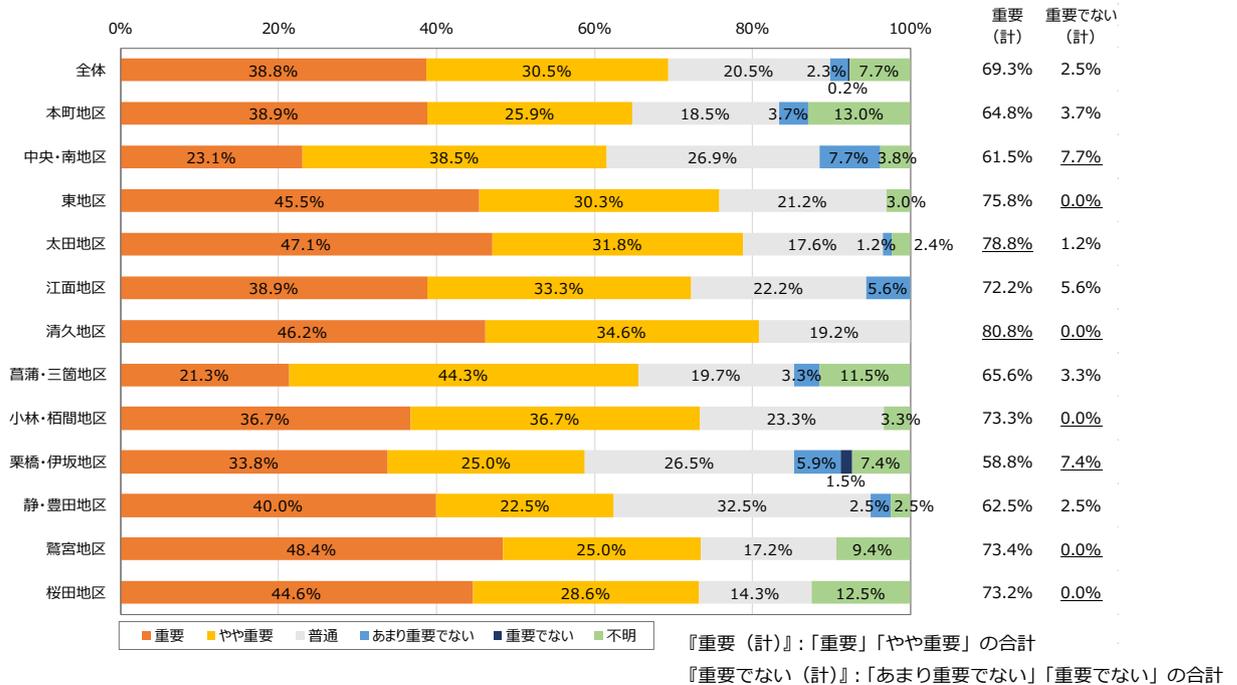
⑩土壌汚染や地盤沈下が防止されている（重要度・居住地区別）

『重要（計）』と回答した割合は、**太田地区、清久地区、東地区**が他と比較して高い傾向が見られます。一方、『重要でない（計）』と回答した割合は、**静・豊田地区**が他と比較して高い傾向が見られます。**中央・南地区、東地区、江面地区、小林・栢間地区、鷺宮地区、桜田地区**は『重要でない（計）』は0%でした。



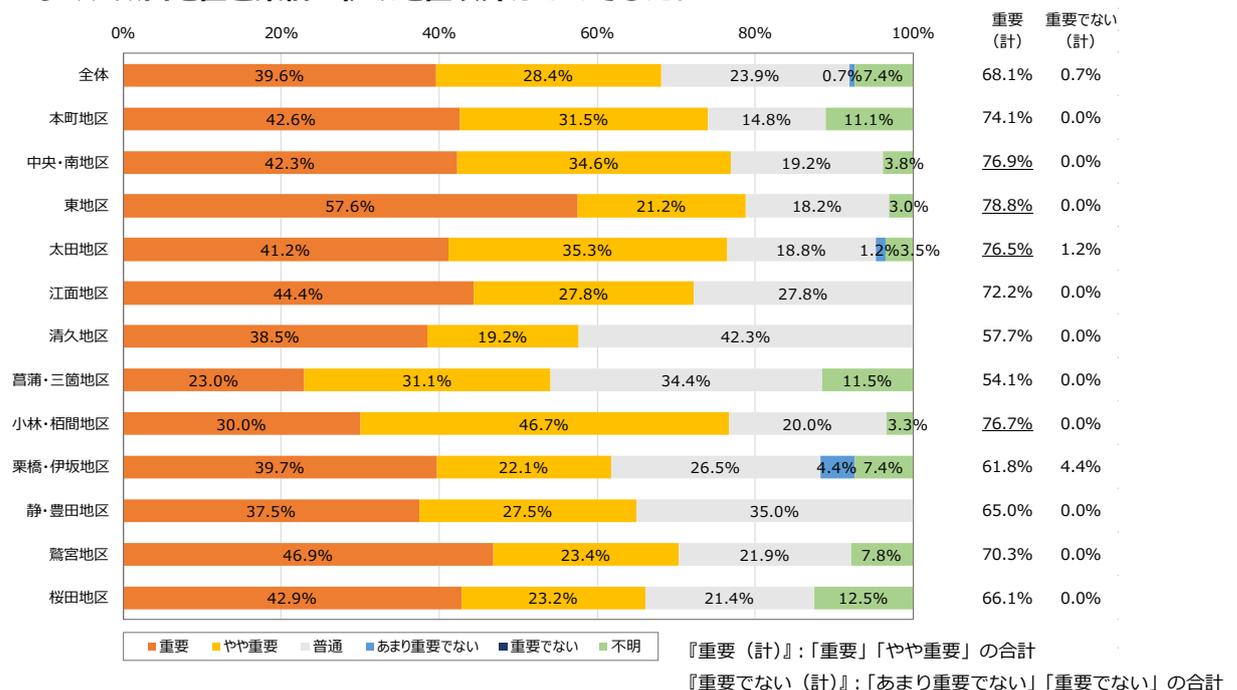
⑪騒音・振動の少ない静かな生活が守られている（重要度・居住地区別）

『重要（計）』と回答した割合は、**清久地区と太田地区**が他と比較して高い傾向が見られます。一方、『重要でない（計）』と回答した割合は、**中央・南地区と栗橋・伊坂地区**が他と比較して高い傾向が見られます。**東地区、清久地区、小林・栢間地区、鷺宮地区、桜田地区**は『重要でない（計）』は0%でした。



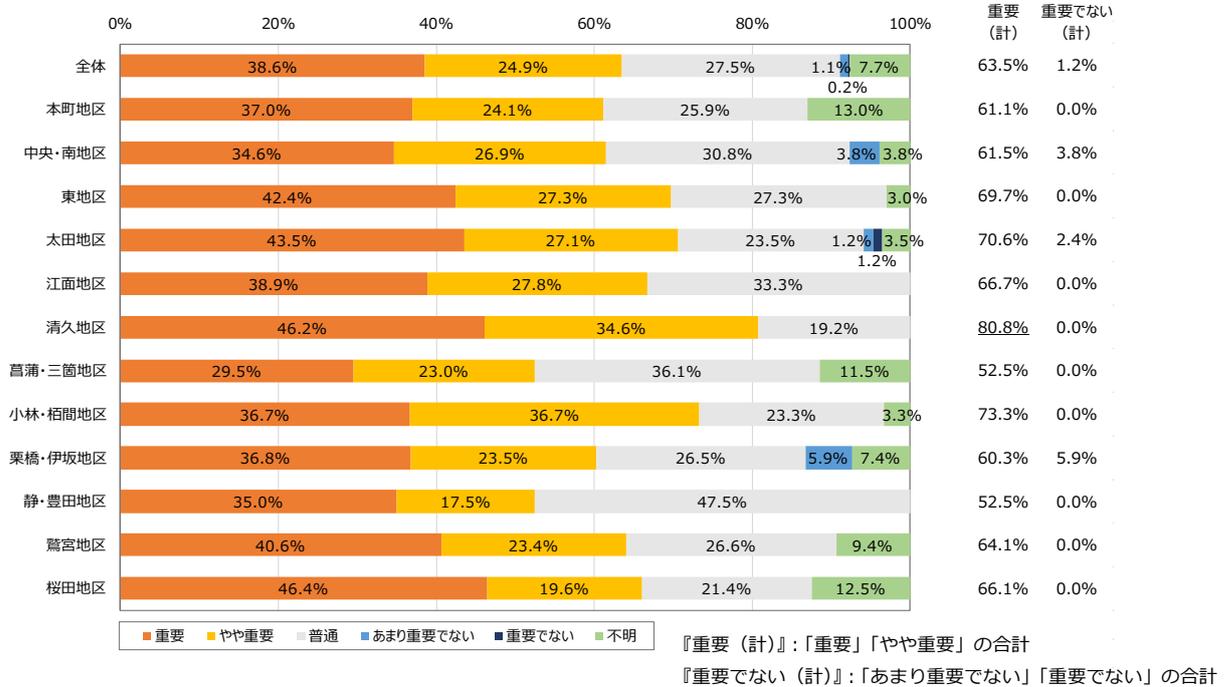
⑫ごみの減量が進み、適切に収集・処理されている（重要度・居住地区別）

『重要（計）』と回答した割合は、**東地区、中央・南地区、小林・栢間地区、太田地区**が他と比較して高い傾向が見られます。一方、『重要でない（計）』と回答した割合は少なく、**太田地区と栗橋・伊坂地区以外**は0%でした。



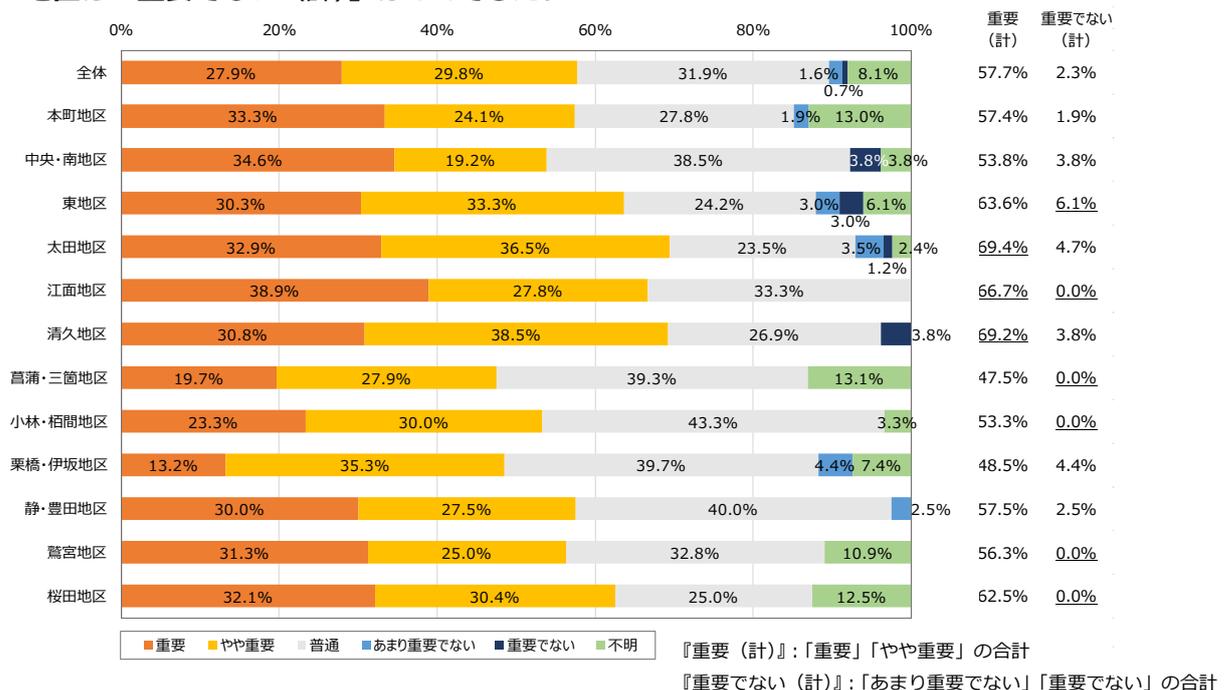
⑬化学物質のリスクが低減され、安心して暮らすことができる（重要度・居住地区別）

『重要（計）』と回答した割合は、**清久地区**が他と比較して高い傾向が見られます。一方、『重要でない（計）』と回答した割合は、**中央・南地区、太田地区と栗橋・伊坂地区以外**は0%でした。



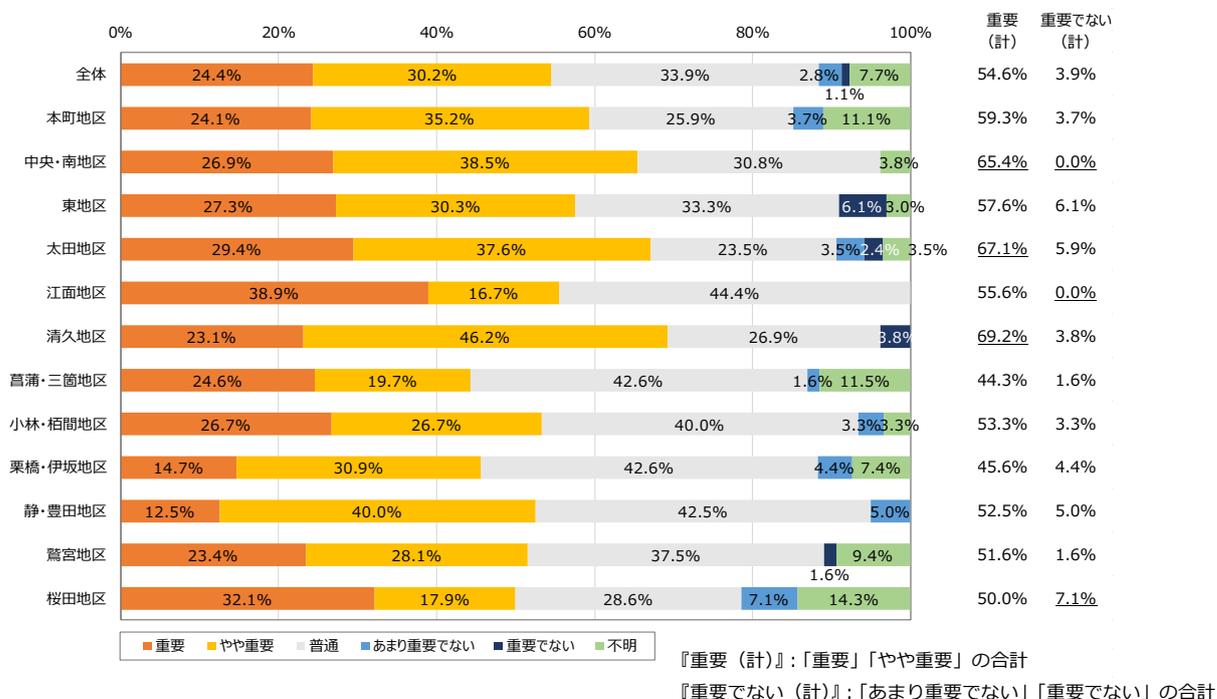
⑭省エネなど、温室効果ガスが削減できる暮らしができています（重要度・居住地区別）

『重要（計）』と回答した割合は、**太田地区、清久地区、江面地区**が他と比較して高い傾向が見られます。一方、『重要でない（計）』と回答した割合は、**東地区**が他と比較して高い傾向が見られます。**江面地区、菖蒲・三箇地区、小林・栢間地区、鷲宮地区、桜田地区**は『重要でない（計）』は0%でした。



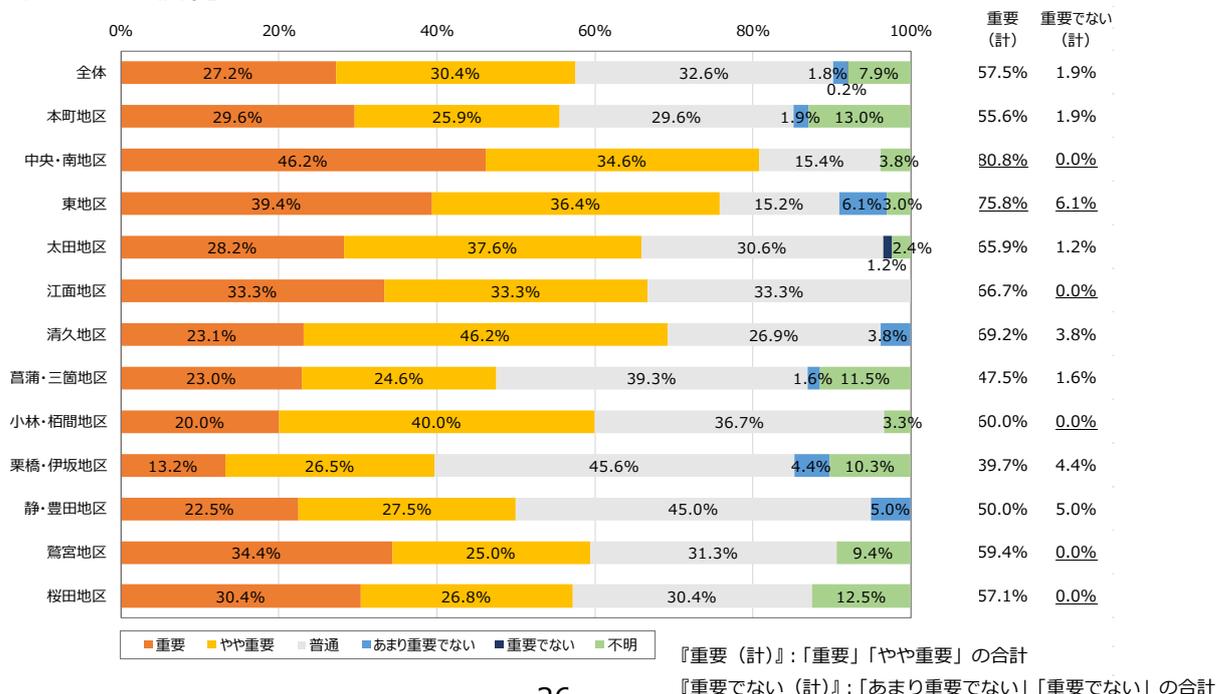
⑮太陽光など再生可能エネルギーが活用された暮らしができています（重要度・居住地区別）

『重要（計）』と回答した割合は、**清久地区、太田地区、中央・南地区**が他と比較して高い傾向が見られます。一方、『重要でない（計）』と回答した割合は、**桜田地区**が他と比較して高い傾向が見られます。**中央・南地区と江面地区**は『重要でない（計）』は0%でした。



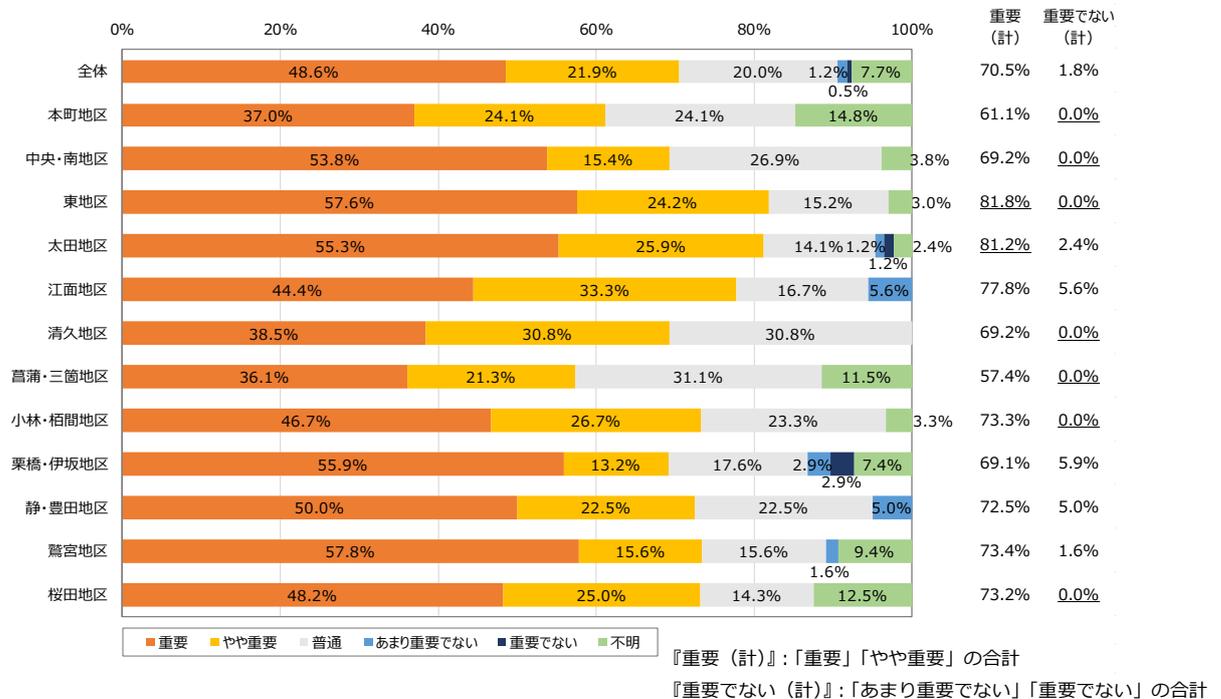
⑯資源が活用され、リサイクルが積極的に行われている（重要度・居住地区別）

『重要（計）』と回答した割合は、**中央・南地区と東地区**が他と比較して高い傾向が見られます。一方、『重要でない（計）』と回答した割合は、**東地区**が他と比較して高い傾向が見られます。**中央・南地区、江面地区、小林・栢間地区、鷲宮地区、桜田地区**は『重要でない（計）』は0%でした。



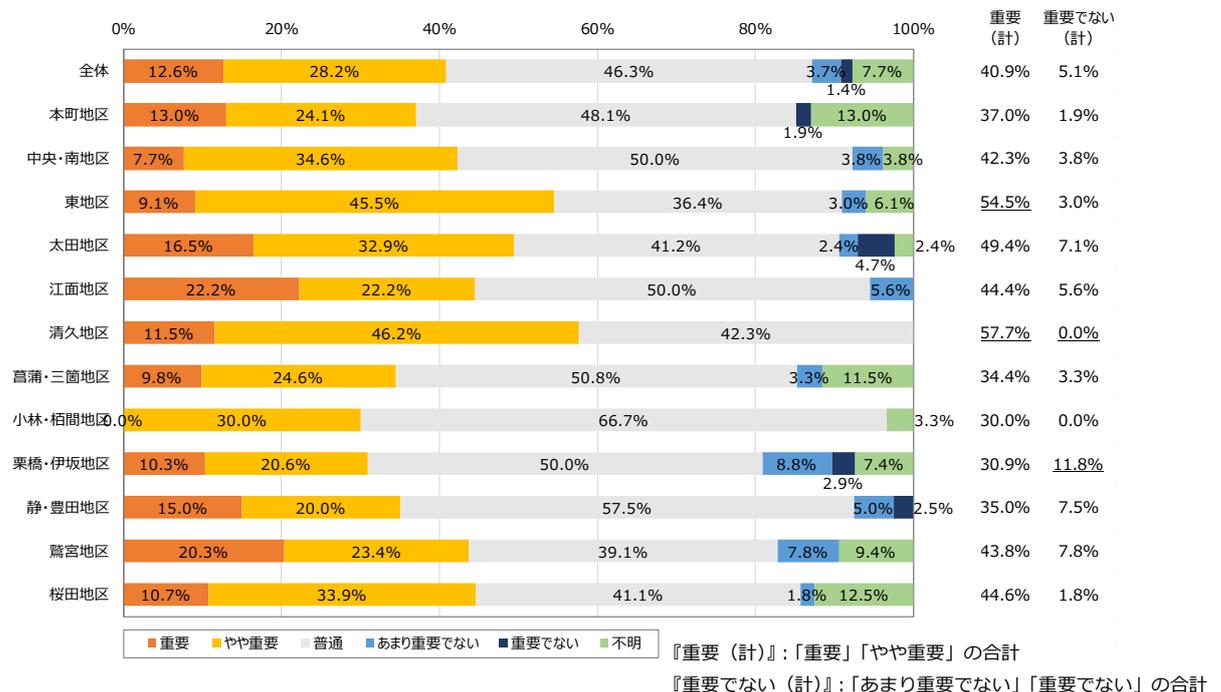
⑰風水害や土砂災害などの対策がされており、安心して暮らすことができる（重要度・居住地区別）

『重要（計）』と回答した割合は、**東地区と太田地区**が他と比較して高い傾向が見られます。一方、『重要でない（計）』と回答した割合は、**本町地区、中央・南地区、東地区、清久地区、菖蒲・三箇地区、小林・栢間地区、桜田地区**は『重要でない（計）』は0%でした。



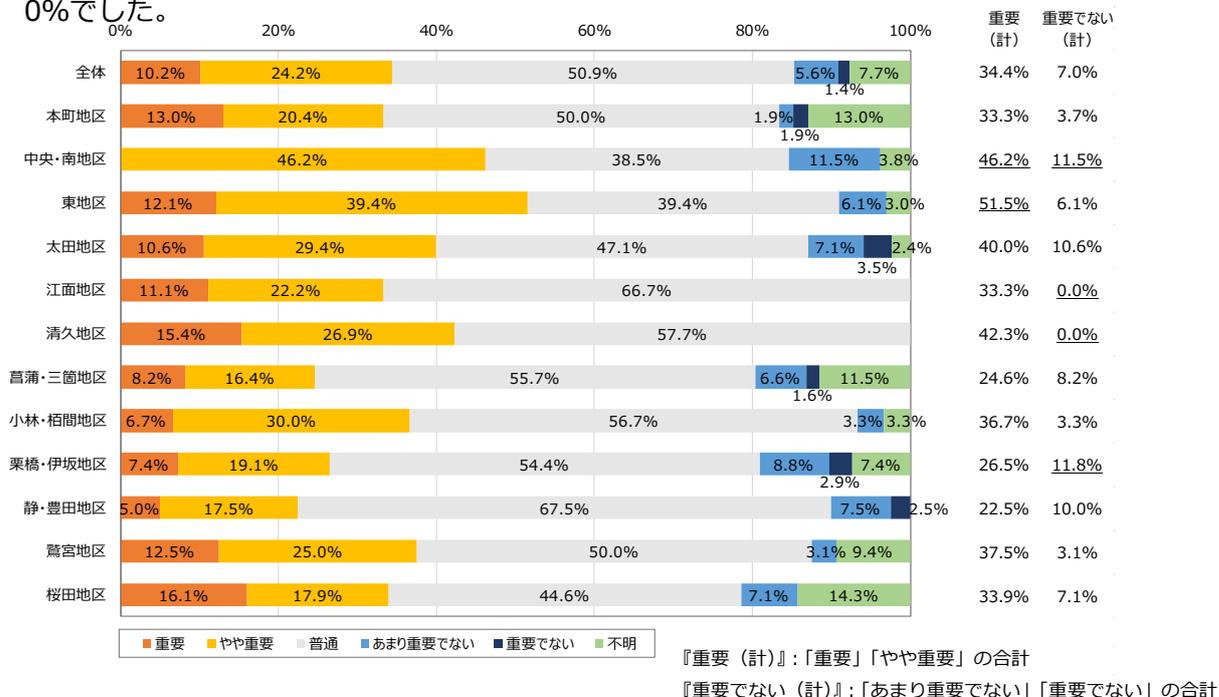
⑱歴史的文化が自然環境と一体となって保全されている（重要度・居住地区別）

『重要（計）』と回答した割合は、**清久地区と東地区**が他と比較して高い傾向が見られます。一方、『重要でない（計）』と回答した割合は、**栗橋・伊坂地区**が他と比較して高い傾向が見られます。**清久地区**は『重要でない（計）』は0%でした。



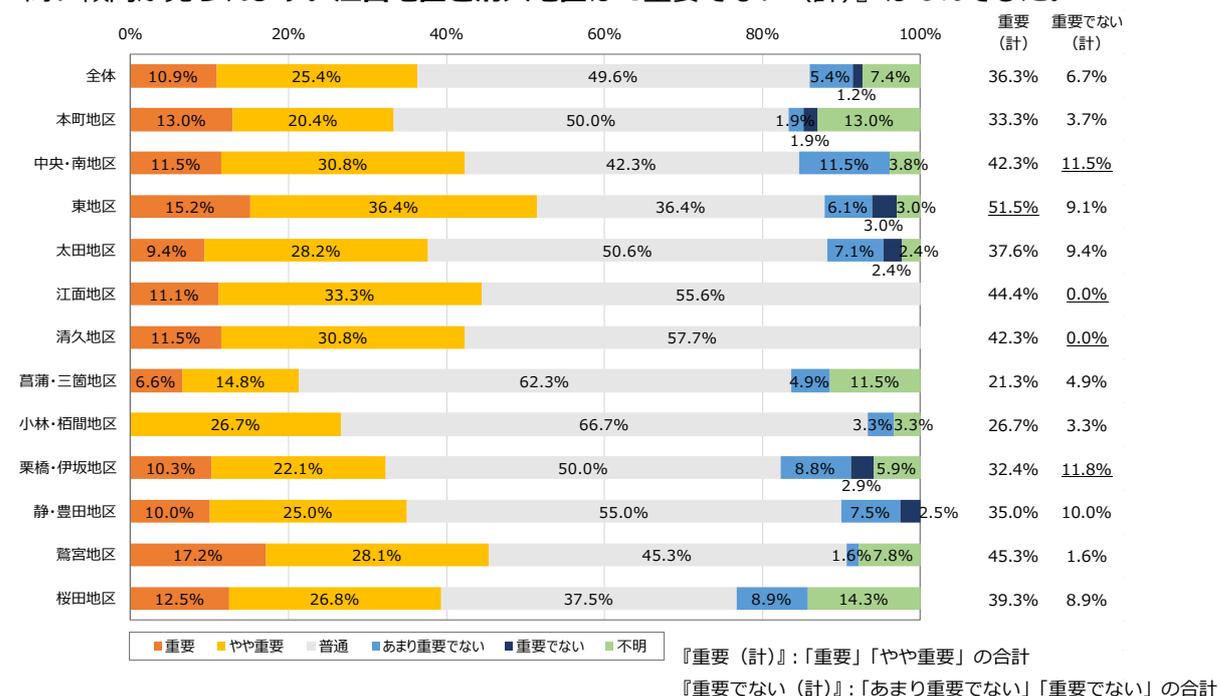
⑩環境学習の機会がある（重要度・居住地区別）

『重要（計）』と回答した割合は、**東地区と中央・南地区**が他と比較して高い傾向が見られます。一方、『重要でない（計）』と回答した割合は、**栗橋・伊坂地区と中央・南地区**が他と比較して高い傾向が見られます。**江面地区と清久地区**は『重要でない（計）』は0%でした。



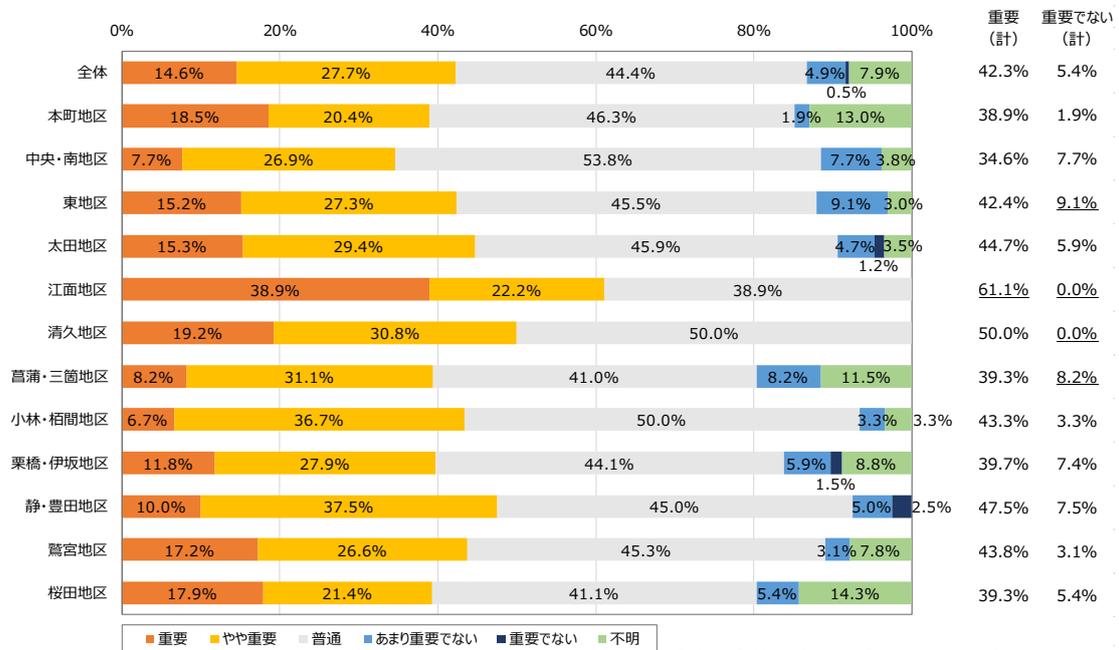
⑪環境保全のための情報が提供され、取り組みやすい（重要度・居住地区別）

『重要（計）』と回答した割合は、**東地区**が他と比較して高い傾向が見られます。一方、『重要でない（計）』と回答した割合は、**栗橋・伊坂地区と中央・南地区**が他と比較して高い傾向が見られます。**江面地区と清久地区**は『重要でない（計）』は0%でした。



②環境に関する市の支援が受けられる（重要度・居住地区別）

『重要（計）』と回答した割合は、**江面地区**が他と比較して高い傾向が見られます。一方、『重要でない（計）』と回答した割合は、**東地区と菖蒲・三箇地区**が他と比較して高い傾向となっています。**江面地区と清久地区**は『重要でない（計）』は0%でした。

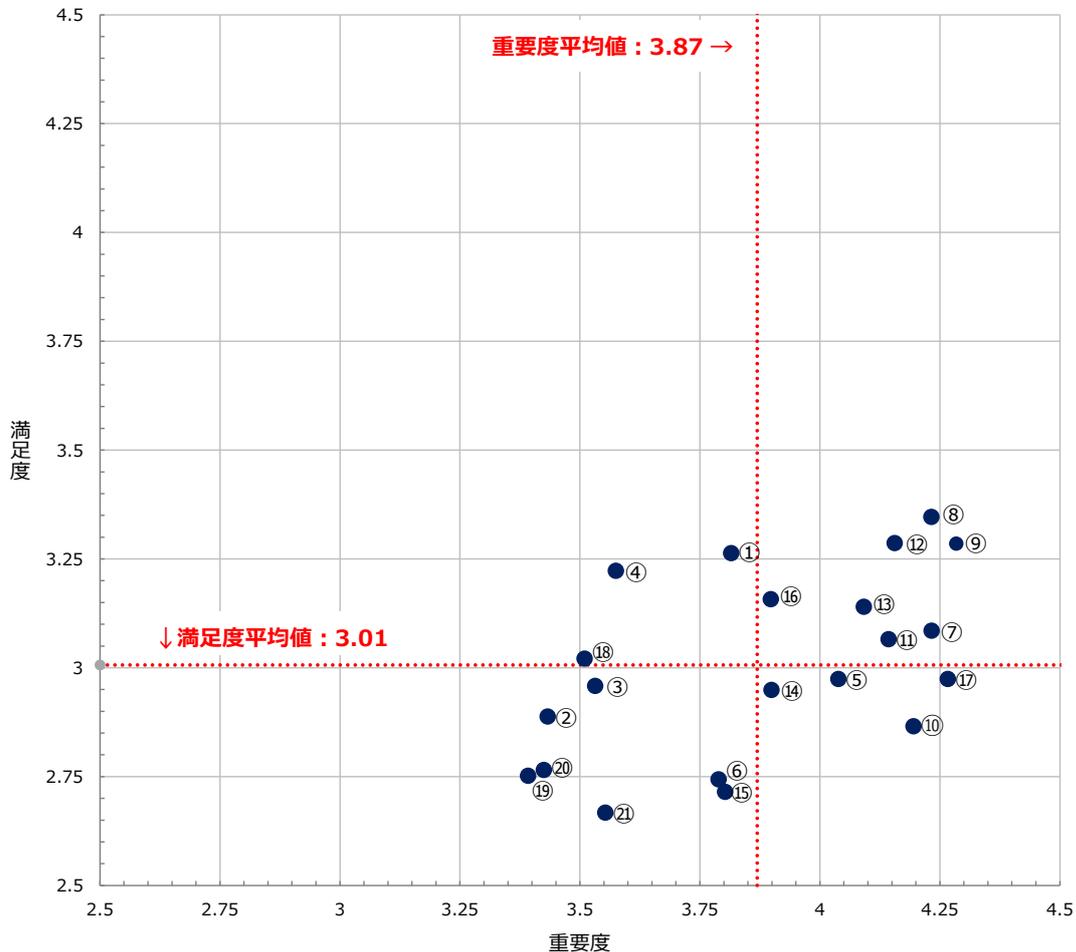


### (3) 久喜市の環境に関する重要度と満足度の関係

重要度と満足度の関係を見ると、重要度・満足度ともに平均より高い項目は7項目あり、特に「⑧きれいな空気が保たれている」、「⑨安心できれいな水が保たれている」、「⑫ごみの減量が進み、適切に収集・処理されている」が高くなっています。

一方、重要度・満足度ともに平均より低い項目は7項目で、特に「⑩環境学習の機会がある」、「⑫環境保全のための情報が提供され、取り組みやすい」、「⑫環境に関する市の支援が受けられる」が低くなっています。

重要度が高いものの満足度が低い項目は、「⑤緑と親しめる公園・緑地が整備されている」、「⑩土壌汚染や地盤沈下が防止されている」、「⑭省エネなど、温室効果ガスが削減できる暮らしができています」、「⑰風水害や土砂災害などの対策がされており、安心して暮らすことができる」の4項目でした。



- |                                    |                               |
|------------------------------------|-------------------------------|
| ①身近に自然に親しめる空間がある                   | ②希少な野生生物の生息・生育空間が守られている       |
| ③河川や水路、湿地と親しめる空間がある                | ④環境に配慮した農業が行われ、豊かな水田・畑がある     |
| ⑤緑と親しめる公園・緑地が整備されている               | ⑥自然景観とまちなみが調和した魅力的な景観がある      |
| ⑦ごみの散乱がなく、まちがきれいである                | ⑧きれいな空気が保たれている                |
| ⑨安心できれいな水が保たれている                   | ⑩土壌汚染や地盤沈下が防止されている            |
| ⑪騒音・振動の少ない静かな生活が守られている             | ⑫ごみの減量が進み、適切に収集・処理されている       |
| ⑬化学物質のリスクが低減され、安心して暮らすことができる       | ⑭省エネなど、温室効果ガスが削減できる暮らしができています |
| ⑮太陽光など再生可能エネルギーが活用された暮らしができています    | ⑯資源が活用され、リサイクルが積極的に行われている     |
| ⑰風水害や土砂災害などの対策がされており、安心して暮らすことができる | ⑱歴史的文化が自然環境と一体となって保全されている     |
| ⑲環境学習の機会がある                        | ⑳環境保全のための情報が提供され、取り組みやすい      |
| ㉑環境に関する市の支援が受けられる                  |                               |

#### (4) 将来に向けて残したい身近な自然や環境

問 8 久喜市内の身近な自然や環境で、将来に向けて残したい場所がある場合は、具体的な地名とその理由をご記入ください。

久喜市内の身近な自然や環境で、将来に向けて残したい場所を聞いたところ、延べ 332 件の回答がありました。

地名	件数	理由 (抜粋)
青毛堀の桜堤	49	・桜と菜の花と水辺の景観がとてもきれいだと思うから(水路の清掃をしてほしい)
葛西用水路(中川)のコスモスふれあいロード	34	・コスモスの花がとても美しいので。 ・両側に咲くコスモスは心がいやされる。
久喜菖蒲公園	26	・水と緑が豊かで、子供と遊ぶのに最適な公園だから。 ・市民の憩いの場と思うから。
鷲宮神社(の森)	25	・関東最古の大社で自然豊かである。 ・自然環境が守られると思うから。
菖蒲総合支所周辺(ラベンダー、桜並木)	16	・ラベンダーのかおりと景観がとてもきれい。 ・ラベンダーが毎年少なくなっているので残して欲しい。
清久の桜通り	14	・春の桜が綺麗だから。 ・地域の交流の場だから。
見沼代用水八間・十六間堰	12	・いきものがいるから。 ・用水路と桜並木の形状が良く史跡の説明がある。
南栗橋の桜並木(静桜、静の墓)	10	・桜並木が綺麗で、春を感じられるから。 ・歴史的に意味があるから
菖蒲城跡あやめ園	8	・周囲の田畑、菖蒲の花の景観が良い。 ・旧菖蒲町の花として残してほしい。
水田・畑、田園(南栗橋、小林地区、梨畑、古久喜・鷲宮など)	7	・のどかな田んぼの景色を残したい。 ・環境に配慮した農業のモデルケースができるので。
しらさぎ公園の桜、ラベンダー畑	6	・子供が安全に自然と触れ合いながら遊べる場所だから ・きれいで見ているといやされる
利根川土手、堤防	5	・景色、体力作り、交流としてとても良い場所だから。 ・スーパー堤防ができて景色が綺麗
水と緑のふれあいロード	3	・車を気にせず自転車や徒歩で散策できるから。
上栢間地区 赤堀土手の桜	2	・歴史があり、景観がすばらしい
栢間地区路傍の古墳、石仏類	2	・庚申塔や馬頭観音など歴史が刻まれている。
鷲宮総合支所の桜や芝生、川	2	・安全な散歩コース、きれいなので。
市内すべて	2	・大木(樹齢の高い)の保全。
久喜清久工業団地内桜並木	2	・桜のトンネルが 2~2.5km 続きみごと。
<b>各 1 件</b>		
甘党院の森、マミーマートそばの雑木林、栢間小学校、市役所前のいちょう、理科大跡地、備前掘川、古利根川水循環センター周辺、久喜中央の剣友会剣道場、会館イリスの桜、鎌倉街道跡、市立図書館前のキンモクセイ、中落堀川の桜、久喜駅近くの愛宕神社、小塚内池湿地帯、栗橋の関所跡、久喜東小の桜・校庭、久喜駅のロータリーの花、温泉		

地名		件数	理由（抜粋）
公園	計	53	
	公園	5	・田んぼなどが住宅に変わり増えてきた住民のための遊び場、ゆっくりできる場が必要であると思うから。
	沼井公園	10	・きれいな水と緑、豊かな公園。
	弥代公園	7	・水鳥などが暮らせる環境があるから
	吉羽公園	6	・桜の景色がきれいで子供がのびのび遊べるため。
	香取公園	5	・野鳥の生育場所となっている。
	権現堂公園	3	・いろいろな草花が楽しめ、市民の憩いの場になっているため。
	久喜市総合運動公園	3	・造られすぎておらず、四季それぞれの自然を感じられる。
	菖蒲運動公園	2	・身近で散歩に適しているから。
	エンゼル公園	2	・昔から遊んできた場所だから。思い出の公園。
	じゃぶじゃぶ公園	2	・周辺が開発されていく中憩いの場は残してほしい。
	葛梅公園	2	・広い野原と色々な木々があり子供の声もするから。
	<b>各 1 件</b>		
森下公園、菖蒲町内の公園、南栗橋近隣公園、南栗橋スポーツ公園、運動公園、宮代公園			
寺社仏閣	計	14	
	各地域の氏神社、寺社仏閣	3	・お祭りやお参りに何うと環境が保たれていることは重要と感じる。
	神明神社（の森）	3	・歴史があり、無二の存在。
	八坂神社	2	・開発・整備に伴い、境内の大木が移転のために切り倒されてしまった。樹木や景観の保護に税金が使えないのか。
	<b>各 1 件</b>		
五柱神社、吉羽天神、栗原の諏訪神社、菖蒲神社、常楽寺			
並木	計	6	
	<b>各 1 件</b>		
けやき通り、いちよう通り、かつら通りの並木、柴山枝郷の桜並木、並木、桜並木			
その他意見	4	歩道、病院など	
なし・わからない	8	—	

## 2-3 気候変動問題について

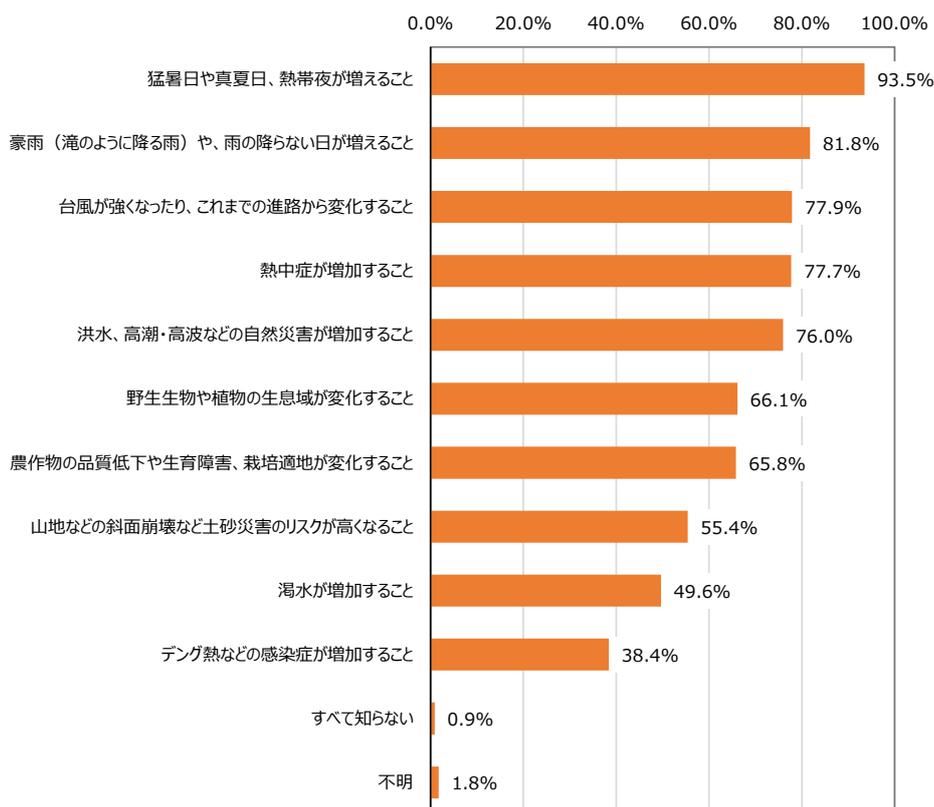
### (1) 気候変動の影響の認知度

問9 すでに日本でも地球温暖化による気候変動が観測されており、将来にわたって様々な影響を与えることが予測されています。あなたは、将来起こりうる気候変動の影響について知っていますか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

気候変動の影響を聞いたところ、「猛暑日や真夏日、熱帯夜が増えること（93.5%）」の認知度が特に高く、「豪雨（滝のように降る雨）や、雨の降らない日が増えること（81.8%）」、「台風が強くなったり、これまでの進路から変化すること（77.9%）」、「熱中症が増加すること（77.7%）」と続いています。

最も認知度が低かったのは「デング熱などの感染症が増加すること（38.4%）」でした。

「すべて知らない」と回答したのは0.9%であり、「不明」回答も踏まえると、ほとんどの人が気候変動の影響について、何らか認知している結果となりました。



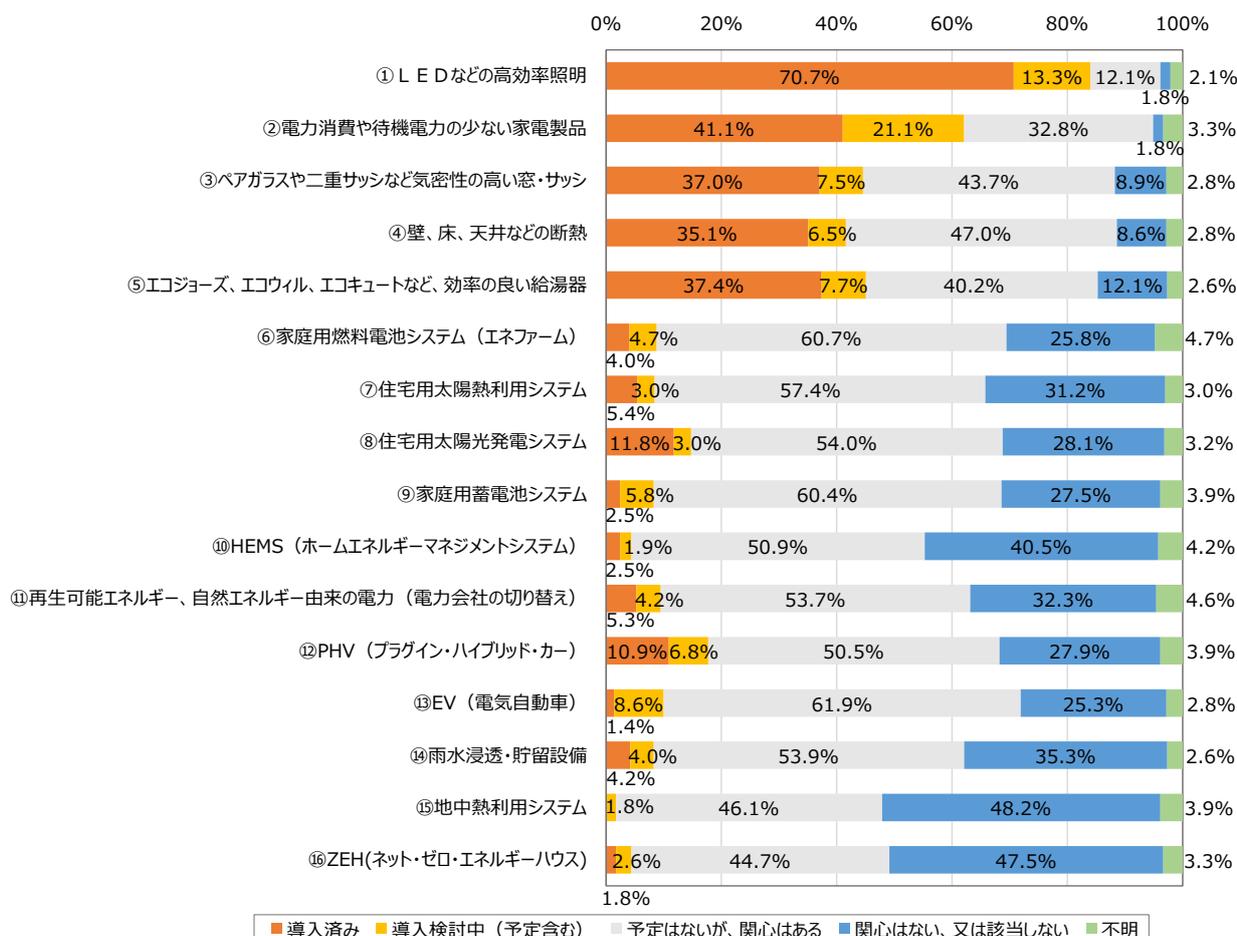
## (2) 地球温暖化対策設備機器の導入状況

問 10 地球温暖化対策につながる次の項目について、導入しているものはありますか。それぞれの項目について、あてはまる番号 1~4 の中から 1 つだけ○で囲んでください。

地球温暖化防止につながる機器や設備などの導入状況を聞いたところ、『導入済み』は「①LED などの高効率照明 (70.7%)」が最も高く、「②電力消費や待機電力の少ない家電製品 (41.1%)」、「⑤エコジョーズ、エコウィル、エコキュートなど、効率の良い給湯器 (37.4%)」、「③ペアガラスや二重サッシなど気密性の高い窓・サッシ (37.0%)」、「④壁、床、天井などの断熱 (35.1%)」と続いています。『導入検討中 (予定含む)』の回答率も比較的高い傾向にあり、住居形態に関係なく導入できるものの導入率が高い結果となりました。

また、『予定はないが、関心はある』については、「⑬EV (電気自動車) (61.9%)」、「⑥家庭用燃料電池システム (エネファーム) (60.7%)」、「⑨家庭用蓄電池システム (60.4%)」が、回答率が高く 6 割以上の回答となっています。

すべての項目において、約 5 割以上が少なくとも関心は持っている傾向がみられました。



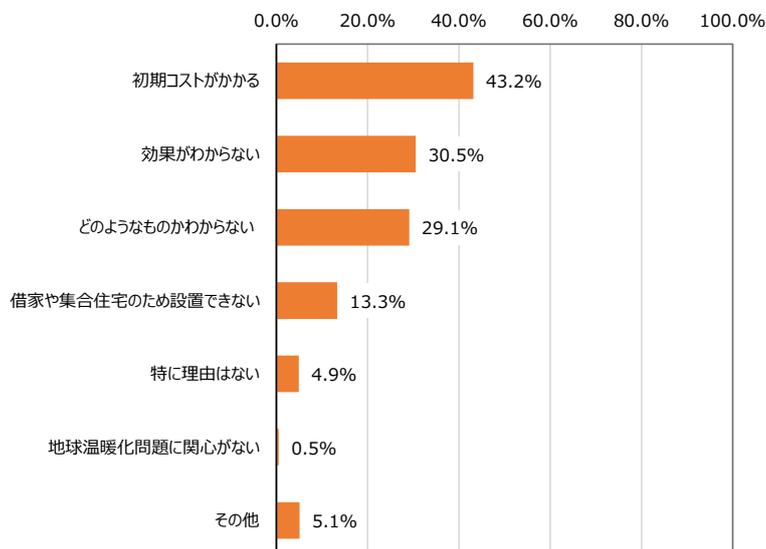
### (3) 地球温暖化対策設備機器を導入しない理由

問 11 問 10 で「関心はない、又は該当しない」と回答した方にご質問します。理由としてあてはまる番号すべてを○で囲んでください。

地球温暖化対策設備機器を導入しない理由を聞いたところ、「初期コストがかかる (43.2%)」が最も多く、次いで、「効果がわからない (30.5%)」、「どのようなものかわからない (29.1%)」となっています。

また、その他の回答から、維持費がかかる、年令を考えると難しい、太陽光発電システムの破損への不安、電気自動車の充電への不安なども理由として挙げられていました。

「地球温暖化問題に関心がない (0.5%)」の回答率が低いことから、地球温暖化対策に取り組む必要性は認知されている一方、導入の妨げとなっている維持費やランニングコストを含めた費用面をはじめとした課題解決が、導入率向上のために必要と考えられます。また、設置や充電設備など不安に対応する適切な情報提供が求められています。



#### ◆その他回答

- 必要としない。
- そもそも地球温暖化していない。温暖化自体が化学的に証明されていない。
- 太陽光発電システムなどは、台風でこわれたら以後使えない。
- 金銭的な余裕がない。初期コストを回収できない・損をする。維持費がかかる。
- 関心はあるが費用がかかり年令を考えるとむずかしい。
- 地質に適合しない。
- 太陽光パネル設置のための屋根強度や破損への不安。
- 火災時対応が難しい。
- 既存の設備が耐用年数に達していないため。
- すべて EV になったら、どうやって充電用電力をまかなうのか？
- 電気自動車は近場ならいいけど、遠出の場合は充電が心配。
- 騒音の問題。必要な湯量が少なくコスト対効果に疑問。 など

## 2-4 環境に関する取組について

### (1) 普段取り組んでいる環境活動

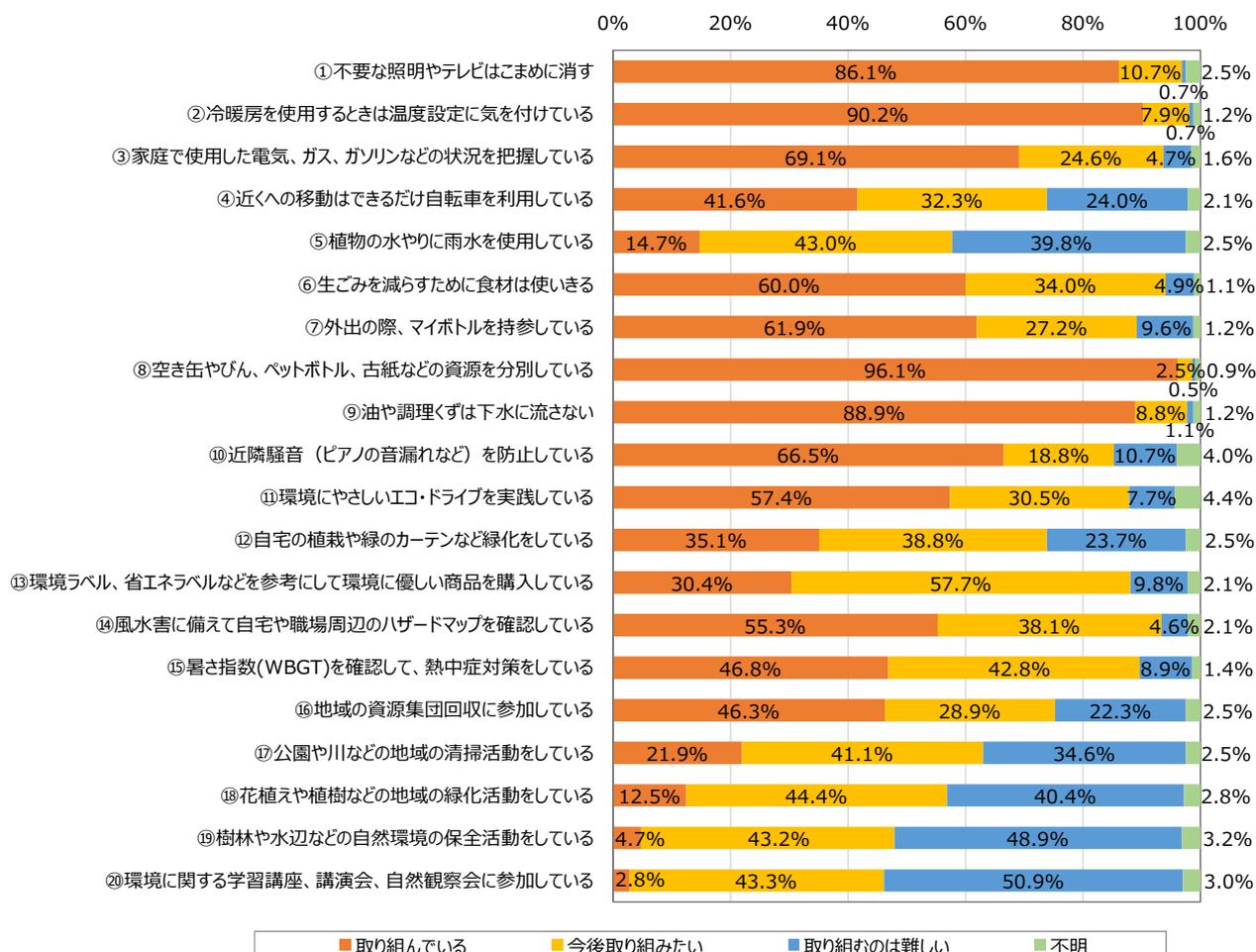
問 12 環境に関して、普段あなたが取り組んでいることを教えてください。それぞれの項目について、あてはまる番号 1～3 の中から 1 つだけ○で囲んでください。

普段取り組んでいる環境活動について聞いたところ、「⑧空き缶やびん、ペットボトル、古紙などの資源を分別している（96.1%）」で最も高く、次いで、「②冷暖房を使用するときは温度設定に気を付けている（90.2%）」が 9 割以上の実施率となりました。「⑨油や調理くずは下水に流さない（88.9%）」、「①不要な照明やテレビはこまめに消す（86.1%）」は 8 割以上の人が取り組んでいます。

地域の活動への参加については、「⑯地域の資源集団回収に参加している（46.3%）」で最も高く、5 割近くが取り組んでいる結果となっています。

実施率が低いのは、「⑳環境に関する学習講座、講演会、自然観察会に参加している」と「⑲樹林や水辺などの自然環境の保全活動をしている」で 5%未滿となっており、『取り組むのは難しい』の回答も約 5 割となっています。

その他の回答として、「道に捨てられているペットボトルの回収」や「生分解性の日用品の利用」、「生ごみを肥料として利用」などがあげられていました。

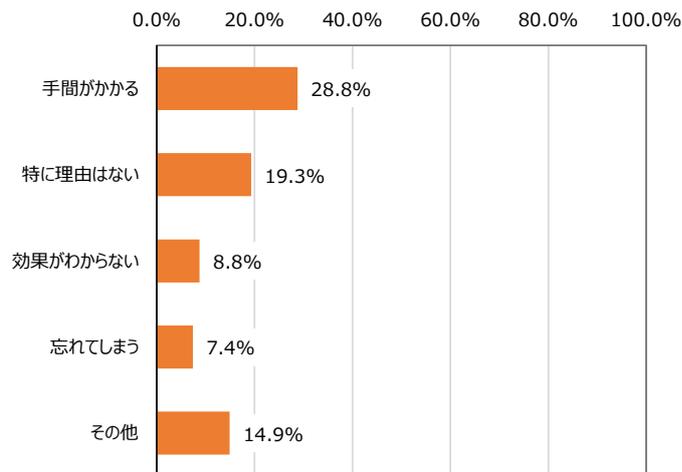


## (2) 環境活動に取り組まない理由

問 13 問 12 で 1 つ以上「取り組むのは難しい」と回答した方にご質問します。取り組むのは難しい理由としてあてはまる番号すべてを○で囲んでください。

環境活動に取り組まない理由を聞いたところ、「手間がかかる（28.8%）」が最も多く、次いで、「特に理由はない（19.3%）」となっています。

その他の回答では、時間がない、仕事がある、体力に自信がない、地域活動への参加機会がないなどが理由として挙げられています。



### ◆その他回答

- 時間を作ることが難しい。仕事があるから。お金と時間が無い。休日は有効活用したい。
  - 病気のため体が思うように動かない。体力に自信がない。
  - 高齢のため。
  - 自転車での道路走行は恐怖感がある。
  - マンションで自治会に参加していない。
  - 近所付き合いがない。
  - 地域でやってるのか知らない。参加機会がない。
  - 子供が小さく活動しにくい。
  - 夏前に雨水を貯めるとボウフラがわく。
- など

## 2-5 市の環境施策について

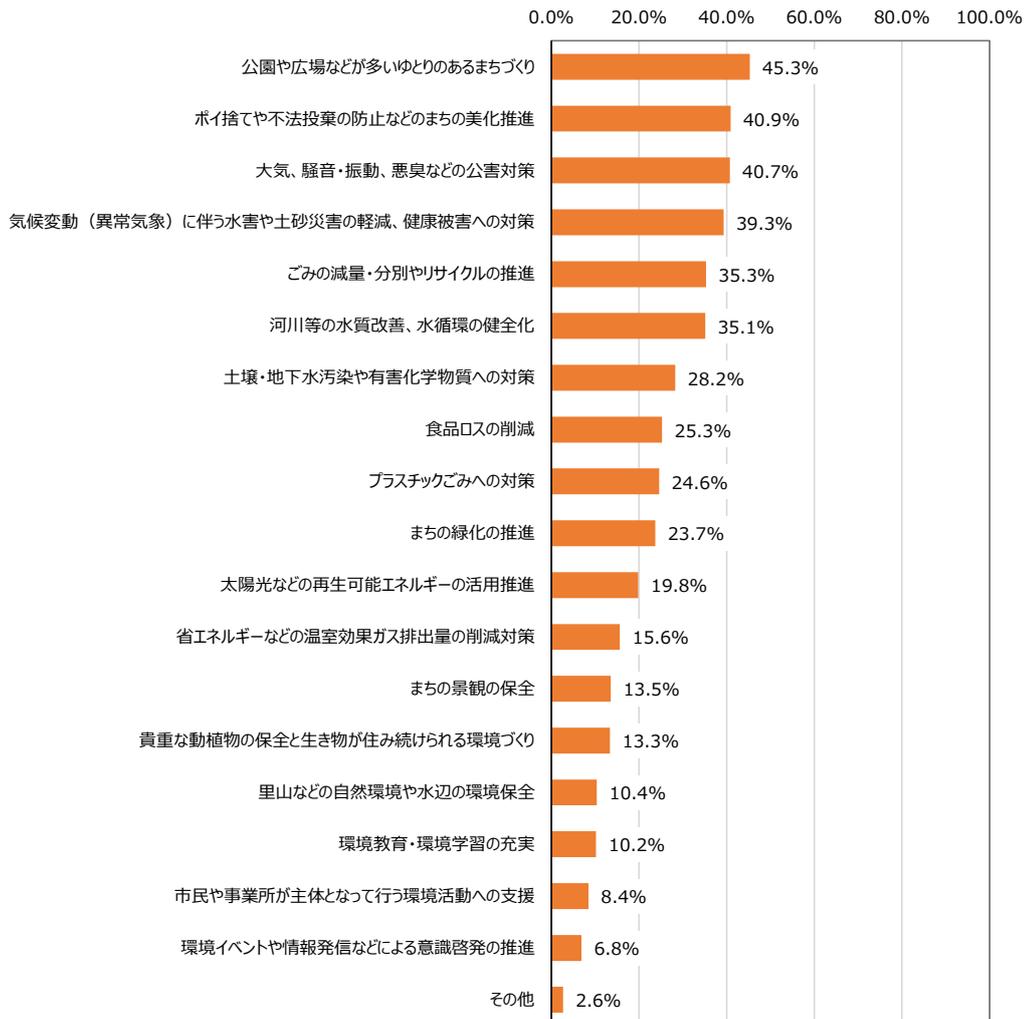
### (1) 市が重点的に取り組むべき環境施策

問 14 久喜市の環境をより良くするために、市が重点的に取り組むべき環境への取組は、どれだと思えますか。あてはまる番号を5つまで○で囲んでください。

市が重点的に取り組むべき環境施策を聞いたところ、「公園や広場などが多いゆとりのあるまちづくり(45.3%)」、「ポイ捨てや不法投棄の防止などのまちの美化推進(40.9%)」、「大気、騒音・振動、悪臭などの公害対策(40.7%)」、「気候変動(異常気象)に伴う水害や土砂災害の軽減、健康被害への対策(39.3%)」が多くなっており、生活環境の快適さや安全・安心に関する項目が重視されていることが伺えます。

環境に関する重要度の結果と同様、生物多様性や自然環境の保全、環境教育・環境学習や環境活動に関する項目の回答率が低くなっており、これらに分野の施策の目的や効果などの情報発信がさらに必要と考えられます。

その他として、受動喫煙対策、剪定枝の回収、街灯が少ない、路面電車、無電柱化、耕作放棄地対策、野焼き対策などがあげられました。



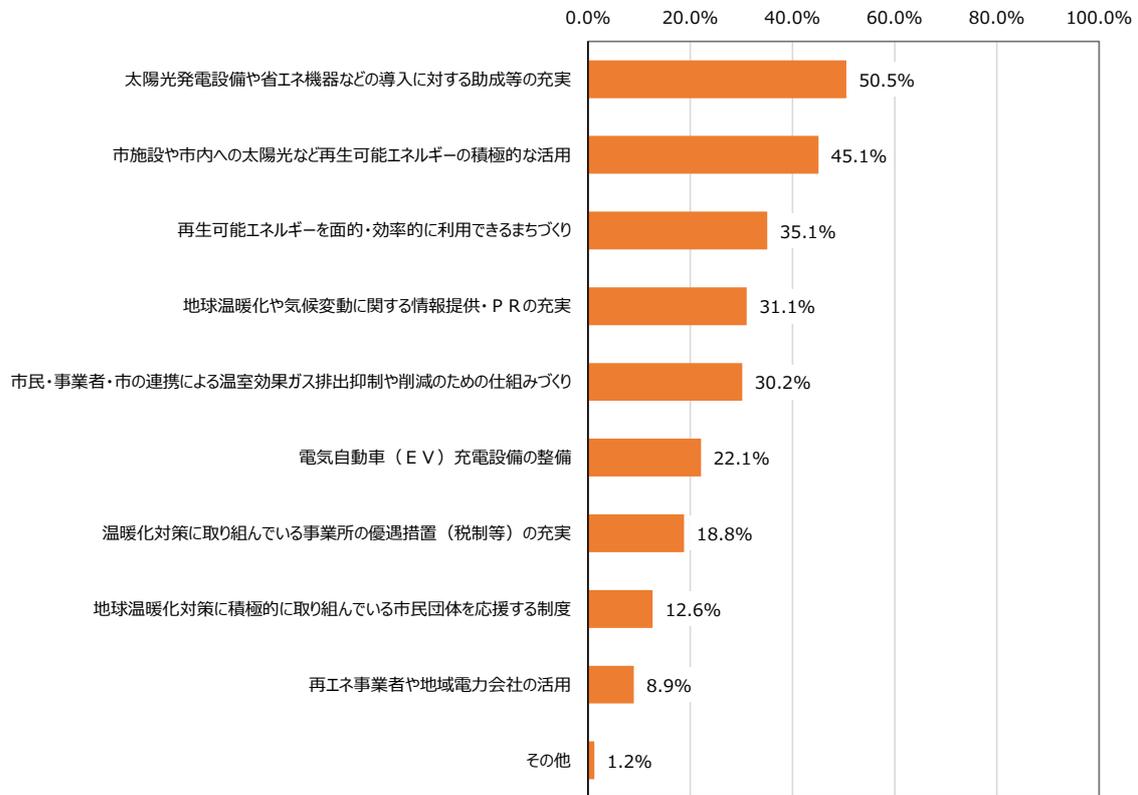
## (2) 市が積極的に進めるべき地球温暖化対策

問 15 地球温暖化対策について、市が積極的に進めるべきだと思う取組は、どれだと思いますか。あてはまる番号を3つまで○で囲んでください。

市が積極的に進めるべき地球温暖化対策を聞いたところ、「太陽光発電設備や省エネ機器などの導入に対する助成等の充実（50.5%）」が最も多く、次いで、「市施設や市内への太陽光など再生可能エネルギーの積極的な活用（45.1%）」、「再生可能エネルギーを面的・効率的に利用できるまちづくり（35.1%）」となっています。

地球温暖化対策においては、設備機器等やまちづくりなどにおける再生可能エネルギーの活用に期待が寄せられていることが伺えます。

その他として、太陽光発電設置時の環境配慮などがあげられました。



### (3) 市の環境情報の入手方法

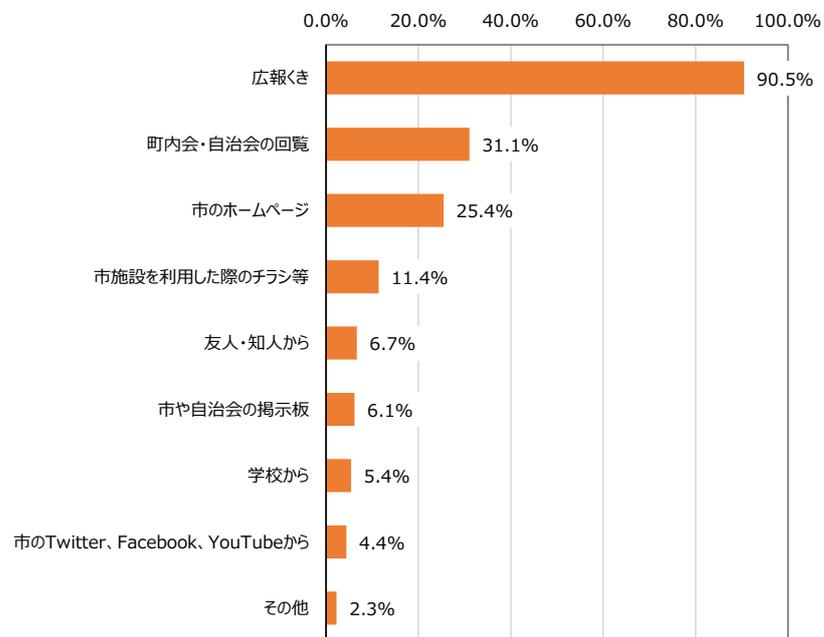
問 16 市が進めている環境に関する取組などの情報を入手するきっかけは何でしたか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

問 17 上記以外で入手しやすい方法がありますか。ご自由にご記入ください。

市の環境情報の入手方法を聞いたところ、「広報くき（90.5%）」が最も多い結果となりました。次いで、「町内会・自治会の回覧（31.1%）」、「市のホームページ（25.4%）」となっています。

その他の入手方法として、議員の活動報告や新聞等のメディアなどが挙げられています。

このほか、入手しやすい方法を聞いたところ、新聞やテレビ等のメディアや、駅や商業施設への掲示やアナウンス、メールマガジンや LINE、Insagram などの SNS、講演会、久喜の環境の概要版の配布などが挙げられました。



#### ◆ その他の入手方法

- 環境についての市民アンケート調査（このアンケート調査）。
- 議員の Twitter、手配チラシ等活動報告。
- 新聞の地域面等メディア。
- 市の高齢者大学から。
- 仕事から。
- 親から。
- あまり情報にふれていない。
- 1～8の選択肢に環境に関する情報がほとんど無いことが問題。

など

◆その他入手しやすい方法

- テレビ埼玉のデータ放送。
- 新聞やテレビ。マスコミからの情報。各新聞の県内版への掲載。
- 駅や商業施設の掲示板など。多くの方々の目に留まる、手に取る機会が増えると思います。
- 多くの人を利用するところ（駅など）の近くに掲示板を置く。スーパーに置く。
- 不特定多数の目に触れる場所（スーパーやショッピングモール等）でのアナウンス。無意識のうちにすりこまれる方法。例えばショッピングモール内のトイレなどにポスター等で知らせて欲しい。（身近なところで）
- ホームページを活用できない人もいます。やはり紙媒体がよい。広報くきに持集ページ等で閲覧できれば。
- 学校経由での情報提供。
- Instagram（インスタグラム）。SNS。
- 市の公式LINE。アプリ。
- メーリングリスト
- ネットニュース。
- 久喜宮代清掃センター発行の「衛生たより」。
- HP 上に公開している「久喜の環境」の概要を一般向けにつくり直し配布しては、2-4 ページ位で、広報くきにはさみこむ等。
- 講演会の開催。
- 議員の街頭演説と会報。市議会議員の個人活動チラシ。
- コンビニ店舗でも広報・クッキー等の配布を均一に（全く無い店も有ります） など

## 2-6 自由意見

最後に、環境に関わる意見等を自由記述形式で求めたところ、56人（9.8%）の方からの記入がありました。以下は、記入内容を分類し表にまとめたものです。一人で複数の意見を記入している場合は、それぞれ1件として数えているため、延べ件数は65件となりました。

分類	件数
<b>生活環境</b>	<b>(計) 23</b>
公害防止（騒音・振動）	3
美化、マナー	8
野焼き対策	6
耕作放棄地対策（不法投棄）	2
まちづくり	4
<b>自然・生物多様性</b>	<b>(計) 15</b>
みどり・公園	9
田園風景、自然環境保全	5
外来生物対策	1
<b>循環型社会</b>	<b>(計) 2</b>
ごみの分別、収集	1
プラスチック資源循環	1
<b>気候変動対策</b>	<b>(計) 10</b>
再生可能エネルギー	7
地域電力	1
気候変動への適応	2
<b>環境活動</b>	<b>(計) 10</b>
環境教育	2
住民参加、協働	1
情報発信	7
<b>環境基本計画、環境審議会</b>	<b>(計) 2</b>
<b>その他</b>	<b>(計) 3</b>
公共行政	1
その他	2

## ◆主な意見（要約）

### ●生活環境について

- 圏央道、県道の渋滞、騒音、振動に悩まされている。
- ぼい捨てごみが目立つので、まちのごみ拾い活動のボランティアを市で募集する。
- 路上への吸い殻のポイ捨て対策、受動喫煙対策の強化。
- ペットのマナー対策（ふん尿など）。
- 農業以外での野焼き対策。違法ではないものの、秋口の稲わらなどの野焼きによる煙・においについて気になるときがある。
- 菖蒲地区の耕作放棄地や不法ごみを何とかしてほしい。
- 電信柱をなくしてほしい。

### ●自然・生物多様性について

- 自然と親しむ環境や地域でゆっくり過ごせる自然環境が他の市町村に比べ少ない。
- 昔は久喜市にも森や林があり春にはカッコウが鳴き、夏にはヒグラシの声が普通に聞いた。今は全く聞かないどころか緑の木々が少なく、非常に残念。
- 毎日歩きたいと思うようなまちづくり。川辺のウォーキングコースや水辺公園など。歩くことで健康が維持され医療費の削減に、車に乗ることが減り二酸化炭素の排出が減少する。
- 散歩したり心を癒したりできる緑地や公園などが、地域の人々の健康や災害対策にもなる。
- 道路や公園の雑草や剪定を今より短い周期で行ってほしい。一部の公園は木影が少なく夏場の休憩場所がないので改善してほしい。
- 田園都市「久喜」として農地は貴重な保全すべき自然空間。各種開発計画に対して農地転用の厳格化をお願いしたい。
- ハクビシンやアライグマに畑を荒らされて困っている。

### ●循環型社会について

- 令和9年度にできる新しいごみ処理施設。今まで分別していたプラスチックも一緒に燃やして熱エネルギーに変えることになるが、全世界的にプラスチックの削減、リサイクルの強化が行われており、その動きに反している。リサイクルをするよりも燃やして熱にする方がメリットがあるのか。
- このごみをリサイクルすると〇〇に変えられるというように、目に見えてわかるように広報してほしい。その方が分別しようなどという気持ちが高くなる気がする。

### ●気候変動対策について

- 田、畑の休耕地の管理がされていないため、休耕地を利用した太陽光発電など、電力会社や太陽光設備企業と協力して市が中心となり取組む事を望んでいる。
- 電力自由化になったため、市でも電力を販売できたらと思う。
- 災害時の自宅待機に備えて、小型蓄電池と折りたたみ式太陽光パネル等があるとよい。
- 住宅用太陽光発電は寿命も短く廃棄方法もわからない。大量のごみが出てしまう様に思う。
- 温室効果ガス排出削減あるいは再生可能エネルギー利用推進のためであっても、まちの中の空き地に太陽光発電設備を設置するようなことは、景観を損なうのでやめてほしい。
- 住宅地については、住宅の屋根の上以外のところに太陽光発電設備の新規設置ができないよう、条例で規制してほしい。
- 今後新築建設地すべてに面積割合に対して、緑地と発電設備（太陽光等）を設置する様に義務化し、ある程度の助成金をだすべき。

**●環境活動について**

- 今後環境に大きく影響を受ける小、中学生にこそわかりやすく情報を発信する。この世代へのアンケートや柔軟なアイデアを収集する。
- 環境問題を身近な問題として認識できる教育、啓蒙活動を小さな子供・小学校にして欲しい。
- あまり久喜市の環境について知ったり考えたりすることがなかったが、もっと興味関心をもって生活していくことも大切だと思った。20代がもっと知ったり、興味をもてるきっかけがあるといいと思う。
- 行政と市民が一体となり、取り組むのが重要かと思う。地域住民が共にまちづくりを出来ることが理想。
- ふるさと納税で環境問題に取り組んでいるアピールをする。
- 市民一人ひとりが日々の暮らしに丁寧に向き合う啓発活動を推進してほしい。
- 環境にいい活動をするこのようになると言うよう事が解ればひとりひとりができる事もあるのではないかと思う。
- 環境のみを考えて実行することは難しいと思う。環境にかけるより防災・生活向上にコストをかけることで付加価値として環境がよくなるというイメージ。
- 他の市町村での活発な活動の紹介。
- 久喜市が環境に積極的に取り組み、成果を出すことが出来れば市のPRにもなると考える。

**●環境基本計画、環境審議会について**

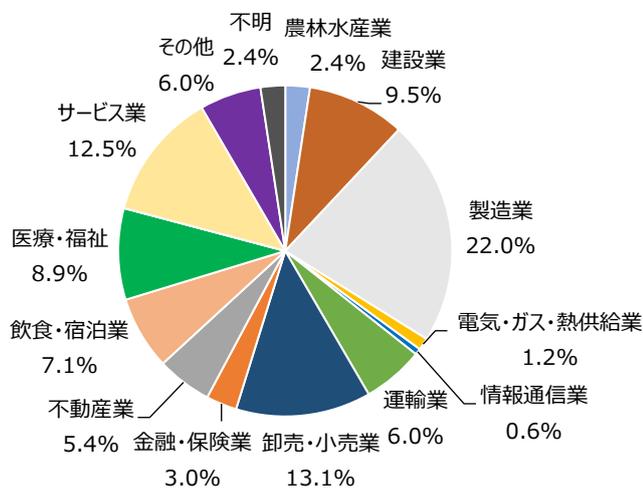
- 久喜市環境基本計画の実績と結果を示してほしい。
- 久喜市環境審議会について。環境問題は多岐にわたり、温暖化対策なら温暖化対策の、公害なら公害の専門家を委員にすべきと考える。

など

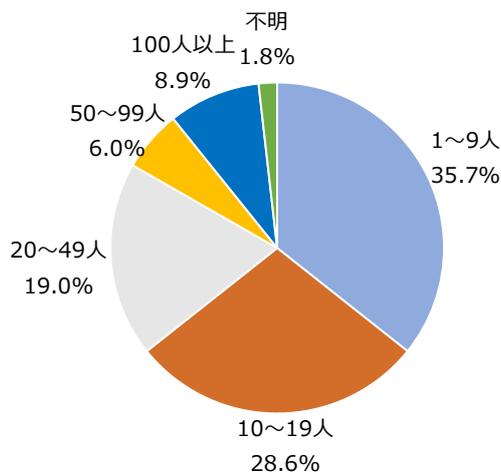
### 3 事業者アンケート調査の結果

#### 3-1 事業所の属性について

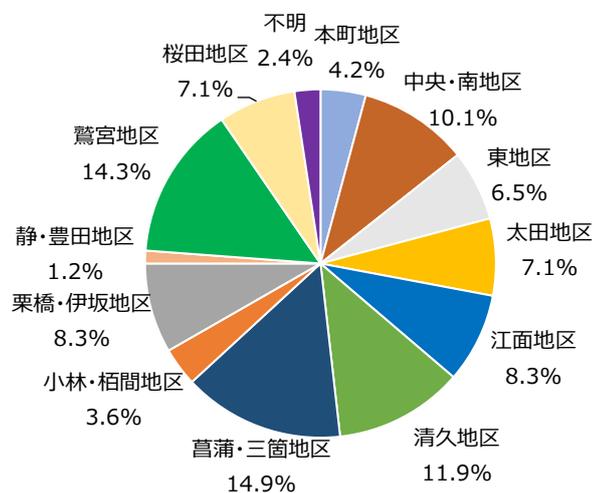
##### (1) 業種



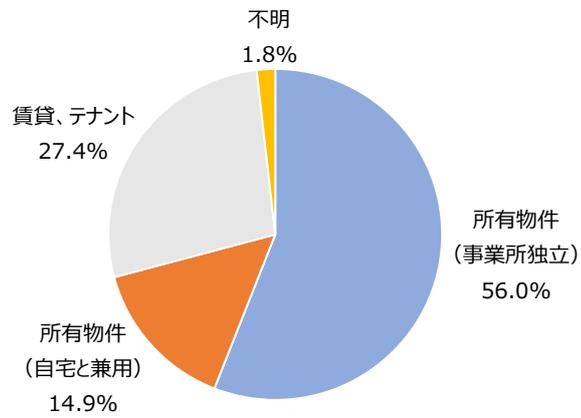
##### (2) 従業員規模



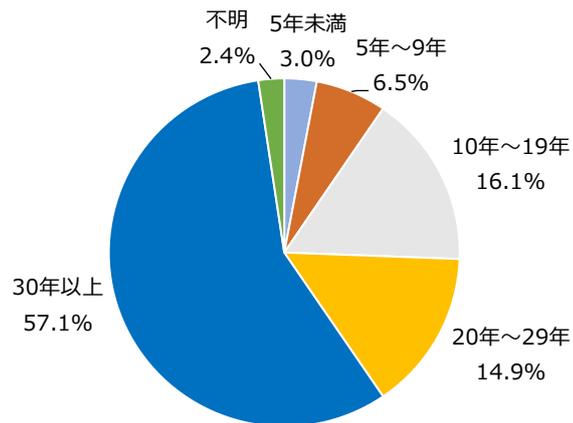
##### (3) 所在地



#### (4) 建物の形態



#### (5) 久喜市での事業年数



## 3-2 事業所の環境活動について

### (1) 事業所で取り組んでいる環境活動

- 問6-1 貴事業所では、どのような環境活動に取り組んでいますか。それぞれの項目について、当てはまる番号1~4の中から1つだけ○で囲んでください。
- 問6-2 このほか、貴事業所が取り組まれている環境活動がありましたら、ご記入ください。

事業所の環境活動について聞いたところ、実施率が高かったのは「⑨電気やガス使用量の削減など省エネルギーの実践（60.1%）」で、『取組を検討中』と合わせて7割以上の回答となっています。次いで、「⑭廃棄物の減量化や有効利用、再利用（47.6%）」、「⑮使用済み製品や容器等の回収（45.8%）」、で4割以上の事業者で取り組まれています。

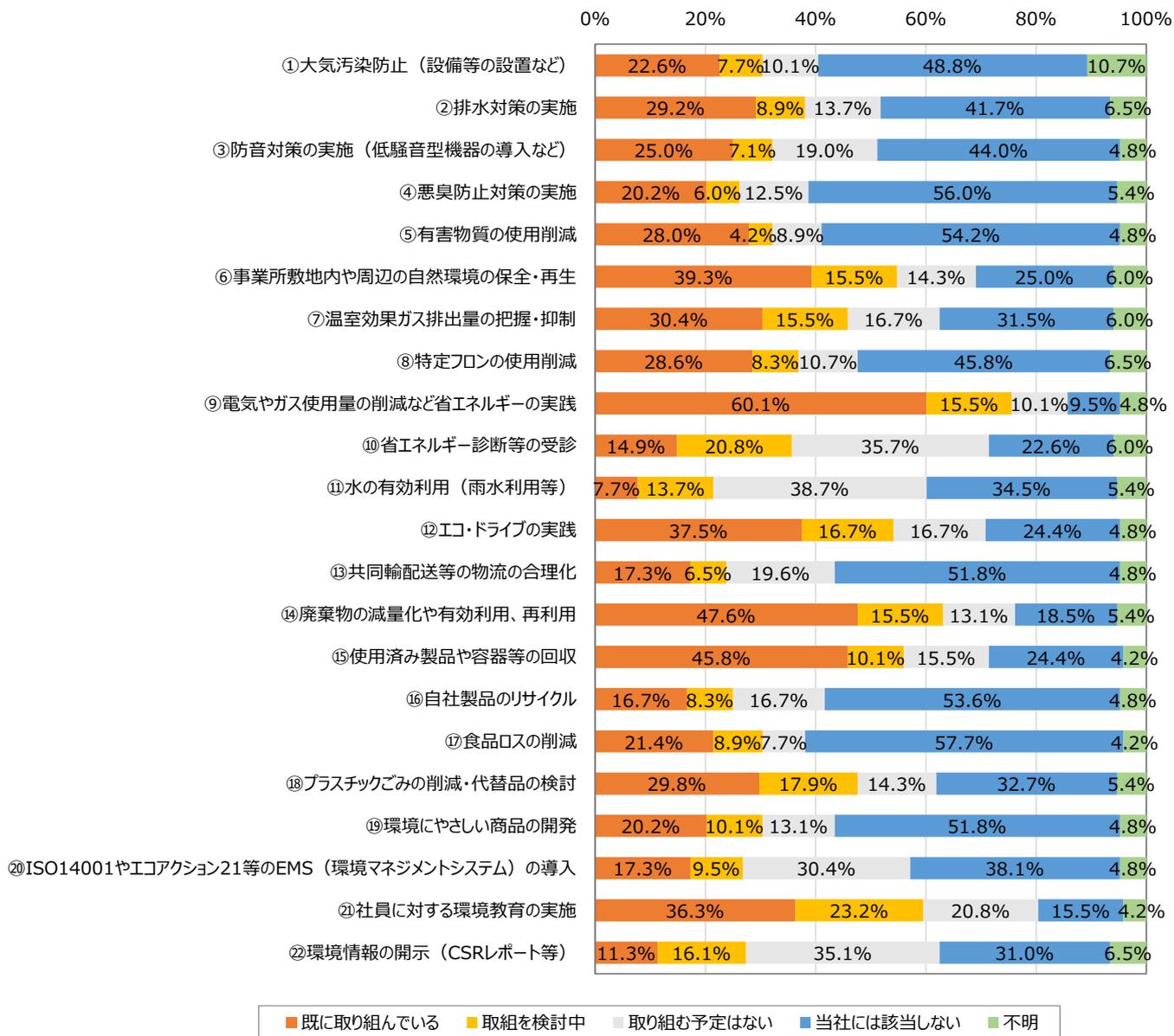
『既に取り組んでいる』と『取組を検討中』を併せて回答率が高かったのは、上記のほか、「⑳社員に対する環境教育の実施」、「㉑エコ・ドライブの実践」、「㉒事業所敷地内や周辺の自然環境の保全・再生」で5割以上の回答となっています。

一方、『取り組む予定はない』の回答率が高かったのは、「㉓水の有効利用（雨水利用等）（38.7%）」、「㉔省エネルギー診断等の受診（35.7%）」、「㉕環境情報の開示（CSRレポート等）（35.1%）」となっています。

「㉖温室効果ガス排出量の把握・抑制」、「㉗省エネルギー診断等の受診」、「㉘ISO14001やエコアクション21等のEMS（環境マネジメントシステム）の導入」、「㉙環境情報の開示（CSRレポート等）」など、事業所の規模や業種、施設・設備の有無に関係なく取り組める項目について、『当社には該当しない』の回答が多くあることから、取り組み方の周知のほか、取り組むことの意義や効果の実感が得られるしくみづくりが必要と考えられます。

#### ◆その他の環境活動

- 1.ロードサポート（ボランティア活動）2.河川サポート（ボランティア活動）。
- リサイクル部品等を使用の推奨。
- 親会社の環境活動への参加。
- 納品時のビニール袋を布製のエコバッグに変更。 など



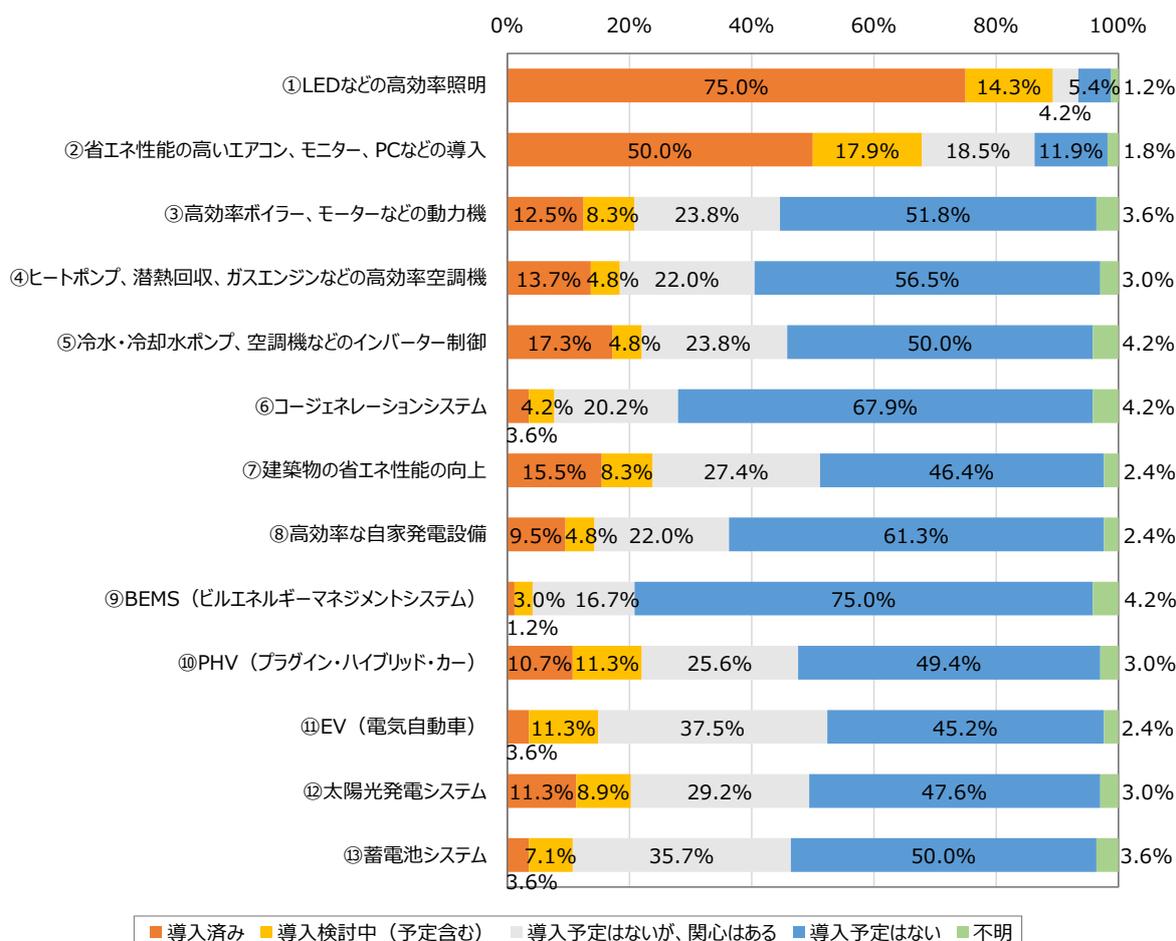
## (2) 地球温暖化対策設備機器の導入状況

問7 地球温暖化防止につながる機器や設備を導入していますか。それぞれの項目について、当てはまる番号1～4の中から1つだけ○で囲んでください。

地球温暖化対策設備機器の導入状況について聞いたところ、『導入済み』と回答した割合は、「①LEDなどの高効率照明（75.0%）」が最も高く、次いで「②省エネ性能の高いエアコン、モニター、PCなどの導入（50.0%）」となっています。

また、『導入検討中（予定含む）』については、上記2項目に次いで、「⑩PHV（プラグイン・ハイブリッド・カー）（11.3%）」、「⑪EV（電気自動車）（11.3%）」が多い結果となりました。

『導入予定はないが、関心はある』については、「⑪EV（電気自動車）（37.5%）」、「⑬蓄電池システム（35.7%）」、「⑫太陽光発電システム（29.2%）」、「⑦建築物の省エネ性能の向上（27.4%）」で回答率が高く、これらの設備機器に関する関心の高さに加え、今後の普及への期待が高いことが伺えます。



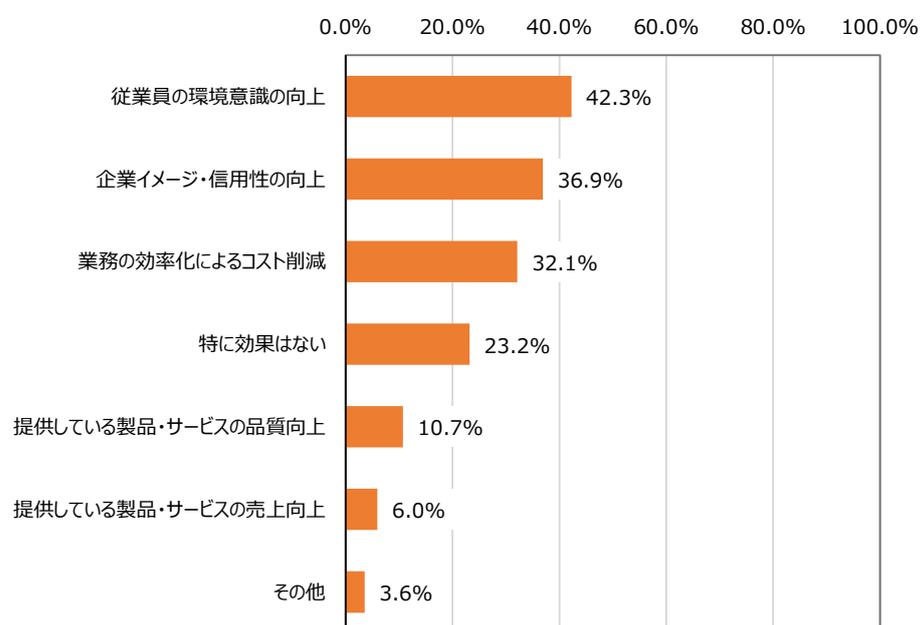
### 3-3 環境活動における効果と課題について

#### (1) 環境活動で得られた効果

問8 貴事業所において、環境活動に取り組んだことで得られた効果は何ですか。  
あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

環境活動で得られた効果を聞いたところ、「従業員の環境意識の向上（42.3%）」が最も多く、次いで「企業イメージ・信用性の向上（36.9%）」、「業務の効率化によるコスト削減（32.1%）」となっています。

「特に効果はなかった（23.2%）」は約 1/4 の回答率となっています。



#### ◆その他回答

- 電気料金の低減。消費電力の削減。
- 排ガス抑制、燃料の削減。
- 分かりません

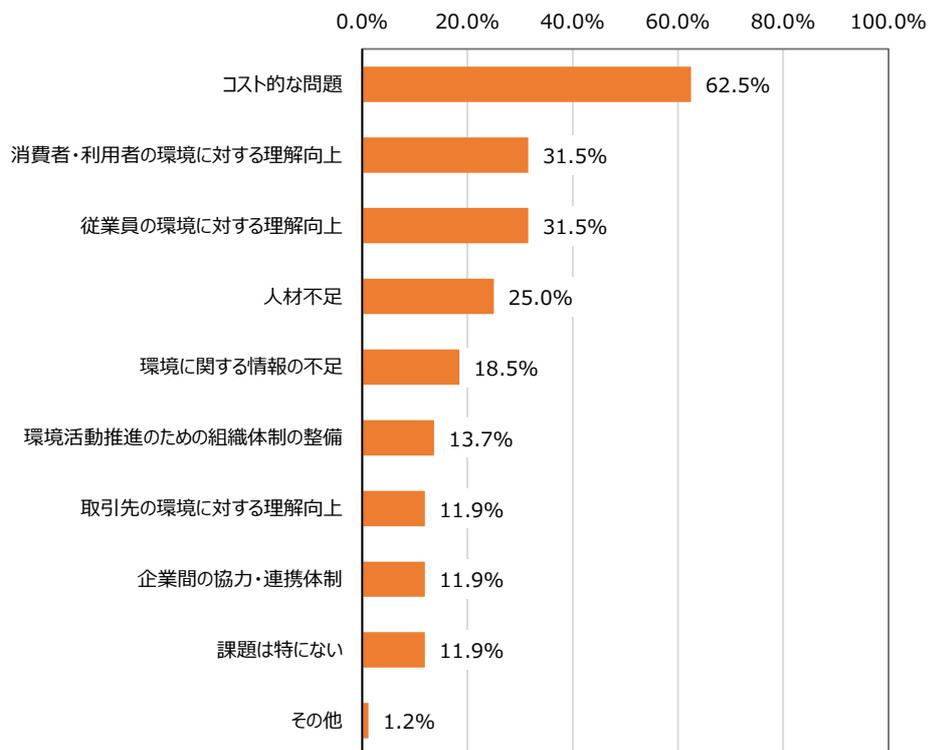
など

## (2) 環境活動を進めるにあたっての課題

問9 貴事業所において、環境活動を進めるにあたり、どのようなことが課題であるとお考えですか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

環境活動に対する課題を聞いたところ、「コスト的な問題（62.5%）」が最も高く、「次いで「消費者・利用者の環境に対する理解向上（31.5%）」、「従業員の環境に対する理解向上（31.5%）」となっています。

従業員の理解向上については、問8の環境活動で得られた効果でも最も回答率が高かったことから、事業所の従業員に対する環境教育などへの支援を通じ、事業所全体での環境活動への取組意欲向上へとつなげていくことが期待されます。また、消費者・利用者の理解向上のため、環境活動の必要性についての情報発信や、環境に配慮した事業活動が当たり前となるような社会環境づくりが求められていると考えられます。このような環境整備により、問8で挙げられた効果がより実感できるような社会へと変容していくことが期待されます。



### ◆その他回答

○課題として考えていない

など

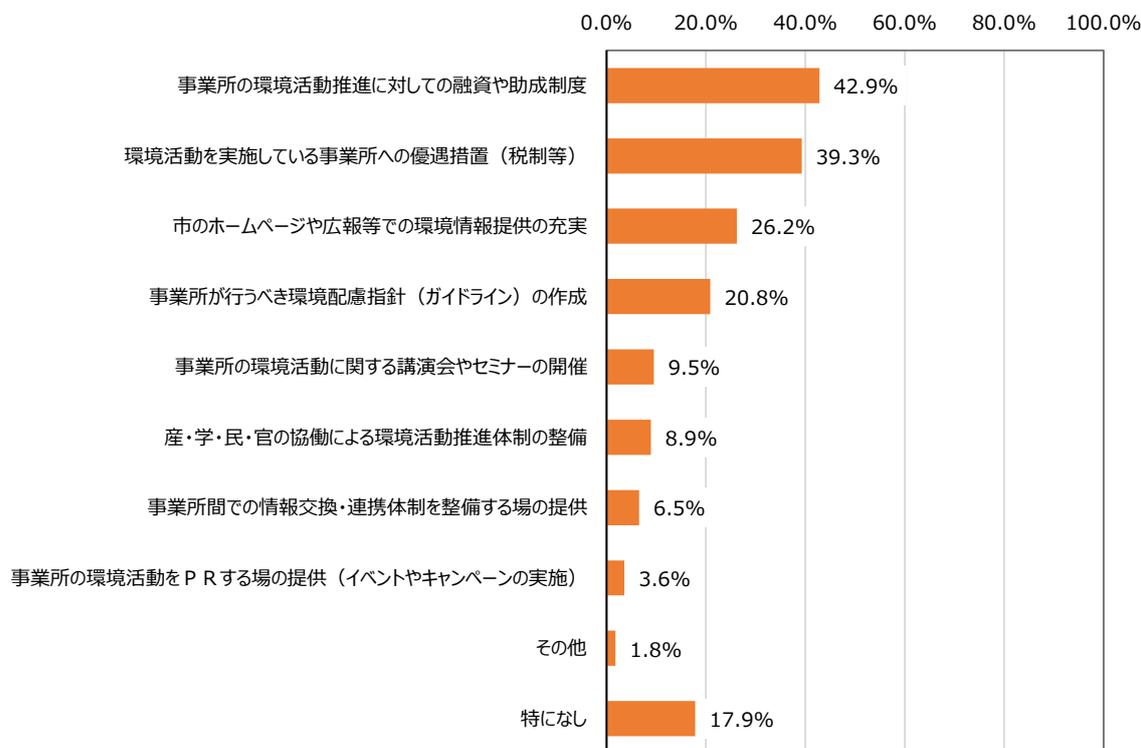
### 3-4 望ましい支援について

#### (1) 市が実施すると望ましいサポート

問 10 貴事業所が、環境活動を進めるために、市が実施すると望ましいサポート等  
 がありますか。あてはまる番号を3つまで○で囲んでください。

市が実施すると望ましいサポートについて聞いたところ、「事業所の環境活動推進に対しての融資や助成制度（42.9%）」と最も多く、次いで、「環境活動を実施している事業所への優遇措置（税制等）（39.3%）」、「市のホームページや広報等での環境情報提供の充実（26.2%）」、「事業所が行うべき環境配慮指針（ガイドライン）の作成（20.8%）」となっています。

問9の環境活動を進めるにあたっての課題で最も回答率が高かったコスト的な問題と対応し、費用面でのサポートや、ガイドラインなどの情報提供の充実が求められていることが伺えます。



#### ◆その他回答

- 無駄なことはしないで欲しい。
- 余計な仕事をおしつけない。
- 市がその活動の先進を切ること。

など

## (2) 市の環境情報の入手方法

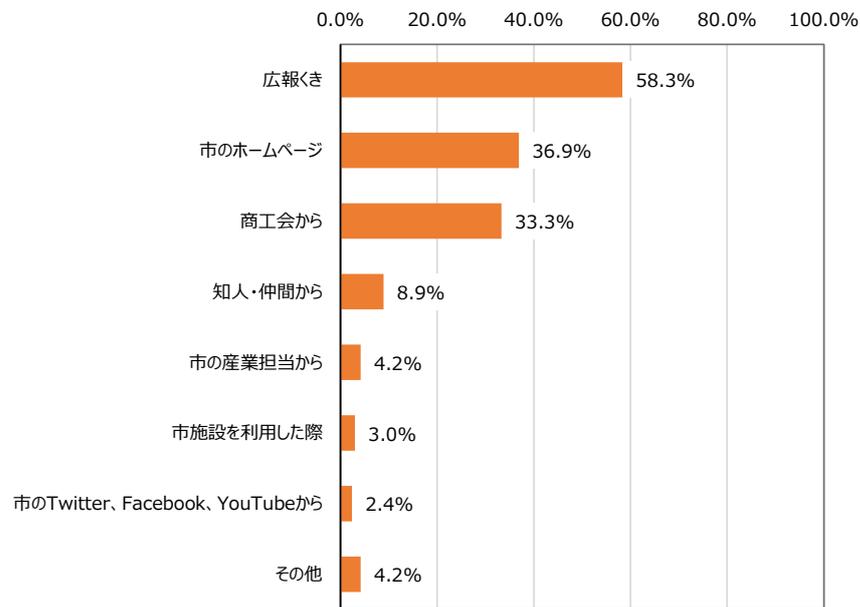
問 11 市が進めている環境に関する取組などの情報を入手するきっかけは何でしたか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

問 12 上記以外で入手しやすい方法がありますか。ご自由にご記入ください。

市の環境情報の入手方法を聞いたところ、「広報くき（58.3%）」が最も多く、次いで、「市のホームページ（36.9%）」、「商工会から（33.3%）」となっています。

その他の入手方法として、取引業者からなどが挙げられています。

このほか、入手しやすい方法を聞いたところ、メールなど市から直接情報提供があるとよいなどが挙げられました。



### ◆その他の入手方法

- 取引業者様より。
- 市の取組についての情報は特に共有していない。
- 情報は入手出来ていない。

など

### ◆その他入手しやすい方法

- メール等での通知があると、タイムリーに情報を知ることが出来て良いと思います。
- 市からの直接連絡を頂けるとありがたい。

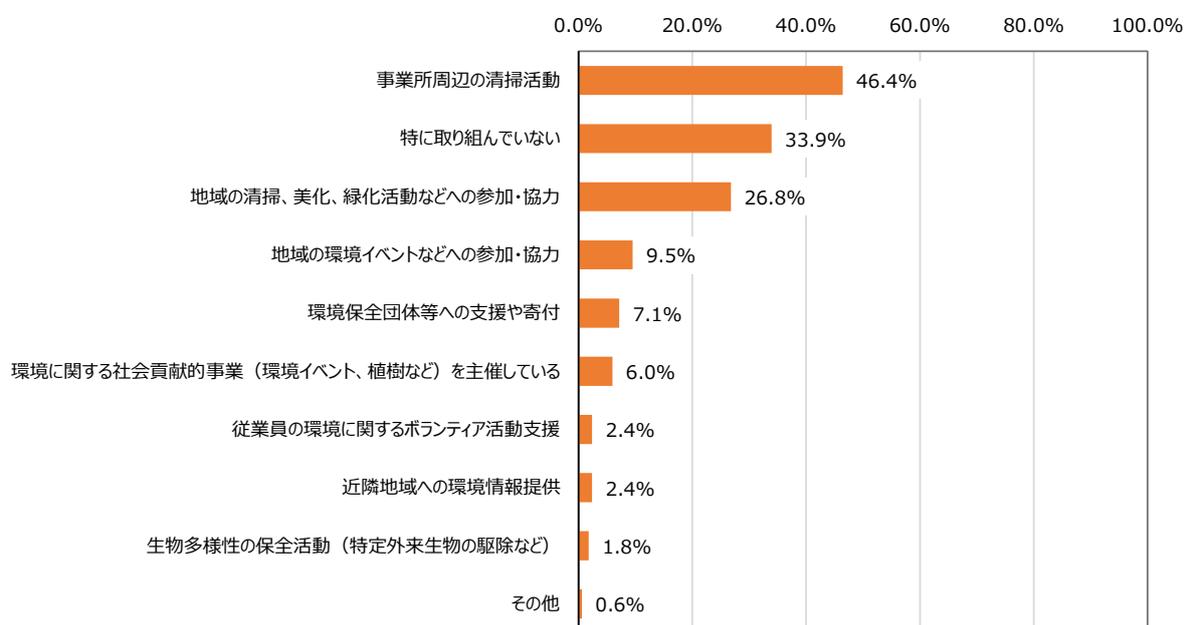
など

### 3-5 地域の環境活動について

#### (1) 取り組んでいる地域環境活動

問 13 貴事業所では、地域社会の一員として、地域の環境のためにどのような取組をしていますか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

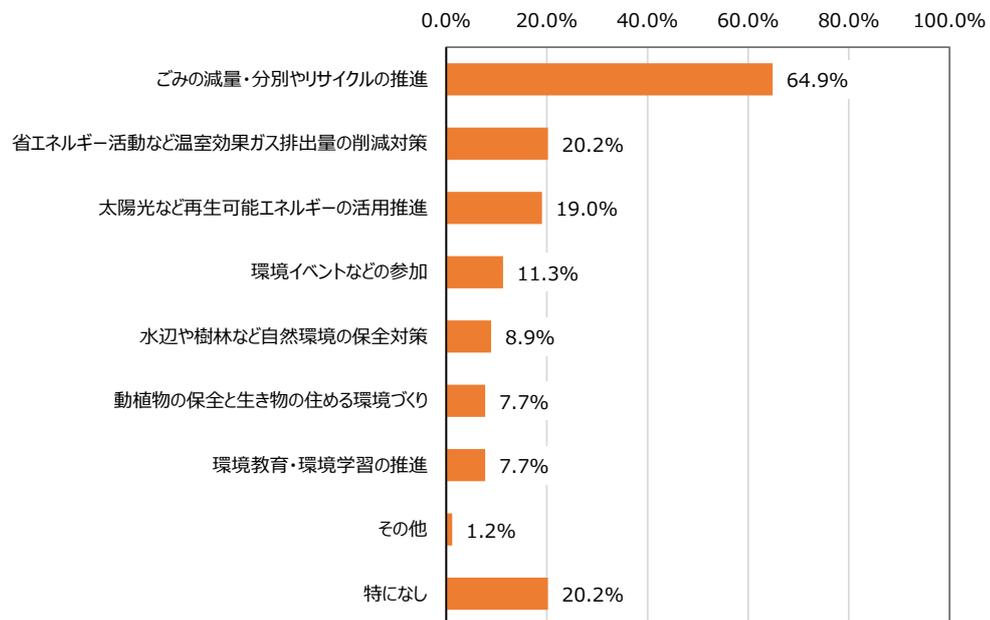
取り組んでいる地域環境活動を聞いたところ、「事業所周辺の清掃活動（46.4%）」が最も高く、次いで、「特に取り組んでいない（33.9%）」、「地域の清掃、美化、緑化活動などへの参加・協力（26.8%）」となっています。身近に取り組める清掃活動への参加が中心となっています。



## (2) 協力、支援できる活動分野

問 14 貴事業所が、環境に関する地域貢献活動において、協力、支援できる活動分野はありますか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

環境に関する地域貢献活動において、協力、支援できる活動分野を聞いたところ、「ごみの減量・分別やリサイクルの推進（64.9%）」が最も多くなっています。次いで、「省エネルギー活動など温室効果ガス排出量の削減対策（20.2%）」、「太陽光など再生可能エネルギーの活用推進（19.0%）」となっており、3R の取組と地球温暖化対策が協力しやすい分野であることが伺えます。



### ◆その他回答

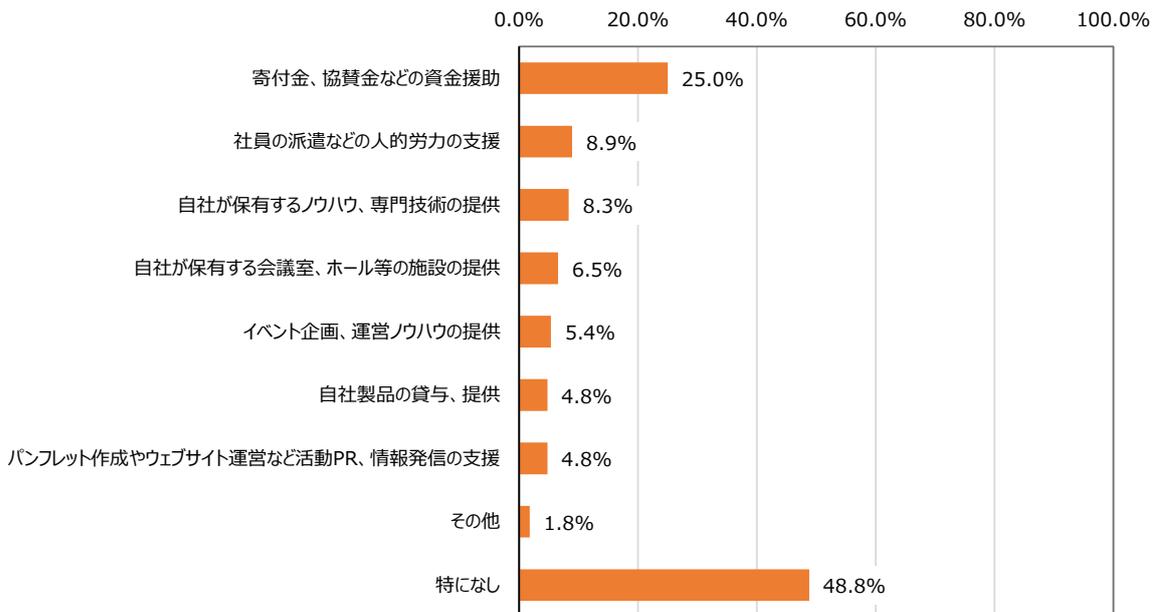
- 太陽光などの支援が有れば。
- 災害時物資協定。

など

### (3) 協力、支援できる取組

問 15 貴事業所が、環境に関する地域貢献活動において、協力、支援できる取組はありますか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

環境に関する地域貢献活動において、協力、支援できる取組を聞いたところ、「特になし(48.8%)」が半数近くとなっていますが、「寄付金、協賛金などの資金援助(25.0%)」、「社員の派遣などの人的労力の支援(8.9%)」などの回答がありました。



#### ◆その他回答

- 具体案による
  - イベント開催の様子を広報にのせる際の撮影協力等
  - 地域の清掃、美化、緑化活動へ参加・協力
- など

### 3-6 気候変動対策について

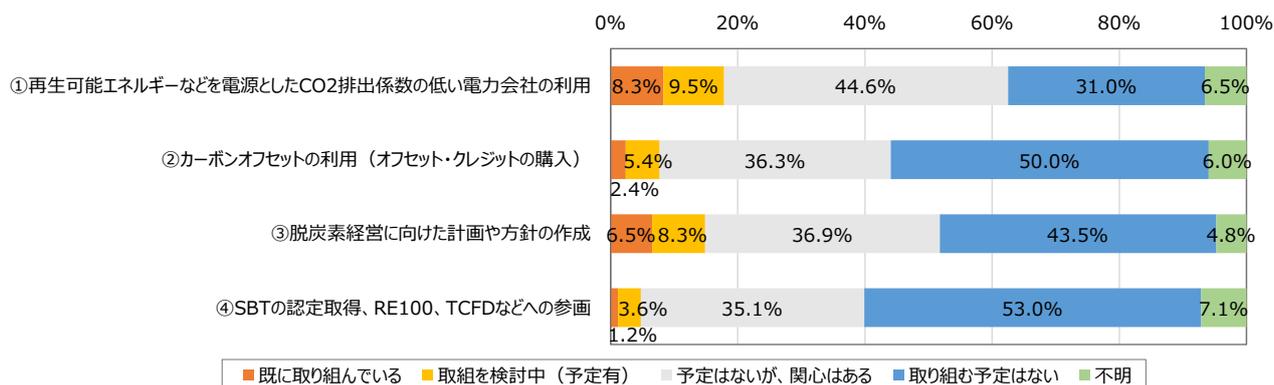
#### (1) 脱炭素経営の取組状況

問 16 日本では、「2050年までのカーボンニュートラル」を目指すとともに、地球温暖化対策を新たな成長戦略として位置づけ、取組を加速することとしています。事業所では脱炭素経営への転換が求められています。以下は、設備導入が伴わない脱炭素経営の取組です。貴事業所で取り組んでいること、また関心があることはありますか。それぞれの項目について、あてはまる番号1～4の中から1つだけ○で囲んでください。

脱炭素経営の取組状況について聞いたところ、「①再生可能エネルギーなどを電源としたCO<sub>2</sub>排出係数の低い電力会社の利用」は、『既に取り組んでいる』と『取組を検討中（予定有）』併せて17.9%であり、『予定はないが、関心はある』と併せて6割以上の事業所が取り組んでいる若しくは関心を持っている結果となりました。

次いで、「③脱炭素経営に向けた計画や方針の作成」は、『既に取り組んでいる』と『取組を検討中（予定有）』併せて14.9%であり、『予定はないが、関心はある』と併せて5割以上の事業所が取り組んでいる若しくは関心を持っている結果となっています。

「②カーボンオフセットの利用（オフセット・クレジットの購入）」と「④SBTの認定取得、RE100、TCFDなどへの参画」は、『既に取り組んでいる』と『取組を検討中（予定有）』、『予定はないが、関心はある』と併せて4割以上の回答率である一方、約5割の事業所が取り組む予定はないと回答しており、脱炭素経営の具体的な取組内容が認知、浸透していないことが伺えます。



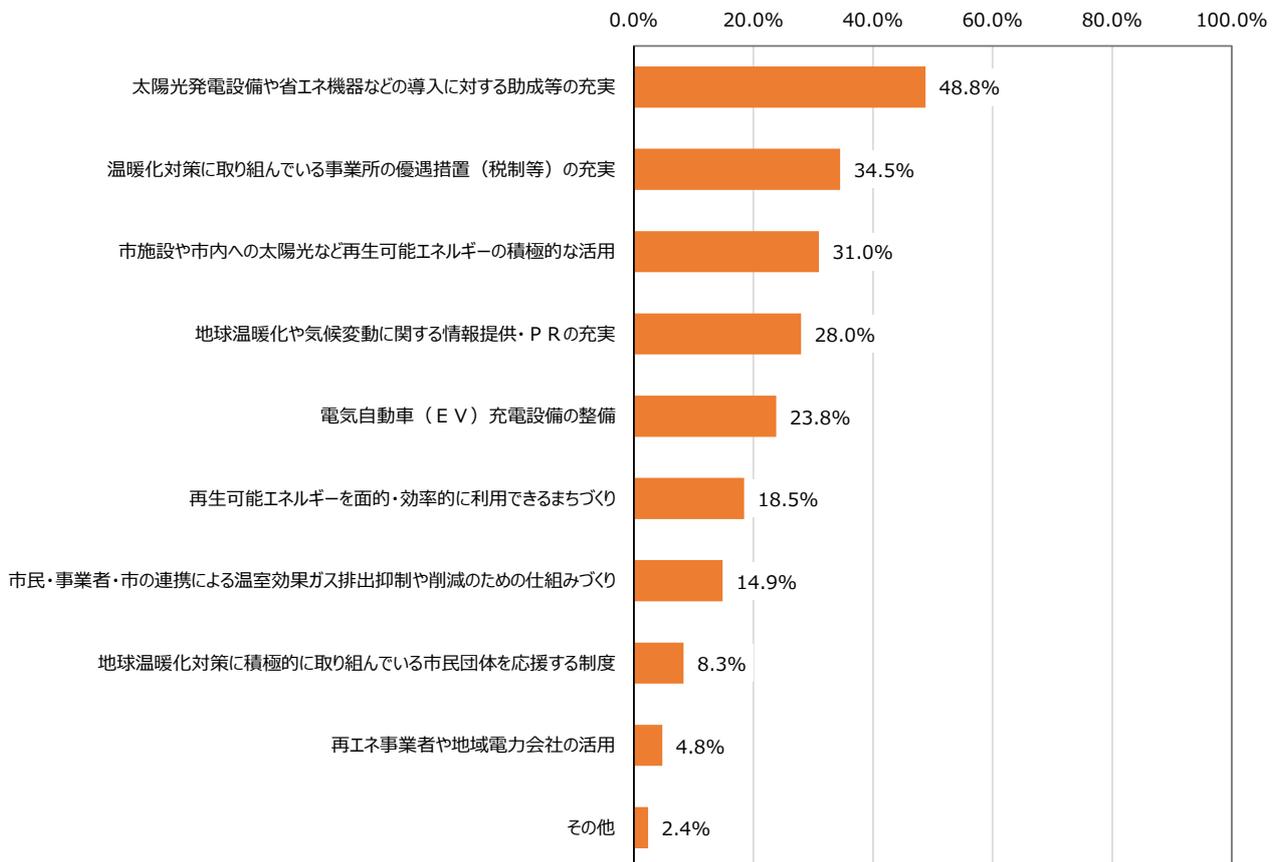
## (2) 市が重点的に進めるべき地球温暖化対策

問 17 気候変動対策について、市が重点的に進めるべき施策は、どれだと思いますか。あてはまる番号を3つまで○で囲んでください。

市が重点的に進めるべき地球温暖化対策を聞いたところ、「太陽光発電設備や省エネ機器などの導入に対する助成等の充実（48.8%）」が最も多く、次いで、「温暖化対策に取り組んでいる事業所の優遇措置（税制等）の充実（34.5%）」、「市施設や市内への太陽光など再生可能エネルギーの積極的な活用（31.0%）」となっています。

問7の地球温暖化対策設備機器の導入状況においても、EV（電気自動車）、蓄電池システム、太陽光発電システム、建築の省エネ改修などへの関心が高いことから、今後の導入に向けた支援への期待が高いと言えます。

また、その他の意見として、CO<sub>2</sub>削減の先頭に立つこと、そのことを市民に示すことなどが挙げられており、市施設への再生可能エネルギーの活用に対する期待も高いことから、率先実行としての市役所の積極的な取組が求められています。



### 3-7 自由意見

最後に、環境に関わる意見等を自由記述形式で求めたところ、7社（4.2%）の事業所からの記入がありました。主な意見の概要を以下に示します。

意見の概要	分野
電気自動車等の電気を作るエネルギー量とガソリン車でのエネルギー量を出し、電気自動車自体の有効性を示してほしい。	地球温暖化対策
工場が事業団地組合内にあるため、組合を通して環境問題に取り組んでいる。	環境活動
久喜市もまちづくりを中心部に集中させ、温暖化対策等すすめる必要はあると思う。自然環境や再生可能エネルギー等は特に関心が高くなっている。市で太陽光などの再生可能エネルギーをつくる場所を提供するなら小林・栢間地区には広い広場も多く、取り組めるのではと思う。	再生可能エネルギー
市の取組としてこれからの温暖化対策も大切だが、今の状況をしっかりと理解し何に時間とお金を費やすべきかを分かる者が対応すべき。	公共予算
公共施設の水光熱費、使用量はとても大きいので実績を出しやすいと思う。	市役所の 率先実行
EVの充電設備が菖蒲地区には1ヶ所もなく、充電するのに困っている。至急充電設備を作って下さる様お願いしたい。	EV (電気自動車)
今後考えているゴミ焼却施設について、プラスチックペットボトルも焼却して発電すると聞いている。リサイクルではトップクラスの久喜市なのにCO <sub>2</sub> の排出が増えてしまう。考えなおすか、高温燃焼でCO <sub>2</sub> の排出のないプラントにはできないのか。	ごみ焼却施設

## 4 調査結果のまとめ

### 4-1 市民意識調査結果

分野	結果概要
1 脱炭素、気候変動への適応	<ul style="list-style-type: none"> <li>●気候変動の影響の認知度は高く、風水害等への対策については7割が重要と考えている。</li> <li>●日常的な省エネ行動の取組率は高く、温暖化対策設備機器も導入率が高い。すべての機器について5割以上が少なくとも関心は持っており、導入費用への支援や効果の明示などの課題への対応が求められている。</li> <li>●市の施策として、再生可能エネルギーへの期待度が高い。一方、農地への太陽光発電の設置を肯定する意見と景観保全のため設置に否定的な意見と2分している。</li> </ul>
2 資源循環	<ul style="list-style-type: none"> <li>●資源の分別の取組は定着しており、地域の資源回収活動の参加率も高く、満足度重要度も比較的高い。</li> <li>●地区によって、満足度に差があることから、地域に応じた対策が求められている。</li> </ul>
3 自然・みどり、生物多様性	<ul style="list-style-type: none"> <li>●身近に自然に親しめる空間や公園・緑地に対する関心度は高い。全体の満足度は高いものの、地区によって差が著しい。</li> <li>●将来に残したい身近な自然環境が数多く挙がっており、残されてきた豊かな環境への誇りが感じられる。</li> <li>●生物多様性については、満足度重要度ともに低く、身近な自然との関係性も含めて啓発の必要が考えられる。</li> </ul>
4 安心・安全、快適な生活環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>●美化に対する重要度が高いものの、地域の清掃活動への参加は、時間的制約や情報不足などで難しいとの回答が多い。</li> <li>●空気のきれいさや騒音・振動など生活環境への重要度が高く、満足度も低くないものの、地区によって差があり、地域に応じた対策が求められている。</li> <li>●このほか、野焼きへの対応についても求められている。</li> </ul>
5 環境教育、協働・連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域環境活動は、参加率は高くはないものの、5割以上が今後取り組みたい意向を持っている。一方、環境教育・環境学習は参加率が特に低く、今後の取組意欲も低い傾向である。行われていることを知らないことも多く、活動に関する情報発信の方法、充実化が求められているとともに、活動や学習の機会の提供が求められている。</li> <li>●SNSを活用した情報発信のほか、駅や商業施設などと協力するなど、色々な手法での情報発信が求められている。</li> </ul>

## 4-2 事業者意識調査結果

分野	結果概要
1 脱炭素、気候変動への適応	<ul style="list-style-type: none"> <li>●脱炭素経営に対する認知は比較的高く、省エネ以外の再エネ電力の切り替えなどに対しても関心が高い。</li> <li>●EV（電気自動車）、蓄電池、太陽光発電、省エネ改修などへの関心も高く、導入に向けた費用面での支援策や充電インフラの整備が期待されている。</li> <li>●一方、温室効果ガス排出量の把握や特定フロンの使用削減など、当社には該当しないと回答している事業者に対する周知が必要と考えられる。</li> </ul>
2 資源循環	<ul style="list-style-type: none"> <li>●廃棄物の再利用や使用済み製品や容器等の回収の取組率は検討中も含めて6割程度と高い。食品ロスやプラスチック資源への対策など新たな法令への対応も進んでいるといえる。</li> <li>●未実施の事業者向けの対策例の情報発信や消費者の理解促進、資源循環のしくみの構築などが期待されている。</li> </ul>
3 自然・みどり、生物多様性	<ul style="list-style-type: none"> <li>●敷地内や周辺の自然環境の保全・再生などの取組率が比較的高く、地域の緑化活動への参加、協力も行われている。</li> </ul>
4 安心・安全、快適な生活環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大気・排水・騒音・悪臭・有害物質の取組については、概ね実施されているが取り組む予定はない事業者への周知が必要と考えられる。</li> <li>●まちの美化への関心度は高く、清掃活動や地域の美化活動への参加協力の実施率も高い。事業者としても取り組みやすい活動であることから、引き続き、協働による美化活動を推進できる環境といえる。</li> </ul>
5 環境教育、協働・連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>●社員に対する環境教育は、取組を検討中を含めて6割近くと実施率が高い。取り組む予定はない、該当しないと回答している事業者に対し、取組の効果などの情報発信が必要とされている。</li> <li>●融資や助成、優遇措置などコスト的な支援に加え、情報提供やセミナー、ガイドラインの作成などが期待されている。</li> <li>●市と協力・支援できる取組として、資金援助のほか人的支援、PRや情報発信の支援などに対する回答もあり、協働での取組を進めていける環境といえる。</li> </ul>

## 巻末資料

### 1. アンケート調査票

① 市民アンケート調査票

② 事業者アンケート調査票

# 1. アンケート調査票

## ① 市民アンケート調査票

整理番号 \_\_\_\_\_

### 久喜市の環境についての市民アンケート調査

市民の皆様には、日ごろより、久喜市の環境行政の推進にご協力を賜り、誠にありがとうございます。

市では、平成 25 年 3 月に「久喜市環境基本計画（地球温暖化対策実行計画（区域施策編）含む）」を策定し、環境の保全及び創造と地球温暖化対策に関する施策を総合的かつ計画的に推進してきました。



このたび、現計画の期間が満了を迎えることと、気候変動対策など昨今の国内外の動向の変化を受け、令和 5 年度を初年度とする「第 2 次久喜市環境基本計画」を策定することとなりました。

新たな計画を策定するにあたり、市民の皆様から、住んでいる地域の環境の満足度や課題など、ご意見をお伺いするため、アンケート調査を実施いたします。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和 4 年 1 月 14 日

久喜市長 梅田 修一

- ◆ 市内に在住する満 18 歳以上の 1,500 人の方を無作為に抽出し、**無記名でご回答をお願い**しています。
- ◆ ご回答いただきました内容は、本調査の目的以外に使用することはありません。また、統計的に処理したうえで利用しますので、回答いただいた方の個人情報が公表されることはありません。
- ◆ 本調査票の整理番号は、重複回答を避けるためのもので、個人を特定するものではありません。
- ◆ 返信用封筒のバーコードは、郵便手続のためのもので、個人を特定するものではありません。

#### ご回答の方法

##### ① 郵送でのご回答

本調査票に直接ご記入頂き、同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストへご投函（切手貼付不要）ください。

##### ② スマートフォン・WEB でのご回答

下記サイトより、サイトの指示に従ってご回答をお願いいたします。

<https://forms.gle/n9nQ342Uhpbh6Xfn8>

※Google フォームを使用しています。入力しやすいよう、短縮アドレスを記載しています。



ご回答は、**2月4日(金)**までをお願いいたします。

◇調査についてのお問い合わせ◇

久喜市環境経済部環境課環境企画係

〒346-0192 久喜市菖蒲町新堀 38 番地（久喜市役所菖蒲総合支所 3 階）

電 話：(0480) 85-1111（内線 362～364） F A X：(0480) 85-1788

◆あなたのことについて、お伺いします◆

問1 あなたの年齢は次のうちどれですか。あてはまる番号を○で囲んでください。

- |             |         |          |
|-------------|---------|----------|
| 1. 10歳~20歳代 | 2. 30歳代 | 3. 40歳代  |
| 4. 50歳代     | 5. 60歳代 | 6. 70歳以上 |

問2 あなたは久喜市に何年住んでいますか。あてはまる番号を○で囲んでください。

- |            |            |          |
|------------|------------|----------|
| 1. 2年未満    | 2. 2年-4年   | 3. 5年-9年 |
| 4. 10年-19年 | 5. 20年-29年 | 6. 30年以上 |

問3 あなたがお住まいの「地域」は、どこですか。あてはまる番号を○で囲んでください。

- |            |            |            |            |
|------------|------------|------------|------------|
| 1. 本町地区    | 2. 中央・南地区  | 3. 東地区     | 4. 太田地区    |
| 5. 江面地区    | 6. 清久地区    | 7. 菟浦・三箇地区 | 8. 小林・栢間地区 |
| 9. 栗橋・伊坂地区 | 10. 静・豊田地区 | 11. 鷺宮地区   | 12. 桜田地区   |

※お住まいの地域は、以下をご参照ください。

地域名	該当する町名(丁目)
1. 本町地区	本町、上町、久喜新、久喜木、上早見、久喜北
2. 中央・南地区	久喜中央、南
3. 東地区	久喜東、下早見54区
4. 太田地区	西、吉羽、栗原、青毛、野久喜、古久喜、青葉
5. 江面地区	江面、下早見(54区を除く)、北青柳、太田袋、樋ノ口、原、除堀
6. 清久地区	北中曾根、六万部、上清久、下清久、所久喜、河原井町
7. 菟浦・三箇地区	菟浦町菟浦、菟浦町新城、菟浦町三箇、菟浦町台、菟浦町河原井、菟浦町上大崎
8. 小林・栢間地区	菟浦町小林、菟浦町下栢間、菟浦町上栢間、菟浦町柴山枝郷
9. 栗橋・伊坂地区	栗橋、伊坂、栗橋北、栗橋中央、栗橋東、緑
10. 静・豊田地区	松永、間鎌、佐間、高柳、島川、小右衛門、中里、北広島、河原代、新井、狐塚、南栗橋
11. 鷺宮地区	久木寺、葛梅、上内、鷺宮(鷺宮6丁目を除く)、中委、鷺宮中央、栄、砂原
12. 桜田地区	八甫、東大輪、西大輪、外野、上川崎、鷺宮6丁目、桜田

問4 あなたの住居の形態は次のうちどれですか。あてはまる番号を○で囲んでください。

- |              |             |              |
|--------------|-------------|--------------|
| 1. 一戸建て(持ち家) | 2. 一戸建て(借家) | 3. 集合住宅(持ち家) |
| 4. 集合住宅(借家)  | 5. 社宅・寮     | 6. その他( )    |

問5 あなたの世帯構成は次のうちどれですか。あてはまる番号に○で囲んでください。

- |          |           |          |
|----------|-----------|----------|
| 1. 単身世帯  | 2. 夫婦のみ   | 3. 二世帯世帯 |
| 4. 三世帯世帯 | 5. その他( ) |          |

問6 世帯で所有している自動車は何台ですか。あてはまる番号に○で囲んでください。

- |         |       |       |
|---------|-------|-------|
| 1. なし   | 2. 1台 | 3. 2台 |
| 4. 3台以上 |       |       |

◆久喜市の環境についてお伺いします◆

問7 久喜市の環境について、日ごろどのように感じていますか。各項目の満足度【A】と重要度【B】について、あてはまる番号 1~5 の中から 1 つだけ○で囲んでください。

項 目	【A】日ごろ感じる満足度					【B】日ごろ感じる重要度				
	満 足	ま あ 満 足	普 通	や や 不 満	不 満	重 要	や や 重 要	普 通	あ ま り 重 要 で な い	重 要 で な い
記入例 ⇒	5	4	③	2	1	5	4	3	②	1
① 身近に自然に親しめる空間がある	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
② 希少な野生生物の生息・生育空間が守られている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
③ 河川や水路、湿地と親しめる空間がある	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
④ 環境に配慮した農業が行われ、豊かな水田・畑がある	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑤ 緑と親しめる公園・緑地が整備されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑥ 自然景観とまちなみが調和した魅力的な景観がある	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑦ ごみの散乱がなく、まちがきれいである	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑧ きれいな空気が保たれている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑨ 安心してきれいな水が保たれている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑩ 土壌汚染や地盤沈下が防止されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑪ 騒音・振動の少ない静かな生活が守られている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑫ ごみの減量が進み、適切に収集・処理されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑬ 化学物質のリスクが低減され、安心して暮らすことができる	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑭ 省エネなど、温室効果ガスが削減できる暮らしができています	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑮ 太陽光など再生可能エネルギーが活用された暮らしができています	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑯ 資源が活用され、リサイクルが積極的に行われている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑰ 風水害や土砂災害などの対策がされており、安心して暮らすことができる	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑱ 歴史的文化が自然環境と一体となって保全されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑲ 環境学習の機会がある	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑳ 環境保全のための情報が提供され、取り組みやすい	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
㉑ 環境に関する市の支援が受けられる	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問8 久喜市内の身近な自然や環境で、将来に向けて残したい場所がある場合は、具体的な地名とその理由をご記入ください。

地名	理由
例) 青毛堀の桜堤	桜と菜の花と水辺の景観がとてもきれいだと思うから

◆気候変動問題についてお伺いします◆

問9 すでに日本でも地球温暖化による気候変動が観測されており、将来にわたって様々な影響を与えることが予測されています。あなたは、**将来起こりうる気候変動の影響**について知っていますか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

1. 猛暑日や真夏日、熱帯夜が増えること
2. 豪雨（滝のように降る雨）や、雨の降らない日が増えること
3. 台風が強くなったり、これまでの進路から変化すること
4. 洪水、高潮・高波などの自然災害が増加すること
5. 熱中症が増加すること
6. デング熱などの感染症が増加すること
7. 農作物の品質低下や生育障害、栽培適地が変化すること
8. 渇水が増加すること
9. 野生生物や植物の生息域が変化すること
10. 山地などの斜面崩壊など土砂災害のリスクが高くなること
11. すべて知らない

身近な気候変動の影響

●洪水・豪雨

令和元年房総半島台風（台風第15号）や東日本台風（台風第19号）、令和2年7月豪雨など、豪雨などによる災害が多発しています。

●熱中症

気温の上昇だけでなく、熱中症に注意すべき時期も長くなっています。2010（平成22）年には日本全国の熱中症による死者数が約1,700人と過去最多を記録し、2018（平成30）年の熱中症搬送者数は95,000人を超え、過去最多となっています。

久喜市気候変動適応センター

久喜市では、平成30年12月に施行された気候変動適応法に基づき、市内における気候変動の適応をより一層推進するため、令和3年7月1日に埼玉県気候変動適応センターと共同して久喜市気候変動適応センターを設置しました。

問 10 地球温暖化対策につながる次の項目について、導入しているものはありますか。それぞれの項目について、あてはまる番号 1~4 の中から 1 つだけ○で囲んでください。

項 目	導入済み	導入検討中 (予定含む)	予定はないが、関心 はある	関心はない、又は該 当しない
記入例 ⇒	①	2	3	4
① LEDなどの高効率照明	1	2	3	4
② 電力消費や待機電力の少ない家電製品	1	2	3	4
③ ペアガラスや二重サッシなど気密性の高い窓・サッシ	1	2	3	4
④ 壁、床、天井などの断熱	1	2	3	4
⑤ エコジョーズ、エコウィル、エコキュートなど、効率の良い給湯器	1	2	3	4
⑥ 家庭用燃料電池システム（エネファーム）	1	2	3	4
⑦ 住宅用太陽熱利用システム	1	2	3	4
⑧ 住宅用太陽光発電システム	1	2	3	4
⑨ 家庭用蓄電池システム	1	2	3	4
⑩ HEMS（ホームエネルギーマネジメントシステム） <sup>※1</sup>	1	2	3	4
⑪ 再生可能エネルギー、自然エネルギー由来の電力（電力会社の切り替え）	1	2	3	4
⑫ PHV（プラグイン・ハイブリッド・カー）	1	2	3	4
⑬ EV（電気自動車）	1	2	3	4
⑭ 雨水浸透・貯留設備	1	2	3	4
⑮ 地中熱利用システム	1	2	3	4
⑯ ZEH(ネット・ゼロ・エネルギーハウス) <sup>※2</sup>	1	2	3	4

※1 HEMS：家庭のエネルギーを効率よくコントロールするシステム。

※2 ZEH：高断熱化及び高効率な省エネルギー設備を備え、再生可能エネルギーにより年間の一次エネルギー消費量が正味ゼロまたはマイナスの住宅。

問 11 問 10 で「関心はない、又は該当しない」と回答した方にご質問します。理由としてあてはまる番号すべてを○で囲んでください。

- |                     |                  |
|---------------------|------------------|
| 1. 初期コストがかかる        | 2. 効果がわからない      |
| 3. 借家や集合住宅のため設置できない | 4. どのようなものかわからない |
| 5. 地球温暖化問題に関心がない    | 6. 特に理由はない       |
| 7. その他（             | ）                |

◆環境に関する取組についてお伺いします◆

問 12 環境に関して、普段あなたが取り組んでいることを教えてください。それぞれの項目について、あてはまる番号 1～3 の中から 1 つだけ○で囲んでください。

取り組みの内容	取り組んでいる	今後取り組みたい	取り組むのは難しい
記入例 ⇒	1	②	3
① 不要な照明やテレビはこまめに消す	1	2	3
② 冷暖房を使用するときは温度設定に気を付けている	1	2	3
③ 家庭で使用した電気、ガス、ガソリンなどの状況を把握している	1	2	3
④ 近くへの移動はできるだけ自転車を利用している	1	2	3
⑤ 植物の水やりには雨水を使用している	1	2	3
⑥ 生ごみを減らすために食材は使いきる	1	2	3
⑦ 外出の際、マイボトルを持参している	1	2	3
⑧ 空き缶やびん、ペットボトル、古紙などの資源を分別している	1	2	3
⑨ 油や調理くずは下水に流さない	1	2	3
⑩ 近隣騒音（ピアノの音漏れなど）を防止している	1	2	3
⑪ 環境にやさしいエコ・ドライブを実践している	1	2	3
⑫ 自宅の植栽や緑のカーテンなど緑化をしている	1	2	3
⑬ 環境ラベル、省エネラベルなどを参考にして環境に優しい商品を購入している	1	2	3
⑭ 風水害に備えて自宅や職場周辺のハザードマップを確認している	1	2	3
⑮ 暑さ指数(WBGT)を確認して、熱中症対策をしている	1	2	3
⑯ 地域の資源集団回収に参加している	1	2	3
⑰ 公園や川などの地域の清掃活動をしている	1	2	3
⑱ 花植えや植樹などの地域の緑化活動をしている	1	2	3
⑲ 樹林や水辺などの自然環境の保全活動をしている	1	2	3
⑳ 環境に関する学習講座、講演会、自然観察会に参加している	1	2	3
㉑ その他（ ）	1	2	3

問 13 問 12 で 1 つ以上「取り組むのは難しい」と回答した方にご質問します。取り組むのは難しい理由としてあてはまる番号すべてを○で囲んでください。

- |            |             |           |
|------------|-------------|-----------|
| 1. 手間がかかる  | 2. 効果がわからない | 3. 忘れてしまう |
| 4. 特に理由はない | 5. その他（ ）   |           |



問 16 市が進めている環境に関する取組などの情報を入手するきっかけは何でしたか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

- |               |                                   |
|---------------|-----------------------------------|
| 1. 広報くき       | 2. 市のホームページ                       |
| 3. 市や自治会の掲示板  | 4. 市施設を利用した際のチラシ等                 |
| 5. 町内会・自治会の回覧 | 6. 友人・知人から                        |
| 7. 学校から       | 8. 市の Twitter、Facebook、YouTube から |
| 9. その他 ( )    |                                   |

問 17 上記以外で入手しやすい方法はありますか。ご自由にご記入ください。

◆最後に、環境に関わるご意見等があれば、ご自由にお書き下さい。◆

**アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。**  
**本調査票を返信用封筒に入れ、**  
**令和4年2月4日（金）までにご投函ください。**

**久喜市ゼロカーボンシティ宣言**

久喜市は、地球温暖化に歯止めをかけ、環境・社会・経済の持続的な発展を図るため、2050年までに温室効果ガスの排出量実質ゼロを目指す、「ゼロカーボンシティ」宣言を行いました。今後は、ゼロカーボンシティ実現に向け、市民・事業者・行政が一体となった「オール久喜」で、持続可能で活力あるまちづくりを進めていきます。

2050年のゼロカーボンシティ実現に向けて、市では以下の取り組みを進めていきます。

・太陽光発電の積極的導入・地域新電力会社の設立・次世代自動車の普及促進等

久喜市のサイトから動画も確認できますので、ぜひご視聴ください。

[https://www.city.kuki.lg.jp/smph/kurashi/kankyo\\_animal/torikumi/zero\\_carbon.html](https://www.city.kuki.lg.jp/smph/kurashi/kankyo_animal/torikumi/zero_carbon.html)



## ② 事業者アンケート調査票

整理番号

### 久喜市の環境についての事業者アンケート調査

事業者の皆様には、日ごろより、久喜市の環境行政の推進にご協力をお願いし、誠にありがとうございます。

市では、平成 25 年 3 月に「久喜市環境基本計画（地球温暖化対策実行計画（区域施策編）含む）」を策定し、環境の保全及び創造と地球温暖化対策に関する施策を総合的かつ計画的に推進してきました。

このたび、現計画の期間が満了を迎えることと、気候変動対策など昨今の国内外の動向の変化を受け、令和 5 年度を初年度とする「第 2 次久喜市環境基本計画」を策定することとなりました。

新たな計画を策定するにあたり、事業者の皆様から、環境活動への取組状況や課題など、ご意見をお伺いするため、アンケート調査を実施いたします。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和 4 年 1 月 14 日

久喜市長 梅田 修一



- ◆ 久喜市内の事業所から 400 事業所を無作為に抽出しています。
- ◆ ご回答いただきました内容は、本調査の目的以外に使用することはありません。また、統計的に処理したうえで利用しますので、貴事業所が特定されることはありません。
- ◆ 本調査票の整理番号は、重複回答を避けるためのもので、事業者を特定するものではありません。
- ◆ 返信用封筒のバーコードは、郵便手続のためのもので、事業者を特定するものではありません。

#### ご回答の方法

##### ① 郵送でのご回答

本調査票に直接ご記入頂き、同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストへご投函（切手貼付不要）ください。

##### ② WEB でのご回答

下記サイトより、サイトの指示に従ってご回答をお願いいたします。

<https://forms.gle/EMqZ4Pc5TsfqYSh7>

※Google フォームを使用しています。入力しやすいよう、短縮アドレスを記載しています。



ご回答は、**2月11日(金)**までをお願いいたします。

◇調査についてのお問い合わせ◇

久喜市環境経済部環境課環境企画係

〒346-0192 久喜市菟浦町新堀 38 番地（久喜市役所菟浦総合支所 3 階）

電 話：(0480) 85-1111（内線 362～364） F A X：(0480) 85-1788

◆ 貴事業所のことについてお伺いします ◆

問 1 貴事業所の業種について、あてはまる番号を 1つだけ ○ (兼業の場合、売上げの割合が 高いもの) で囲んでください。

- |           |             |           |               |
|-----------|-------------|-----------|---------------|
| 1. 農林水産業  | 2. 建設業      | 3. 製造業    | 4. 電気・ガス・熱供給業 |
| 5. 情報通信業  | 6. 運輸業      | 7. 卸売・小売業 | 8. 金融・保険業     |
| 9. 不動産業   | 10. 飲食・宿泊業  | 11. 医療・福祉 | 12. 教育・学習支援業  |
| 13. サービス業 | 14. その他 ( ) |           |               |

問 2 貴事業所の従業員規模について、あてはまる番号を 1つだけ ○ で囲んでください。

- |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 1～9人   | 2. 10～19人 | 3. 20～49人 |
| 4. 50～99人 | 5. 100人以上 |           |

問 3 貴事業所の所在地について、あてはまる番号を 1つだけ ○ で囲んでください。

- |            |            |            |            |
|------------|------------|------------|------------|
| 1. 本町地区    | 2. 中央・南地区  | 3. 東地区     | 4. 太田地区    |
| 5. 江南地区    | 6. 清久地区    | 7. 菖蒲・三箇地区 | 8. 小林・栢間地区 |
| 9. 栗橋・伊坂地区 | 10. 静・豊田地区 | 11. 鷲宮地区   | 12. 桜田地区   |

※お住まいの地域は、以下をご参照ください。

地域名	該当する町名(丁目)
1. 本町地区	本町、上町、久喜新、久喜木、上早見、久喜北
2. 中央・南地区	久喜中央、南
3. 東地区	久喜東、下早見 54 区
4. 太田地区	西、吉羽、栗原、青毛、野久喜、古久喜、青葉
5. 江南地区	江南、下早見 (54 区を除く)、北青柳、太田袋、樋ノ口、原、除堀
6. 清久地区	北中曽根、六万部、上清久、下清久、所久喜、河原井町
7. 菖蒲・三箇地区	菖蒲町菖蒲、菖蒲町新堀、菖蒲町三箇、菖蒲町台、菖蒲町河原井、菖蒲町上大崎、菖蒲町昭和沼
8. 小林・栢間地区	菖蒲町小林、菖蒲町下栢間、菖蒲町上栢間、菖蒲町柴山枝郷
9. 栗橋・伊坂地区	栗橋、伊坂、栗橋北、栗橋中央、栗橋東、緑
10. 静・豊田地区	松永、間鎌、佐間、高柳、島川、小右衛門、中里、北広島、河原代、新井、狐塚、南栗橋
11. 鷲宮地区	久木寺、葛梅、上内、鷲宮 (鷲宮 6 丁目を除く)、中妻、鷲宮中央、栄、砂原
12. 桜田地区	八甫、東大輪、西大輪、外野、上川崎、鷲宮 6 丁目、桜田

問 4 貴事業所の建物の形態は次のうちどれですか。あてはまる番号を 1つだけ ○ で囲んでください。

- |                 |                 |            |
|-----------------|-----------------|------------|
| 1. 所有物件 (事業所独立) | 2. 所有物件 (自宅と兼用) | 3. 賃貸、テナント |
|-----------------|-----------------|------------|

問 5 貴事業所が久喜市で事業を始められてから何年になりますか。あてはまる番号を 1つだけ ○ で囲んで下さい。

- |              |            |              |
|--------------|------------|--------------|
| 1. 5 年未満     | 2. 5 年～9 年 | 3. 10 年～19 年 |
| 4. 20 年～29 年 | 5. 30 年以上  |              |

◆ 貴事業所の環境活動についてお伺いします ◆

問 6-1 貴事業所では、どのような環境活動に取り組んでいますか。それぞれの項目について、当てはまる番号 1~4 の中から **1つだけ** ○ で囲んでください。

項 目	既に取り組んでいる	取組を検討中	取り組む予定はない	当社には該当しない
記入例 →	①	2	3	4
① 大気汚染防止（設備等の設置など）	1	2	3	4
② 排水対策の実施	1	2	3	4
③ 防音対策の実施（低騒音型機器の導入など）	1	2	3	4
④ 悪臭防止対策の実施	1	2	3	4
⑤ 有害物質の使用削減	1	2	3	4
⑥ 事業所敷地内や周辺の自然環境の保全・再生	1	2	3	4
⑦ 温室効果ガス排出量の把握・抑制	1	2	3	4
⑧ 特定フロンの使用削減	1	2	3	4
⑨ 電気やガス使用量の削減など省エネルギーの実践	1	2	3	4
⑩ 省エネルギー診断等の受診	1	2	3	4
⑪ 水の有効利用（雨水利用等）	1	2	3	4
⑫ エコ・ドライブの実践	1	2	3	4
⑬ 共同輸配送等の物流の合理化	1	2	3	4
⑭ 廃棄物の減量化や有効利用、再利用	1	2	3	4
⑮ 使用済み製品や容器等の回収	1	2	3	4
⑯ 自社製品のリサイクル	1	2	3	4
⑰ 食品ロスの削減	1	2	3	4
⑱ プラスチックごみの削減・代替品の検討	1	2	3	4
⑲ 環境にやさしい商品の開発	1	2	3	4
⑳ ISO14001 やエコアクション 21 等の EMS（環境マネジメントシステム）の導入	1	2	3	4
㉑ 社員に対する環境教育の実施	1	2	3	4
㉒ 環境情報の開示（CSR レポート等）	1	2	3	4

問 6-2 このほか、貴事業所が取り組まれている環境活動がありましたら、ご記入ください。

問7 地球温暖化防止につながる機器や設備を導入していますか。それぞれの項目について、  
当てはまる番号1～4の中から1つだけ○で囲んでください。

項 目		導入済み	導入検討中 (予定含む)	導入予定は ないが、 関心はある	導入予定は ない
記入例 ⇒		①	2	3	4
①	LEDなどの高効率照明	1	2	3	4
②	省エネ性能の高いエアコン、モニター、PC などの導入	1	2	3	4
③	高効率ボイラー、モーターなどの動力機	1	2	3	4
④	ヒートポンプ、潜熱回収、ガスエンジンな どの高効率空調機	1	2	3	4
⑤	冷水・冷却水ポンプ、空調機などのインバ ーター制御	1	2	3	4
⑥	コージェネレーションシステム	1	2	3	4
⑦	建築物の省エネ性能の向上	1	2	3	4
⑧	高効率な自家発電設備	1	2	3	4
⑨	BEMS(ビルエネルギーマネジメントシス テム)*	1	2	3	4
⑩	PHV(プラグイン・ハイブリッド・カー)	1	2	3	4
⑪	EV(電気自動車)	1	2	3	4
⑫	太陽光発電システム	1	2	3	4
⑬	蓄電池システム	1	2	3	4
⑭	その他( )	1	2	3	4

※BEMS:「ビルエネルギーマネジメントシステム」の略で、建物全体のエネルギー設備を統合的に監視し、  
自動制御することにより、省エネルギー化や運用の最適化を行う管理システム。

問8 貴事業所において、環境活動に取り組んだことで得られた効果は何ですか。あてはまる番  
号すべてを○で囲んでください。

1. 企業イメージ・信用性の向上 2. 業務の効率化によるコスト削減 3. 提供している製品・サービスの品質向上 4. 提供している製品・サービスの売上向上 5. 従業員の環境意識の向上 6. 特に効果はない 7. その他( )
--

問9 貴事業所において、環境活動を進めるにあたり、どのようなことが課題であるとお考えですか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

1. 消費者・利用者の環境に対する理解向上
2. 取引先の環境に対する理解向上
3. 従業員の環境に対する理解向上
4. 環境に関する情報の不足
5. コスト的な問題
6. 人材不足
7. 環境活動推進のための組織体制の整備
8. 企業間の協力・連携体制
9. 課題は特になし
10. その他 ( )

問10 貴事業所が、環境活動を進めるために、市が実施すると望ましいサポート等がありますか。あてはまる番号を3つまで○で囲んでください。

1. 市のホームページや広報等での環境情報提供の充実
2. 事業所の環境活動に関する講演会やセミナーの開催
3. 事業所の環境活動推進に対しての融資や助成制度
4. 環境活動を実施している事業所への優遇措置（税制等）
5. 事業所の環境活動をPRする場の提供（イベントやキャンペーンの実施）
6. 事業所間での情報交換・連携体制を整備する場の提供
7. 産・学・民・官の協働による環境活動推進体制の整備
8. 事業所が行うべき環境配慮指針（ガイドライン）の作成
9. 特になし
10. その他 ( )

問11 市が進めている環境に関する取組などの情報を入手するきっかけは何でしたか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

1. 広報くき
2. 市のホームページ
3. 市施設を利用した際
4. 商工会から
5. 市の産業担当から
6. 知人・仲間から
7. 市のTwitter、Facebook、YouTubeから
8. その他 ( )

問12 上記以外で入手しやすい方法がありますか。ご自由にご記入ください。



◆気候変動についてお伺いします◆

問 16 日本では、「2050年までのカーボンニュートラル」を目指すとともに、地球温暖化対策を新たな成長戦略として位置づけ、取組を加速することとしています。事業所では**脱炭素経営**への転換が求められています。

**脱炭素経営とは？**

脱炭素経営とは、事業所から排出される温室効果ガスを実質ゼロに近づけ、カーボンニュートラル<sup>※1</sup>を目指すことです。国内外において、事業者の格付けや投資家及び消費者からの信用・支持の基準としても注目されており、これらは大企業のみではなく、サプライチェーン<sup>※2</sup>全体として取り組むことが必要とされています。地域の事業者においても、資金調達（融資、補助金等）でのメリットがあるほか、法改正に伴い対応が迫られることが予想されます。持続的な企業経営と競争力確保のためにも、今後取り組むべきものとして求められています。

環境省のホームページに、脱炭素経営推進のための各種ガイドブックが掲載されています。  
<http://www.env.go.jp/earth/datsutansokeiei.html>

- ※1 人為的に排出されるCO<sub>2</sub>（二酸化炭素）と森林などで吸収されるCO<sub>2</sub>（二酸化炭素）が同じ量となること。
- ※2 商品や製品が消費者の手元に届くまでの材料調達・製造・販売・消費などの一連の流れのこと。

以下は、設備導入が伴わない脱炭素経営の取組です。**貴事業所で取り組んでいること、また関心があることはありますか。**それぞれの項目について、あてはまる番号 **1~4 の中から1つだけ**○で囲んでください。

項 目	既に 取り組ん でいる	取組を 検討中 (予定有)	予定はな いが、関 心はある	取り組 む予定 はない
記入例 ⇒	①	2	3	4
① 再生可能エネルギーなどを電源としたCO <sub>2</sub> 排出係数 <sup>※1</sup> の低い電力会社の利用	1	2	3	4
② カーボンオフセット <sup>※2</sup> の利用（オフセット・クレジットの購入）	1	2	3	4
③ 脱炭素経営に向けた計画や方針の作成	1	2	3	4
④ SBT <sup>※3</sup> の認定取得、RE100 <sup>※4</sup> 、TCFD <sup>※5</sup> などへの参画	1	2	3	4
⑤ その他（ ）	1	2	3	4

- ※1 電気の供給 1kWh あたりどれだけのCO<sub>2</sub>(二酸化炭素)を排出したかを推し測る指標。排出係数の数字が小さい(低い)ほど、CO<sub>2</sub>(二酸化炭素)排出量が少なくなる。
- ※2 事業等から排出される温室効果ガスについて、排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資すること等により、排出される温室効果ガスを埋め合わせる。
- ※3 パリ協定に基づき、産業革命時期比の気温上昇を「2℃未満」にするために、企業が気候科学(IPCC)に基づく削減シナリオと整合した削減目標を設定すること。
- ※4 Renewable Energy 100%のことで、企業活動に必要な電力を100%再生可能エネルギーで調達することを目標に掲げる企業が加盟するイニシアチブ。
- ※5 気候関連財務情報開示タスクフォースのことで、企業等に対し、気候変動関連リスク、及び機会に関する4つの項目(ガバナンス、戦略、リスク管理、指標と目標)について開示することを推奨している。



